

**食品ロスに関する県民・事業者意識調査
調査結果報告書**

令和7年9月

岐 阜 県

目 次

1. 調査概要.....	1
1-1 調査の目的.....	1
1-2 調査項目.....	1
1-3 調査の設計.....	1
1-4 回収結果.....	2
1-5 報告書の見方.....	2
1-6 回答者の属性.....	3
2. 一般県民を対象とする調査結果.....	7
2-1 食品ロス問題の認知度.....	7
2-2 食品ロス削減の取組.....	9
2-3 食品ロスの発生理由.....	15
2-4 家庭で捨ててしまいがちな食品.....	18
2-5 「賞味期限」と「消費期限」の認知度.....	22
2-6 ぎふ食べきり運動の認知度.....	24
2-7 「30・10（さんまる いちまる）運動」の認知度.....	26
2-8 フードドライブ活動の認知度.....	28
2-9 フードバンク活動の認知度.....	30
2-10 食品ロス削減に取り組む飲食店の利用意向.....	32
2-11 「もったいない」と感じる状況.....	34
2-12 外食時に食べきれなかった料理を持ち帰ろうと思う状況.....	37
2-13 食品ロス削減に向けた行政への要望.....	40
2-14 自由意見.....	43
3. 食品関連事業所を対象とする調査結果.....	46
3-1 食品廃棄物等の把握方法.....	46
3-2 直近1年間の食品廃棄物等の量.....	48
3-3 直近1年間の食品ロスの量.....	50
3-4 食品ロス削減の重要性.....	52
3-4-1 食品ロス削減が重要ではない理由.....	54
3-5 食品ロスの発生原因.....	55
3-6 食品ロス削減の取組.....	57
3-7 特に食品ロス削減につながった取組.....	59
3-8 今後のフードドライブ活動への取組意向.....	61
3-9 今後のフードバンク活動への取組意向.....	63
3-10 食品ロス削減に向けた行政への要望.....	65
3-11 自由意見.....	67

○資料編1-1	クロス集計表（県民）	68
○資料編1-2	クロス集計表（事業所）	86
○資料編2-1	調査票（県民）	96
○資料編2-2	調査票（事業所）	104

1. 調査概要

1-1 調査の目的

食品ロスに関する県民及び事業者の意識を把握・分析・検討し、岐阜県食品ロス削減推進計画の見直しや今後の食品ロス削減に関する施策の推進に向け、効果的な方策を検討するための基礎資料とすることを目的に調査を実施しました。

1-2 調査項目

(1) 一般県民を対象とする調査

- ・食品ロスに対する関心や行動について
- ・食品ロスに関する取組について
- ・県が実施する食品ロス施策について

(2) 食品関連事業所を対象とする調査

- ・食品ロスの現状について
- ・食品ロスに関する取組について
- ・県が実施する食品ロス施策について

1-3 調査の設計

(1) 一般県民を対象とする調査

調査地域：岐阜県全域

調査対象：県内に居住する満18歳以上の男女個人

標本数：2,000人

抽出方法：層化二段無作為抽出法

調査方法：郵送法

実施時期：令和7年5月27日（火）～6月20日（金）

調査主体：岐阜県 環境エネルギー生活部 県民生活課

調査実施機関：株式会社中部タイム・エージェント

(2) 食品関連事業所を対象とする調査

調査地域：岐阜県全域

調査対象：県内に本店を有し従業員数50名以上の食品関連事業所（食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業）

標本数：100団体

調査方法：郵送法

実施時期：令和7年5月27日（火）～6月20日（金）

調査主体：岐阜県 環境エネルギー生活部 県民生活課

調査実施機関：株式会社中部タイム・エージェント

1-4 回収結果

(1) 一般県民を対象とする調査

- ・ 1,021 人 (回収率 51.1%)

(2) 食品関連事業所を対象とする調査

- ・ 65 団体 (回収率 65.0%)

1-5 報告書の見方

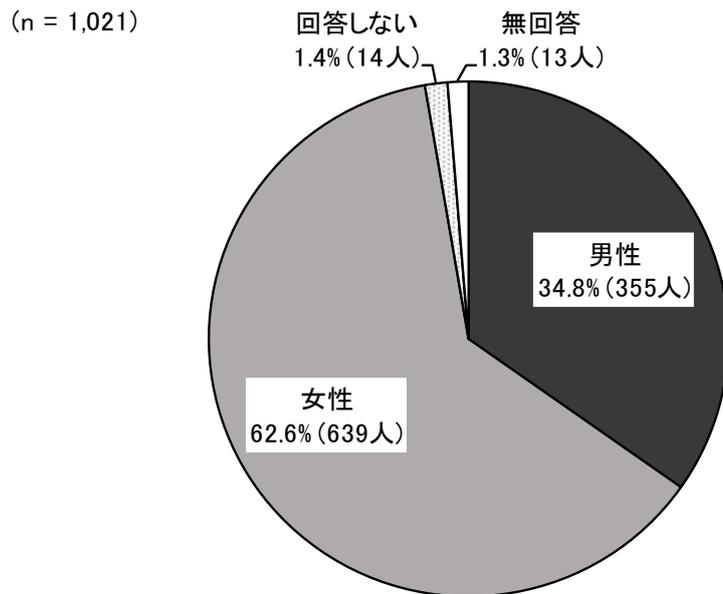
- ・ 比率はすべてパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 基数となるべき実数は「n」(回答者数)として掲載しました。したがって比率は、n を 100%として算出しています。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をします。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超えます。
- ・ 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合があります。
- ・ クロス集計において、属性ごとのサンプル数が 10 件未満の場合は、分析コメントを省略し、参考値として掲載しています。
- ・ クロス集計表では、無回答を除き、回答割合が高い上位 2 項目を網掛けで表示しています。
- ・ 「食品関連事業所を対象とする調査」の業種別クロス集計では、業種属性の設問を複数回答可能としたため、1 団体が複数の業種に該当している場合があります。そのため、業種別の集計結果には重複が含まれており、業種間の単純な比較には留意が必要です。

1-6 回答者の属性

(1) 一般県民を対象とする調査

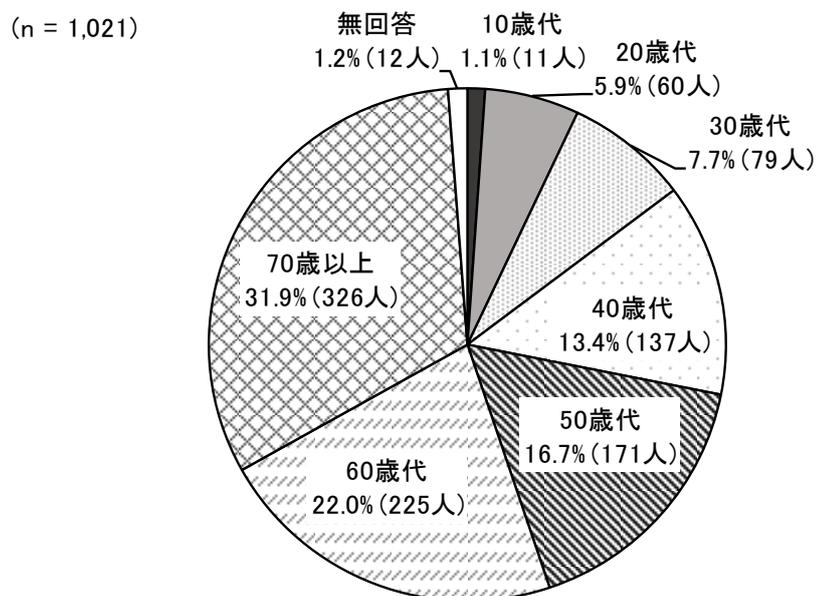
F 1-1 性別

図表 F1-1 性別



F 1-2 年齢

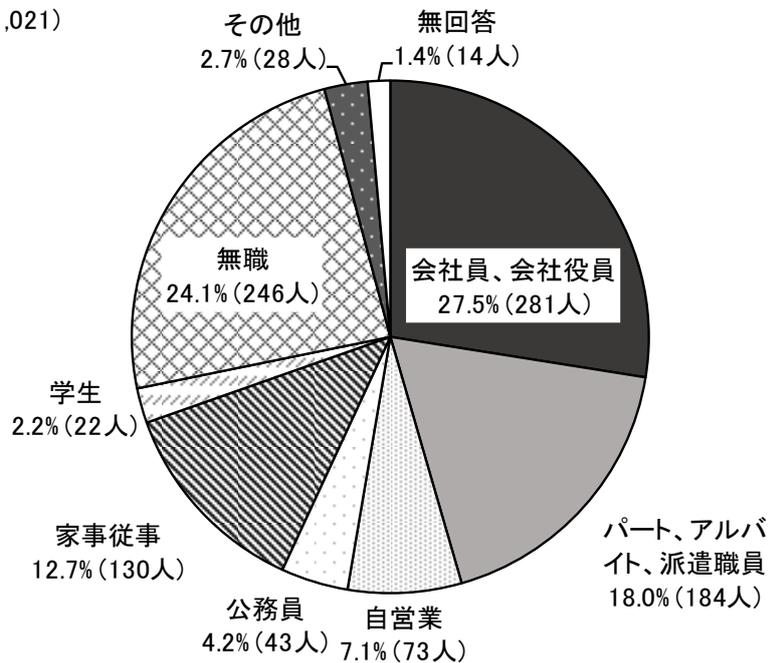
図表 F1-2 年齢



F 1-3 職業

図表 F1-3 職業

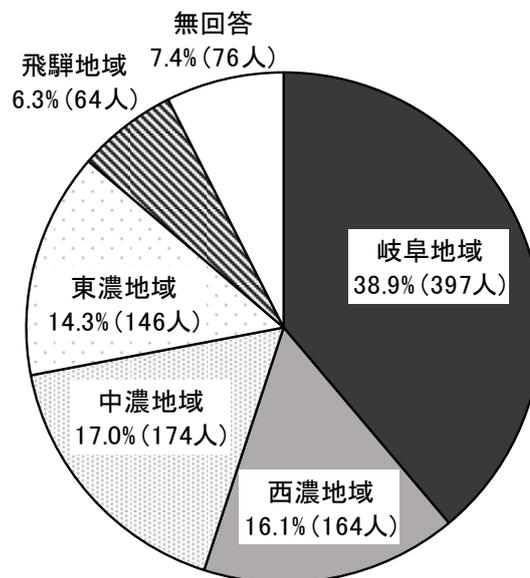
(n = 1,021)



F 1-4 居住地

図表 F1-4 居住地

(n = 1,021)

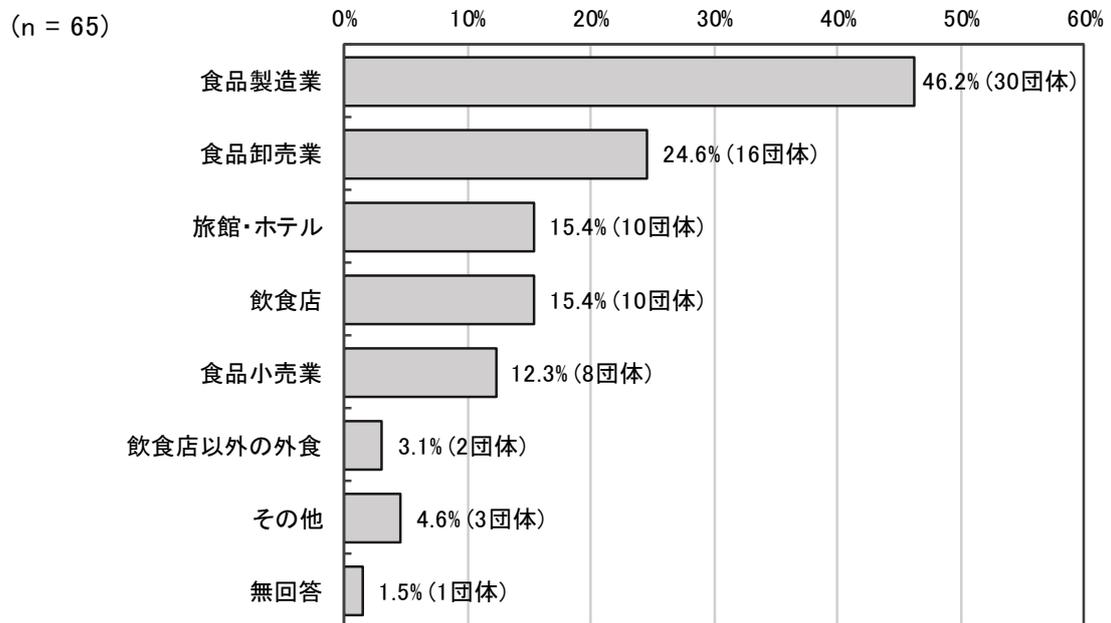


※岐阜地域…岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡
 ※西濃地域…大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡
 ※中濃地域…関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡
 ※東濃地域…多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市
 ※飛騨地域…高山市、飛騨市、下呂市、大野郡

(2) 食品関連事業所を対象とする調査

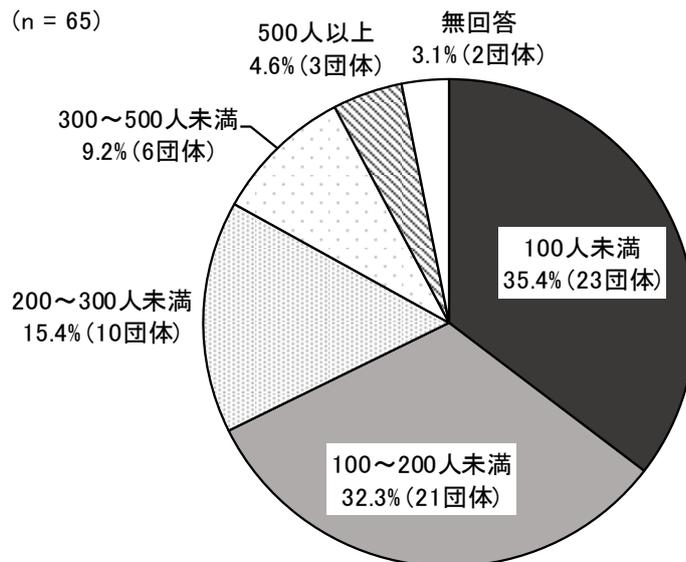
F 2-1 業種 (複数回答可)

図表 F2-1 業種



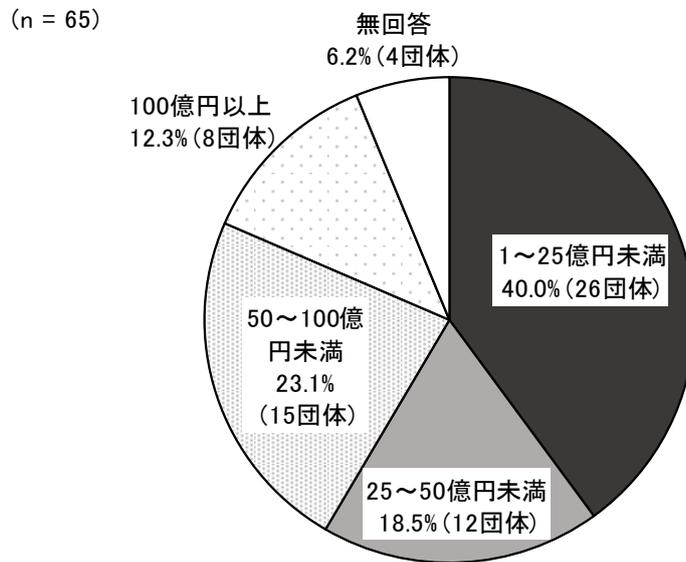
F 2-2 従業員数

図表 F2-2 従業員数



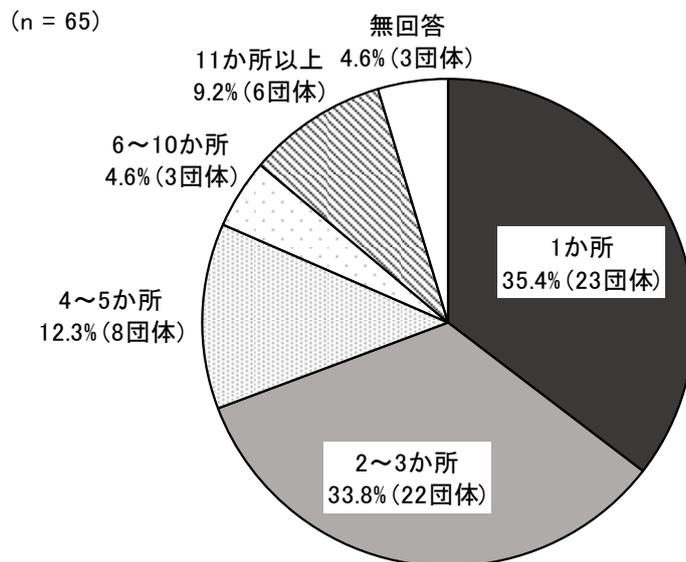
F 2-3 売上高（製造品出荷額）

図表 F2-3 売上高（製造品出荷額）



F 2-4 県内事業所数

図表 F2-4 県内事業所数



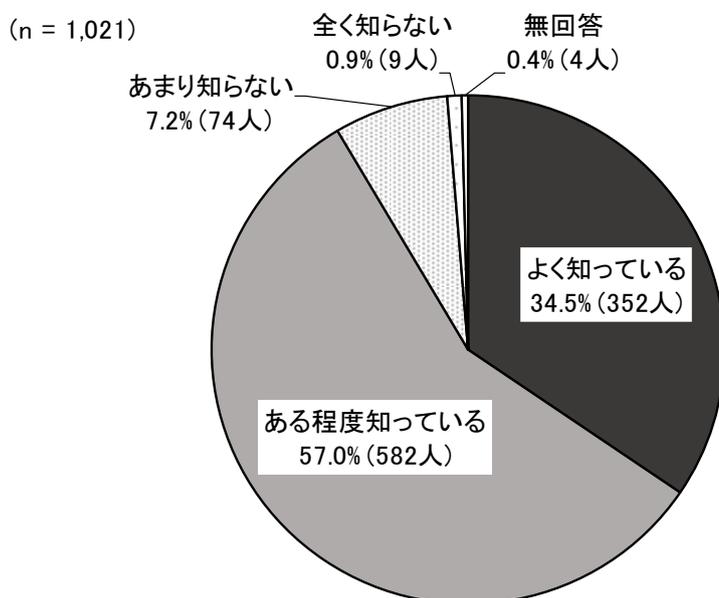
2. 一般県民を対象とする調査結果

2-1 食品ロス問題の認知度

問1 あなたは、食品ロスが問題となっていることを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

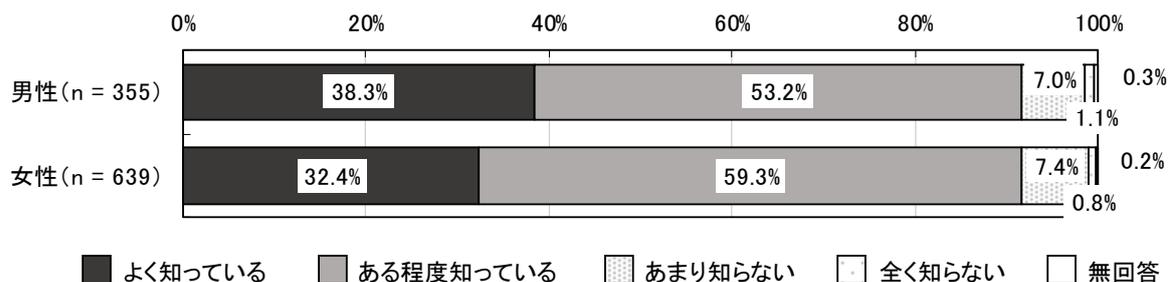
全体(図表2-1-1)で見ると、「ある程度知っている」が57.0%と最も高く、次いで「よく知っている」が34.5%、「あまり知らない」が7.2%の順となっています。また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が91.5%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』が8.1%となっています。

図表 2-1-1 食品ロス問題の認知度



性別(図表2-1-2)で見ると、男女ともに「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が9割を超えています。

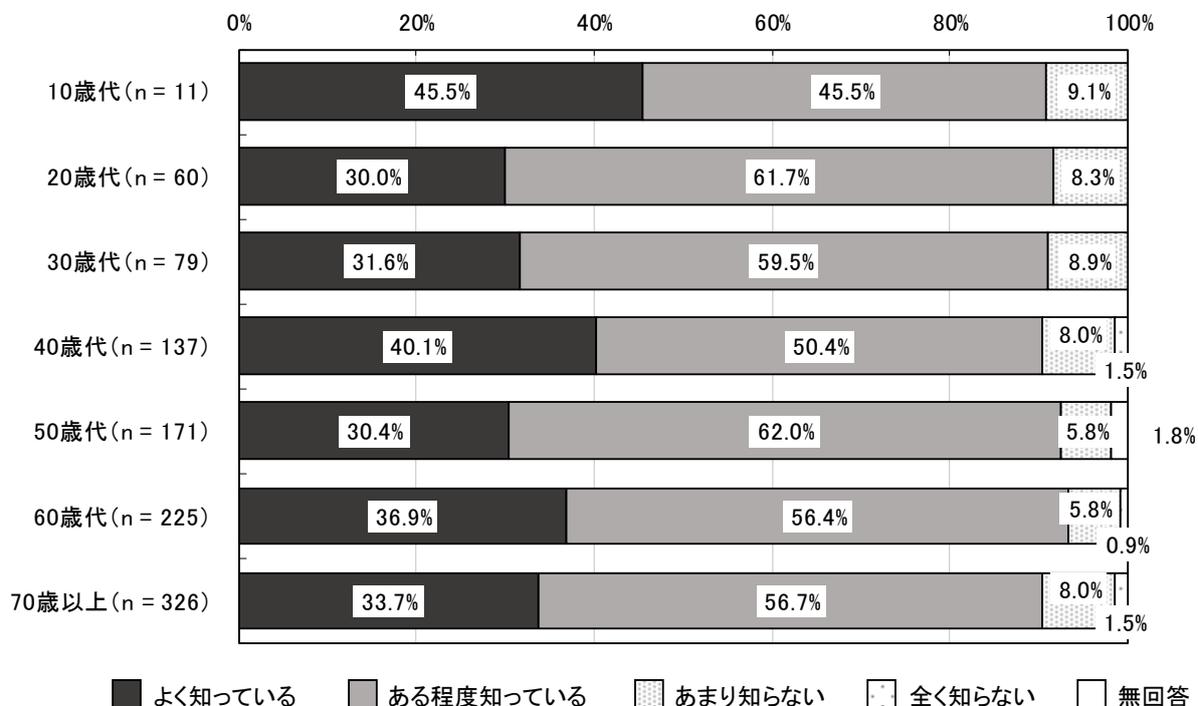
図表 2-1-2 【性別】食品ロス問題の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.68)参照。

年齢別（図表 2-1-3）で見ると、いずれの年齢においても「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が9割を超えています。

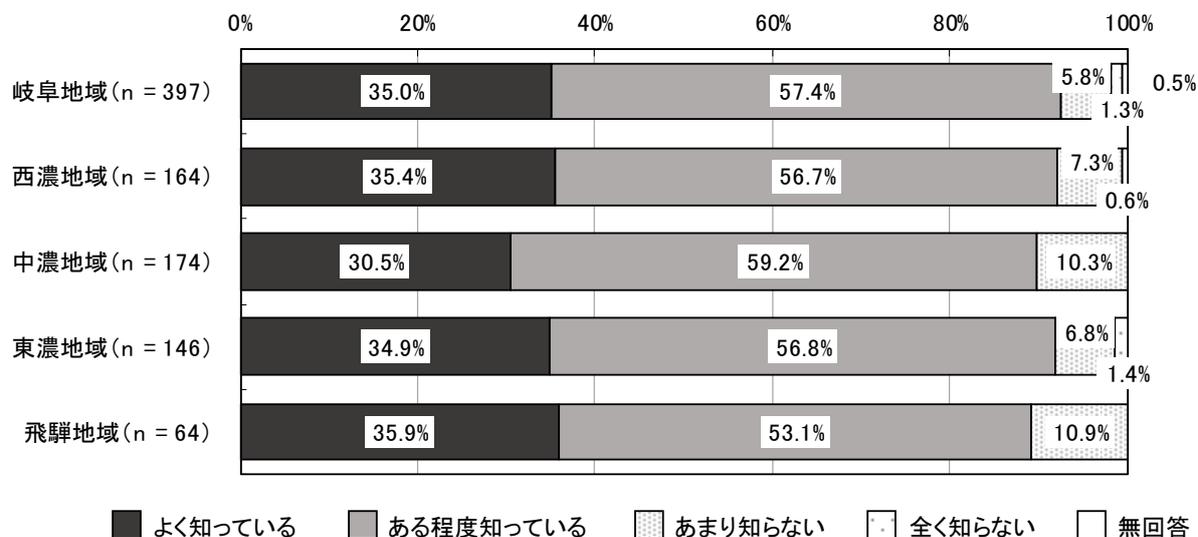
図表 2-1-3 【年齢別】食品ロス問題の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.68)参照。

居住地別（図表 2-1-4）で見ると、いずれの居住地においても「ある程度知っている」が最も高くなっています。

図表 2-1-4 【居住地別】食品ロス問題の認知度



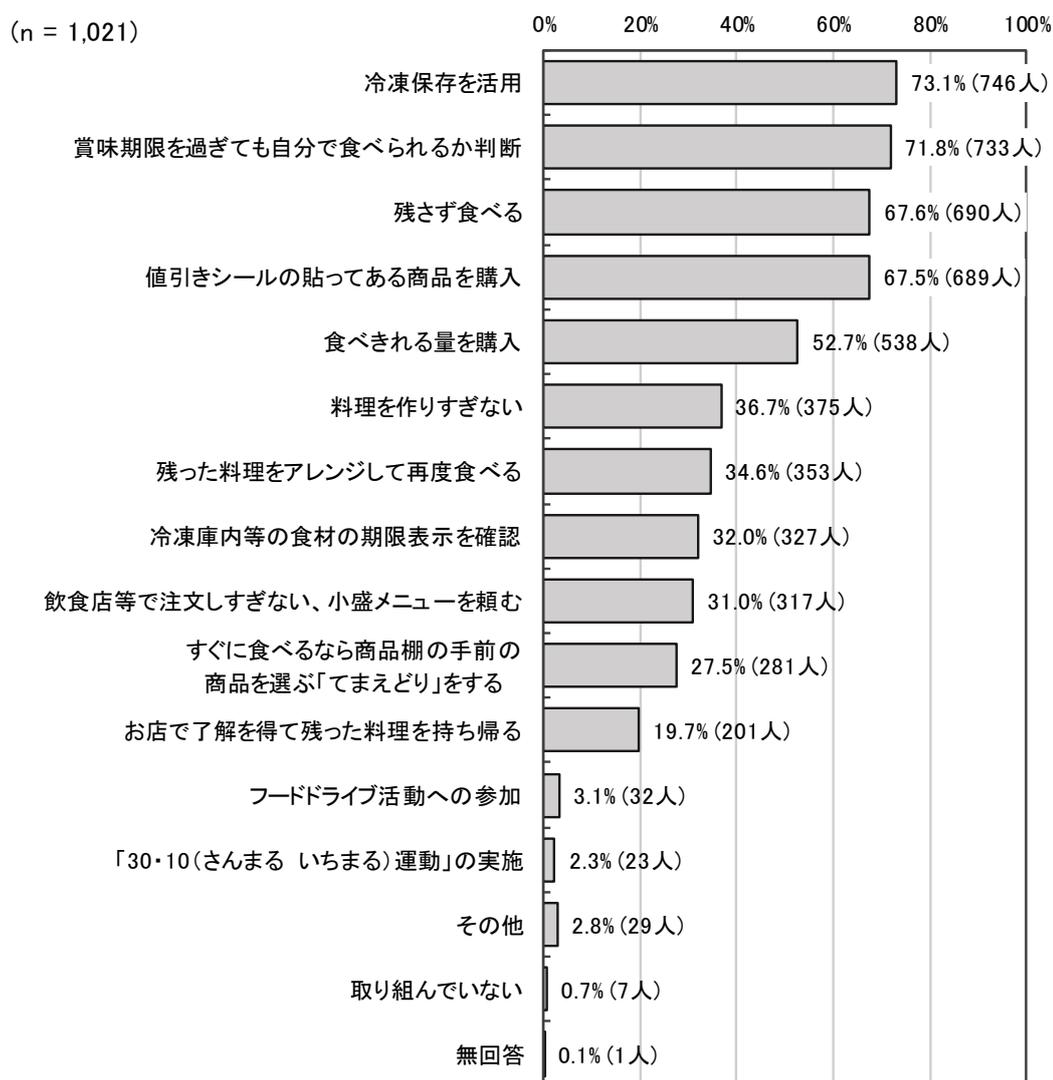
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.68)参照。

2-2 食品ロス削減の取組

問2 ご自身や家族が食品ロスを削減するために取り組んでいることはありますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表 2-2-1) でみると、「冷凍保存を活用」が73.1%と最も高く、次いで「賞味期限を過ぎても自分で食べられるか判断」が71.8%、「残さず食べる」が67.6%、「値引きシールの貼ってある商品を購入」が67.5%の順となっています。

図表 2-2-1 食品ロス削減の取組



性別（図表 2-2-2）で見ると、男性では「残さず食べる」が最も高く、女性より 7.9 ポイント高くなっています。女性では「冷凍保存を活用」が最も高く、男性より 13.6 ポイント高くなっています。

図表 2-2-2 【性別】食品ロス削減の取組

	冷凍保存を活用	賞味期限を過ぎても自分で食べられるか判断	残さず食べる	商品引きシールの貼ってある	食べきれぬ量を購入	料理を作りすぎない	残った料理をアレンジして再度食べる	冷凍庫内等の食材の期限表示を確認	飲食店等で注文しすぎない、小盛メニューを頼む	手前の商品を選ぶ「商品棚のどり」をする	すぐに食べるなら商品棚の
男性 (n=355)	64.2%	68.5%	73.0%	64.8%	49.3%	32.4%	26.8%	29.9%	26.2%	21.1%	
女性 (n=639)	77.8%	73.4%	65.1%	68.7%	54.9%	39.3%	38.7%	33.3%	33.5%	30.7%	

	お店で了解を得て残った料理を持ち帰る	フードドライブ活動への参加	「3・10運動」の実施	その他	取り組んでいない	無回答
男性 (n=355)	14.9%	1.7%	2.3%	2.0%	1.1%	0.0%
女性 (n=639)	21.9%	4.1%	2.3%	3.4%	0.5%	0.0%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.69～70)参照。

年齢別（図表 2-2-3）でみると、20 歳代、30 歳代、50 歳代では「残さず食べる」が最も高く、そのうち 20～30 歳代で 8 割以上と高くなっています。

図表 2-2-3 【年齢別】食品ロス削減の取組

	冷凍保存を活用	賞味期限を過ぎても自分で食べられるか判断	残さず食べる	商品引きシールの貼ってある	食べきれぬ量を購入	料理を作りすぎない	残った料理をアレンジして再度食べる	冷凍庫内等の食材の期限表示を確認	飲食店等で注文しすぎない、小盛メニューを頼む	手前の商品を選ぶなら商品棚の「どり」をする	すぐに食べるなら商品棚の「どり」をする
10歳代 (n=11)	72.7%	54.5%	72.7%	81.8%	54.5%	45.5%	45.5%	27.3%	63.6%	18.2%	
20歳代 (n=60)	58.3%	70.0%	85.0%	70.0%	53.3%	16.7%	23.3%	18.3%	33.3%	21.7%	
30歳代 (n=79)	79.7%	81.0%	84.8%	69.6%	49.4%	24.1%	35.4%	27.8%	27.8%	31.6%	
40歳代 (n=137)	73.0%	69.3%	63.5%	70.8%	56.2%	29.9%	35.0%	23.4%	24.8%	32.8%	
50歳代 (n=171)	71.3%	70.8%	73.1%	70.8%	54.4%	36.3%	34.5%	25.1%	28.7%	35.1%	
60歳代 (n=225)	72.4%	74.7%	65.3%	66.2%	53.8%	40.9%	32.9%	36.0%	29.3%	24.0%	
70歳以上 (n=326)	75.5%	69.6%	61.0%	63.5%	50.3%	43.6%	36.5%	40.2%	34.7%	23.6%	

	お店で帰る料	フードドライブ活動への参加	「3・10運動」の実施	その他	取り組んでいない	無回答
10歳代 (n=11)	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
20歳代 (n=60)	11.7%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代 (n=79)	13.9%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%
40歳代 (n=137)	23.4%	4.4%	2.2%	2.2%	1.5%	0.0%
50歳代 (n=171)	19.3%	3.5%	1.8%	3.5%	0.0%	0.0%
60歳代 (n=225)	17.8%	4.0%	2.2%	2.2%	0.4%	0.0%
70歳以上 (n=326)	21.8%	2.8%	3.1%	4.3%	0.9%	0.0%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.69～70) 参照。

居住地別（図表 2-2-4）でみると、いずれの居住地においても「冷凍保存を活用」、「賞味期限を過ぎても自分で食べられるか判断」がともに7割以上と高くなっています。

図表 2-2-4 【居住地別】食品ロス削減の取組

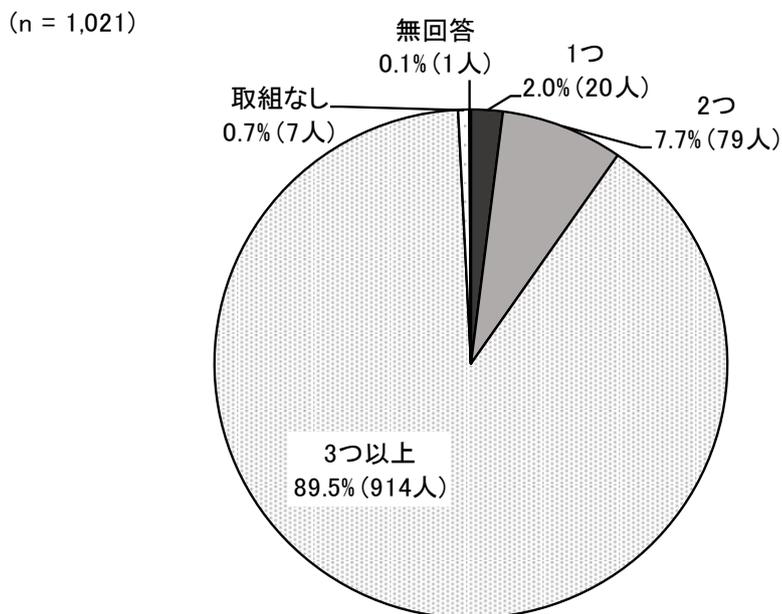
	冷凍保存を活用	賞味期限を過ぎても自分で食べられるか判断	残さず食べる	商品引きシールの貼ってある	食べきれぬ量を購入	料理を作りすぎない	残った料理をアレンジして再度食べる	冷凍庫内等の食材の期限表示を確認	飲食店等で注文しすぎない、小盛メニューを頼む	「手前の商品を選ぶなら商品棚のどり」をする
岐阜地域 (n=397)	71.0%	71.3%	67.8%	65.5%	54.7%	38.8%	34.0%	35.3%	34.5%	24.4%
西濃地域 (n=164)	70.1%	72.6%	63.4%	65.2%	45.7%	28.0%	32.9%	31.1%	25.0%	26.8%
中濃地域 (n=174)	74.1%	73.0%	69.5%	73.0%	55.2%	37.4%	34.5%	27.6%	35.1%	28.2%
東濃地域 (n=146)	82.2%	74.0%	67.1%	75.3%	52.7%	37.0%	39.0%	32.9%	26.0%	30.8%
飛騨地域 (n=64)	75.0%	75.0%	73.4%	64.1%	53.1%	39.1%	35.9%	28.1%	28.1%	31.3%

	お店で了解を得て残った料理を持ち帰る	フードドライブ活動への参加	「3・10運動」の実施	その他	取り組んでいない	無回答
岐阜地域 (n=397)	16.1%	2.5%	2.5%	2.8%	0.8%	0.0%
西濃地域 (n=164)	19.5%	5.5%	1.2%	2.4%	1.8%	0.0%
中濃地域 (n=174)	21.8%	3.4%	1.7%	4.0%	0.6%	0.0%
東濃地域 (n=146)	24.7%	2.1%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%
飛騨地域 (n=64)	20.3%	3.1%	9.4%	1.6%	0.0%	0.0%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.69～70)参照。

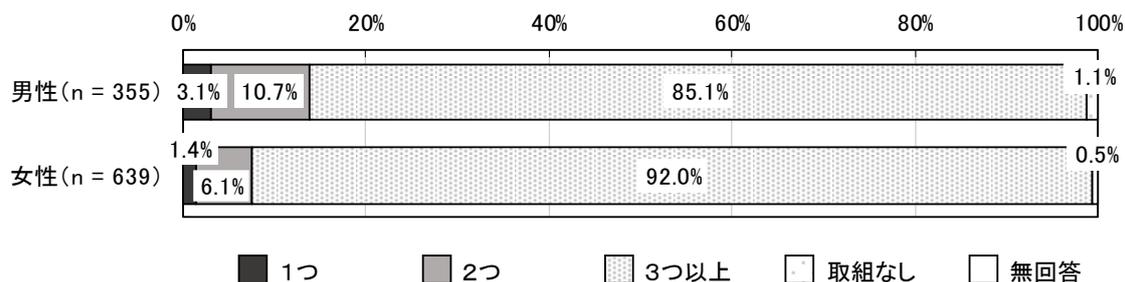
食品ロスを削減するための取組について、問2で選択された項目数を集計したところ、全体（図表 2-2-5）で見ると、「3つ以上」の取組を行っている人は89.5%でした。

図表 2-2-5 食品ロス削減の取組数



食品ロス削減の取組数を性別（図表 2-2-6）で見ると、「3つ以上」の取組を行っている人は、男性が85.1%、女性が92.0%と女性が男性より6.9ポイント高くなっています。

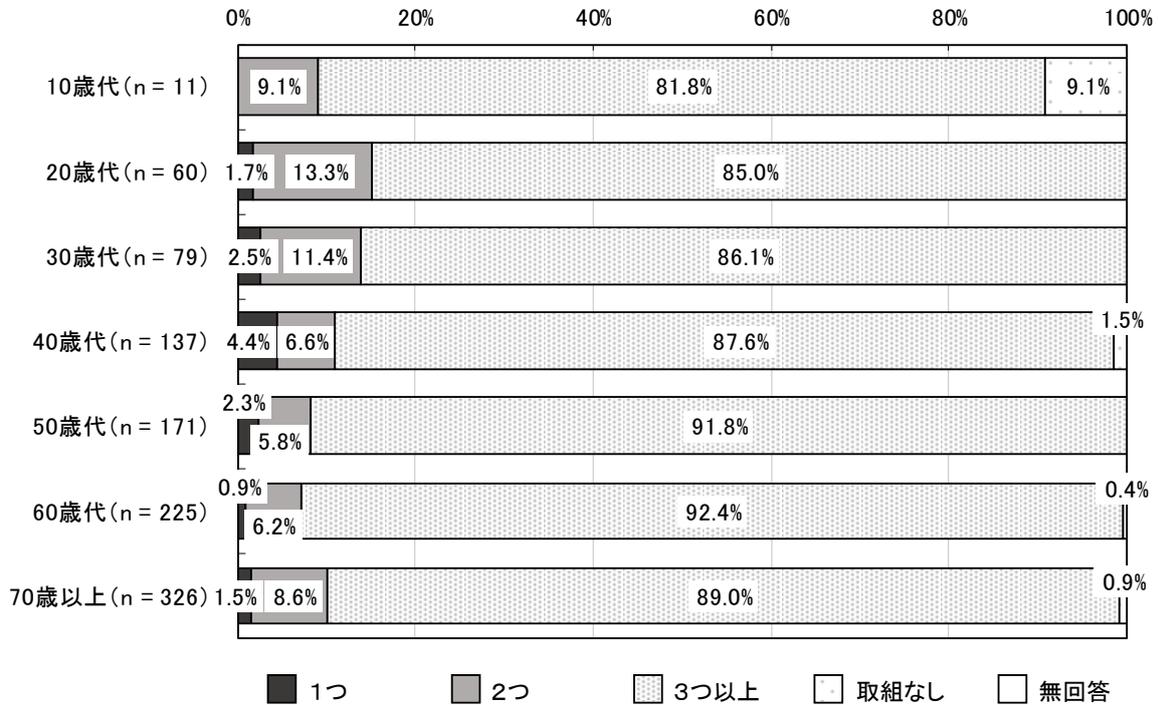
図表 2-2-6 【性別】食品ロス削減の取組数



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.71) 参照。

食品ロス削減の取組数を年齢別（図表 2-2-7）で見ると、「3つ以上」の取組を行っている人は、50～60歳代で9割を超えています。

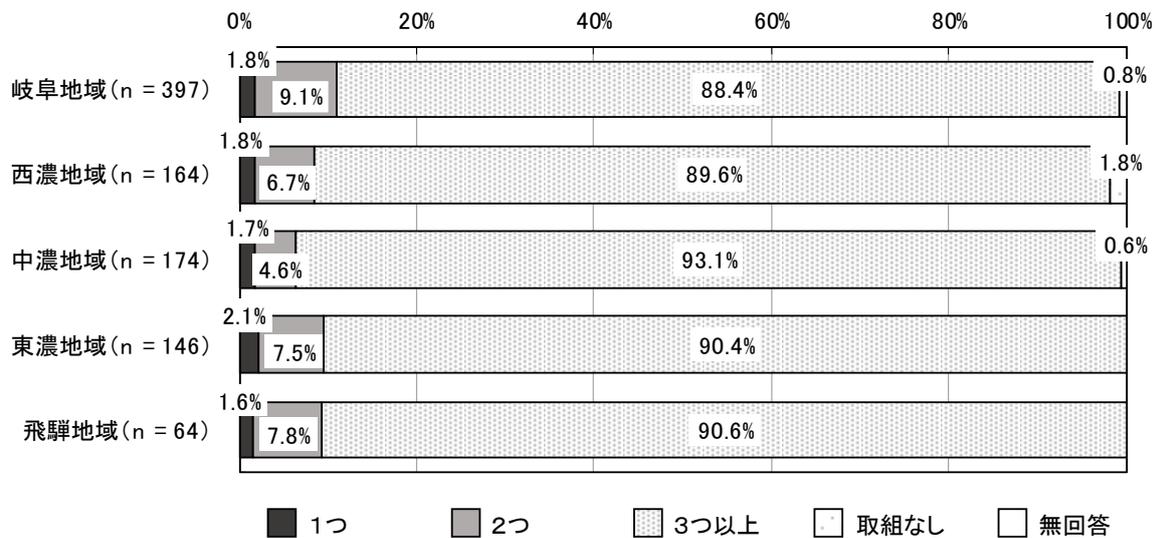
図表 2-2-7 【年齢別】食品ロス削減の取組数



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.71)参照。

食品ロス削減の取組数を居住地別（図表 2-2-8）で見ると、「3つ以上」の取組を行っている人は、中濃地域、東濃地域、飛騨地域で9割を超えています。

図表 2-2-8 【居住地別】食品ロス削減の取組数



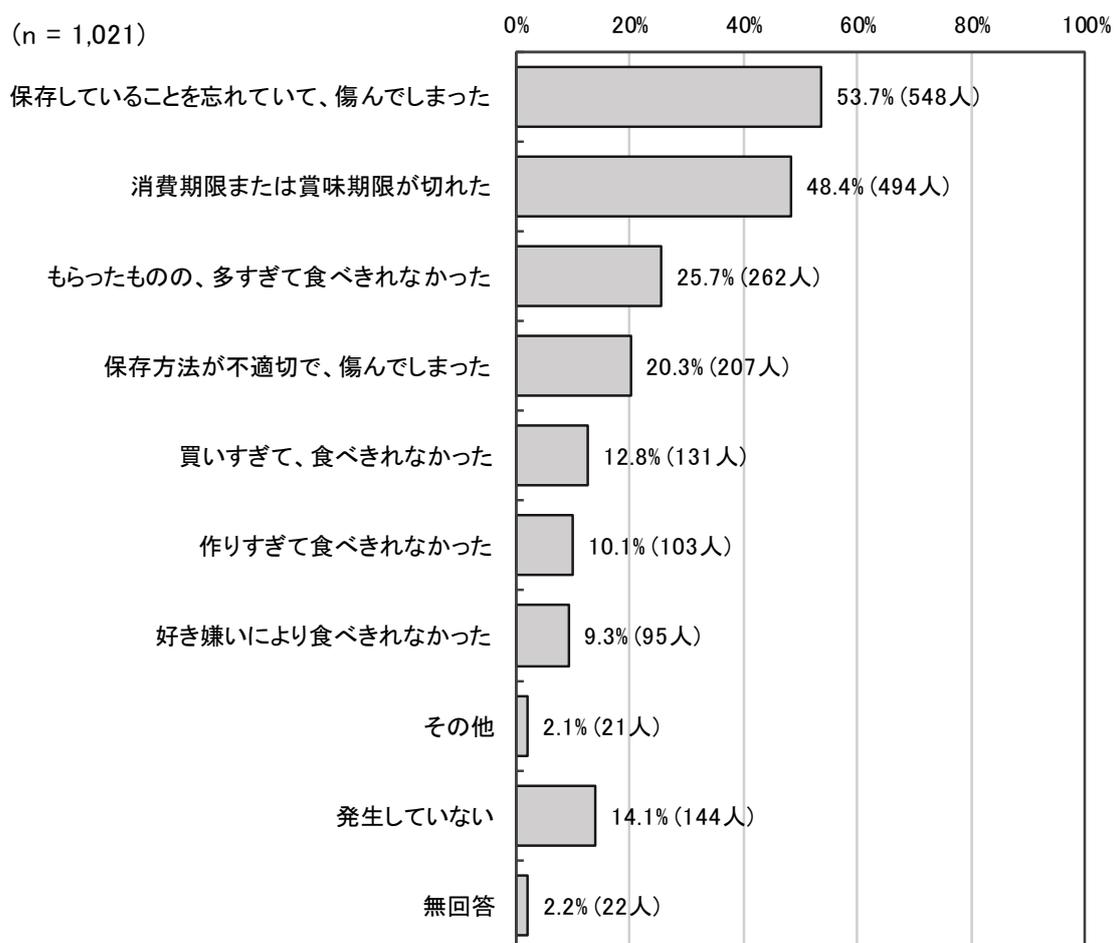
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.71)参照。

2-3 食品ロスの発生理由

問3 あなたのご家庭ではどのような理由で食品ロスが発生しますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表2-3-1)で見ると、「保存していることを忘れていて、傷んでしまった」が53.7%と最も高く、次いで「消費期限または賞味期限が切れた」が48.4%、「もらったものの、多すぎて食べきれなかった」が25.7%の順となっています。

図表 2-3-1 食品ロスの発生理由



性別（図表 2-3-2）で見ると、男女ともに「保存していることを忘れていて、傷んでしまった」が最も高くなっています。また、「発生していない」では男性が女性より 5.8 ポイント高くなっています。

図表 2-3-2 【性別】食品ロスの発生理由

	いて、傷んでしまったことを忘れて	消費期限または賞味期限が切れた	もらったもの、多すぎて食べきれなかった	保存方法が不適切で、傷んでしまった	買ったすぎて、食べきれなかった	作りすぎて食べきれなかった	好き嫌いにより食べきれなかった	その他	発生していない	無回答
男性 (n=355)	52.7%	45.1%	23.1%	18.3%	13.5%	9.3%	7.6%	1.7%	18.0%	1.4%
女性 (n=639)	54.6%	50.5%	27.2%	20.8%	12.4%	10.5%	10.2%	2.3%	12.2%	1.9%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.72～73)参照。

年齢別（図表 2-3-3）で見ると、30 歳代以下で「保存していることを忘れていて、傷んでしまった」が 6 割以上と他の年齢に比べて高くなっています。また、70 歳以上では「発生していない」が 20.2%と他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2-3-3 【年齢別】食品ロスの発生理由

	いて、傷んでしまったことを忘れて	消費期限または賞味期限が切れた	もらったもの、多すぎて食べきれなかった	保存方法が不適切で、傷んでしまった	買ったすぎて、食べきれなかった	作りすぎて食べきれなかった	好き嫌いにより食べきれなかった	その他	発生していない	無回答
10歳代 (n=11)	72.7%	54.5%	36.4%	18.2%	27.3%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代 (n=60)	60.0%	51.7%	25.0%	13.3%	8.3%	11.7%	13.3%	0.0%	18.3%	1.7%
30歳代 (n=79)	63.3%	45.6%	27.8%	27.8%	16.5%	13.9%	10.1%	2.5%	7.6%	1.3%
40歳代 (n=137)	52.6%	51.8%	30.7%	24.8%	13.1%	11.7%	15.3%	5.1%	8.8%	1.5%
50歳代 (n=171)	52.6%	53.8%	28.7%	18.1%	12.9%	9.9%	5.8%	0.0%	11.1%	2.3%
60歳代 (n=225)	55.6%	51.6%	30.2%	22.2%	12.0%	8.4%	7.6%	1.8%	13.3%	0.4%
70歳以上 (n=326)	49.7%	42.6%	17.8%	17.5%	12.0%	8.9%	8.6%	2.5%	20.2%	2.5%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.72～73)参照。

居住地別（図表 2-3-4）で見ると、いずれの居住地においても「保存していることを忘れていて、傷んでしまった」が最も高くなっています。なお、飛騨地域は「消費期限または賞味期限が切れた」も同様に最も高くなっています。

図表 2-3-4 【居住地別】食品ロスの発生理由

	保存していることを忘れていて、傷んでしまった	消費期限または賞味期限が切れた	もらったもの、多すぎて食べきれなかった	保存方法が不適切で、傷んでしまった	買ったすぎて、食べきれなかった	作りすぎて食べきれなかった	好き嫌いにより食べきれなかった	その他	発生していない	無回答
岐阜地域 (n=397)	49.9%	46.6%	25.4%	19.4%	11.6%	10.1%	11.1%	1.8%	18.4%	1.3%
西濃地域 (n=164)	58.5%	51.2%	25.6%	17.7%	10.4%	8.5%	8.5%	2.4%	12.8%	0.6%
中濃地域 (n=174)	55.7%	48.9%	25.3%	25.3%	12.1%	12.1%	10.3%	1.1%	10.9%	1.7%
東濃地域 (n=146)	57.5%	45.9%	25.3%	19.2%	15.8%	13.7%	4.1%	2.7%	11.6%	2.1%
飛騨地域 (n=64)	57.8%	57.8%	31.3%	21.9%	15.6%	6.3%	10.9%	6.3%	12.5%	0.0%

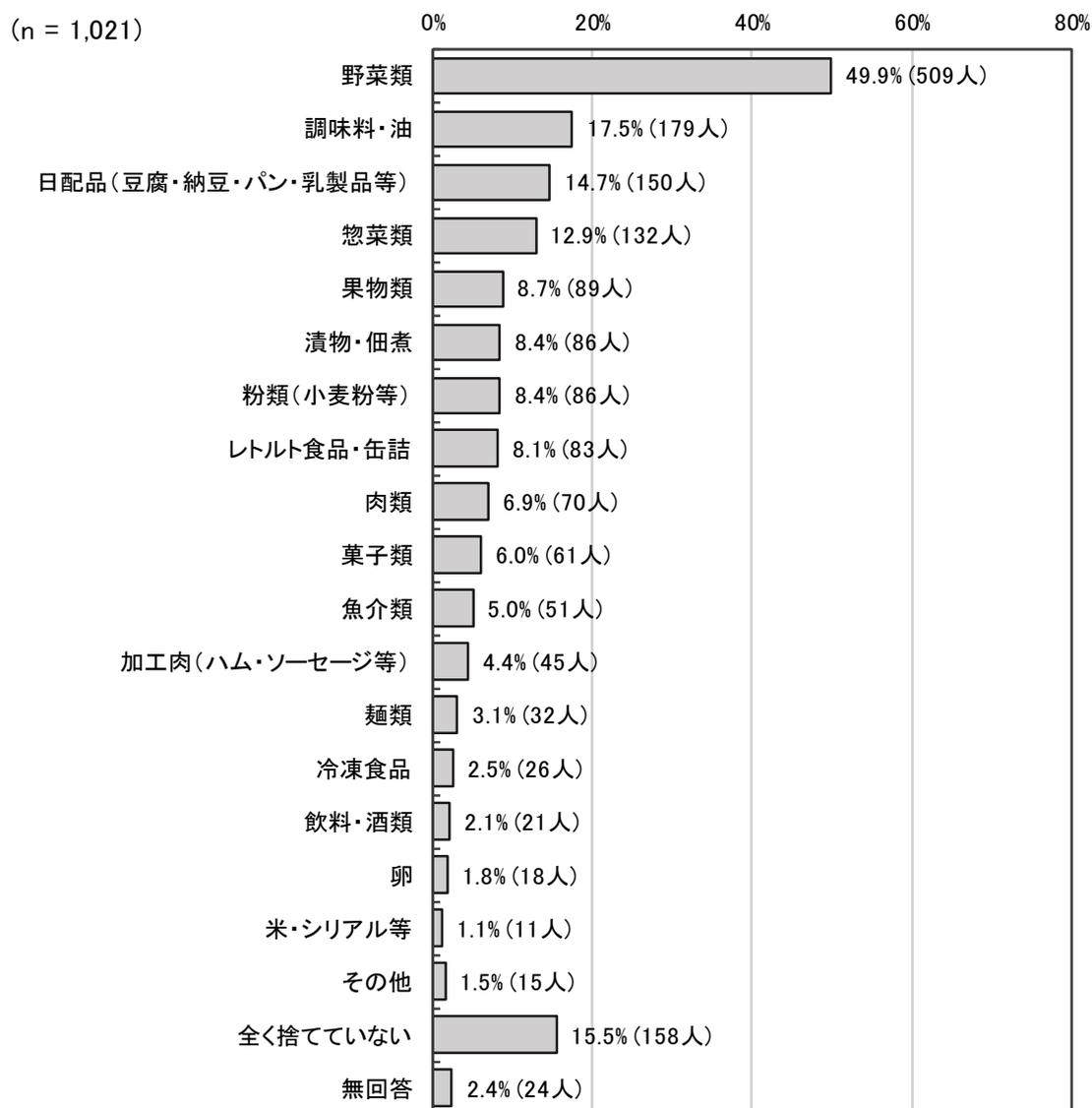
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.72～73)参照。

2-4 家庭で捨ててしまいがちな食品

問4 あなたのご家庭で捨ててしまいがちな食品はどんなものですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表 2-4-1) でみると、「全く捨てていない」を除き、「野菜類」が 49.9%と最も高く、次いで「調味料・油」が 17.5%、「日配品(豆腐・納豆・パン・乳製品等)」が 14.7%の順となっています。

図表 2-4-1 家庭で捨ててしまいがちな食品



性別（図表 2-4-2）で見ると、男女ともに「野菜類」が最も高く、男性が 45.4%、女性が 52.3%と女性が男性より 6.9 ポイント高くなっています。また、「全く捨てていない」では男性が女性より 8.9 ポイント高くなっています。

図表 2-4-2 【性別】 家庭で捨ててしまいがちな食品

	野菜類	調味料・油	パン・乳製品等（豆腐・納豆・日配品）	惣菜類	果物類	漬物・佃煮	粉類（小麦粉等）	レトルト食品・缶詰	肉類	菓子類
男性 (n=355)	45.4%	14.9%	13.0%	14.6%	9.9%	6.5%	4.2%	5.1%	6.2%	7.3%
女性 (n=639)	52.3%	19.2%	16.0%	12.1%	8.3%	9.4%	11.0%	10.0%	7.4%	5.5%

	魚介類	加工肉（ハム・ソーセージ等）	麺類	冷凍食品	飲料・酒類	卵	米・シリアル等	その他	全く捨てていない	無回答
男性 (n=355)	6.5%	3.4%	2.0%	1.7%	2.3%	2.5%	2.0%	1.7%	21.4%	1.4%
女性 (n=639)	3.6%	5.2%	3.8%	3.0%	1.9%	1.4%	0.6%	1.4%	12.5%	2.2%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.74～76) 参照。

年齢別（図表 2-4-3）で見ると、いずれの年齢においても「野菜類」が最も高く、そのうち 30 歳代で 68.4%と最も高くなっています。また、「全く捨てていない」では 70 歳以上が 20.6%と他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2-4-3 【年齢別】 家庭で捨ててしまいがちな食品

	野菜類	調味料・油	パン・日配品（豆腐・納豆・乳製品等）	惣菜類	果物類	漬物・佃煮	粉類（小麦粉等）	レトルト食品・缶詰	肉類	菓子類
10歳代 (n=11)	63.6%	9.1%	9.1%	9.1%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%
20歳代 (n=60)	53.3%	23.3%	20.0%	13.3%	8.3%	1.7%	8.3%	8.3%	6.7%	6.7%
30歳代 (n=79)	68.4%	11.4%	16.5%	10.1%	8.9%	10.1%	5.1%	3.8%	8.9%	15.2%
40歳代 (n=137)	54.7%	15.3%	16.1%	16.1%	12.4%	10.9%	6.6%	10.2%	9.5%	8.0%
50歳代 (n=171)	43.3%	21.1%	12.3%	12.9%	12.9%	14.0%	8.8%	9.4%	6.4%	4.7%
60歳代 (n=225)	54.7%	23.6%	15.1%	12.9%	8.4%	6.2%	11.1%	8.4%	5.3%	4.4%
70歳以上 (n=326)	42.6%	13.8%	14.1%	12.3%	5.2%	6.1%	8.0%	7.7%	6.7%	4.9%

	魚介類	セージ肉（ハム・ソー）	麺類	冷凍食品	飲料・酒類	卵	米・シリアル等	その他	全く捨てていない	無回答
10歳代 (n=11)	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%
20歳代 (n=60)	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	15.0%	1.7%
30歳代 (n=79)	6.3%	0.0%	2.5%	1.3%	2.5%	2.5%	3.8%	1.3%	7.6%	0.0%
40歳代 (n=137)	3.6%	2.2%	3.6%	1.5%	2.2%	1.5%	1.5%	2.9%	11.7%	1.5%
50歳代 (n=171)	4.7%	3.5%	1.2%	1.8%	4.1%	1.2%	0.6%	1.8%	15.2%	1.8%
60歳代 (n=225)	4.0%	6.7%	1.8%	3.1%	0.0%	0.9%	1.3%	0.9%	14.7%	0.4%
70歳以上 (n=326)	6.1%	5.5%	4.6%	3.4%	2.8%	1.8%	0.6%	1.2%	20.6%	3.7%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.74～76)参照。

居住地別（図表 2-4-4）で見ると、いずれの居住地においても「野菜類」が最も高く、そのうち岐阜地域、西濃地域で5割を超えています。

図表 2-4-4 【居住地別】家庭で捨ててしまいがちな食品

	野菜類	調味料・油	パン・配品（豆腐・納豆・乳製品等）	惣菜類	果物類	漬物・佃煮	粉類（小麦粉等）	レトルト食品・缶詰	肉類	菓子類
岐阜地域 (n=397)	51.4%	19.4%	14.6%	12.8%	10.1%	8.3%	9.3%	8.6%	6.5%	5.5%
西濃地域 (n=164)	55.5%	18.9%	14.6%	11.0%	3.7%	6.1%	7.3%	4.9%	4.9%	7.3%
中濃地域 (n=174)	48.9%	13.2%	16.7%	12.1%	6.9%	8.0%	9.8%	9.8%	8.6%	4.0%
東濃地域 (n=146)	46.6%	16.4%	14.4%	14.4%	11.0%	9.6%	6.2%	8.2%	8.9%	6.8%
飛騨地域 (n=64)	43.8%	21.9%	18.8%	14.1%	10.9%	12.5%	9.4%	7.8%	4.7%	7.8%

	魚介類	加工肉（ハム・ソーセージ等）	麺類	冷凍食品	飲料・酒類	卵	米・シリアル等	その他	全く捨てていない	無回答
岐阜地域 (n=397)	6.3%	5.0%	3.0%	2.5%	1.3%	2.0%	1.5%	1.3%	17.6%	1.3%
西濃地域 (n=164)	1.2%	1.8%	4.3%	1.8%	3.0%	2.4%	0.0%	3.0%	14.6%	1.2%
中濃地域 (n=174)	4.6%	2.9%	3.4%	2.9%	3.4%	2.3%	0.6%	0.6%	14.9%	2.3%
東濃地域 (n=146)	2.1%	9.6%	1.4%	2.7%	0.7%	0.0%	1.4%	0.7%	15.8%	2.7%
飛騨地域 (n=64)	6.3%	3.1%	3.1%	3.1%	4.7%	0.0%	1.6%	4.7%	9.4%	1.6%

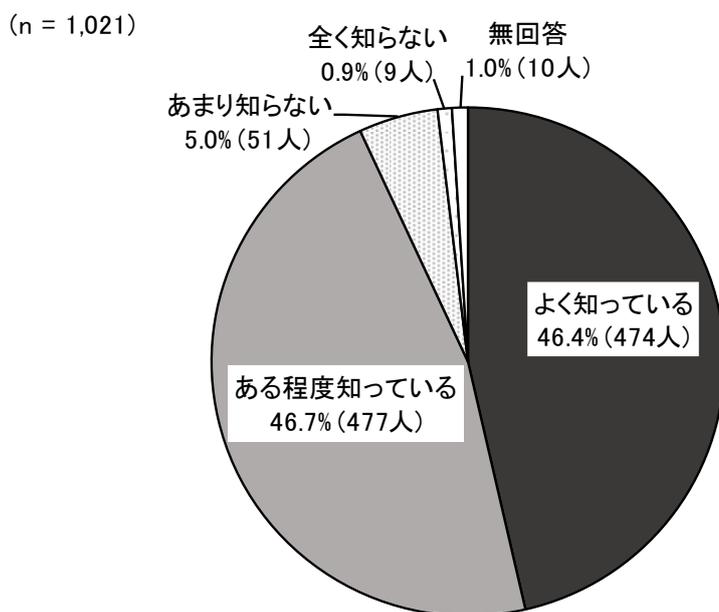
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.74～76)参照。

2-5 「賞味期限」と「消費期限」の認知度

問5 「賞味期限」と「消費期限」の違いを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

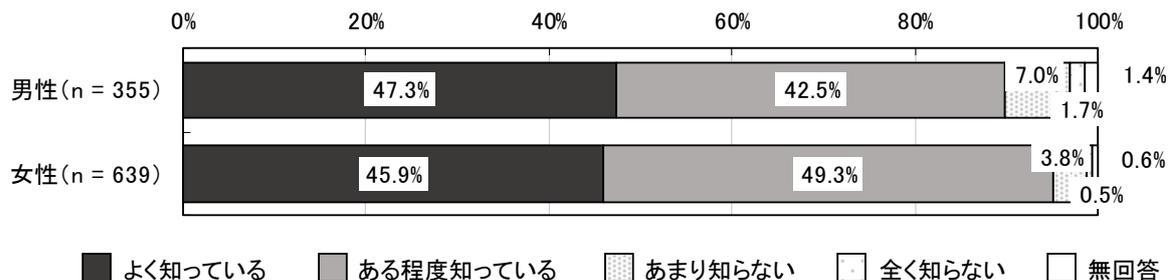
全体(図表2-5-1)で見ると、「ある程度知っている」が46.7%と最も高く、次いで「よく知っている」が46.4%、「あまり知らない」が5.0%の順となっています。また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が93.1%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』が5.9%となっています。

図表 2-5-1 「賞味期限」と「消費期限」の認知度



性別(図表2-5-2)で見ると、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、男性が89.8%、女性が95.2%と女性が男性より5.4ポイント高くなっています。

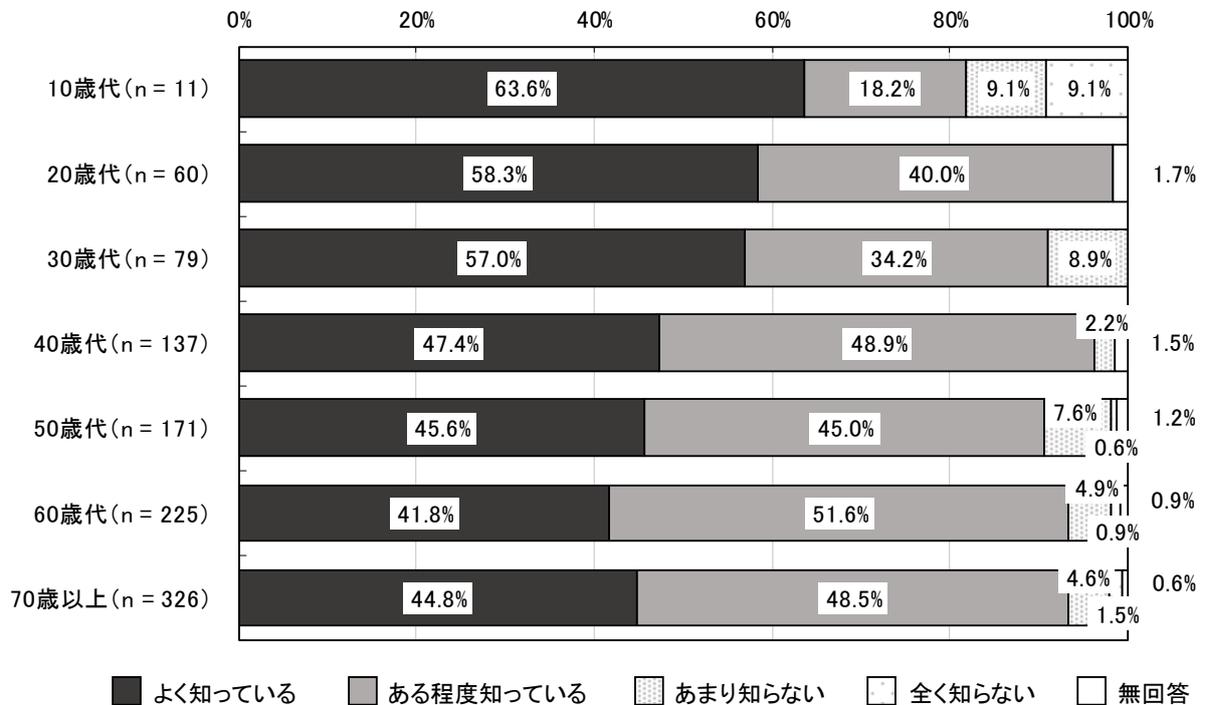
図表 2-5-2 【性別】「賞味期限」と「消費期限」の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.77)参照。

年齢別（図表 2-5-3）で見ると、30 歳代以下で「よく知っている」が5割以上と高くなっています。

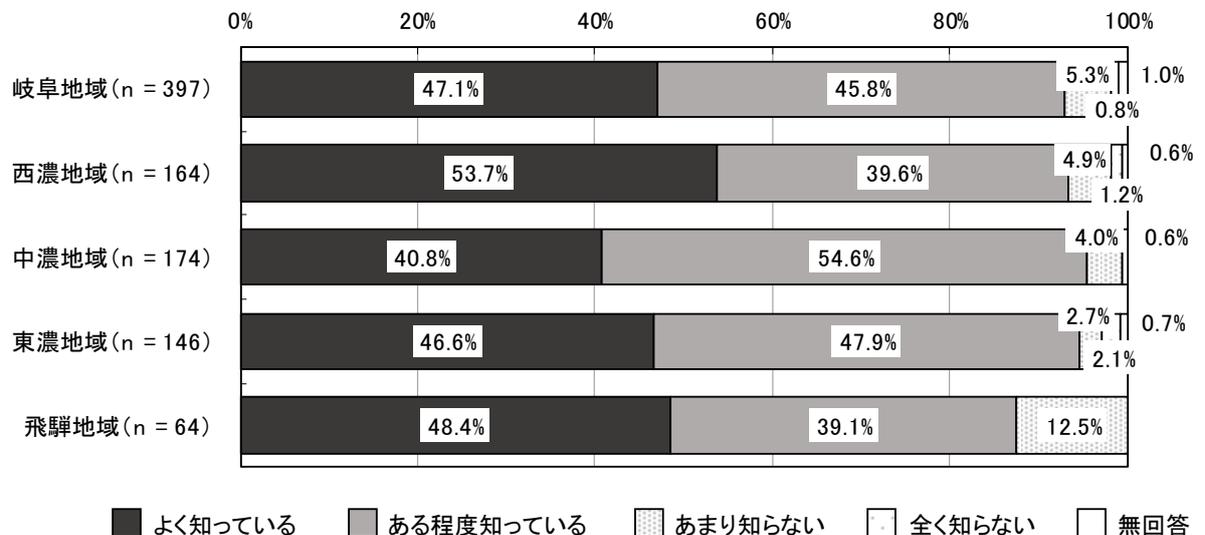
図表 2-5-3 【年齢別】「賞味期限」と「消費期限」の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.77)参照。

居住地別（図表 2-5-4）で見ると、西濃地域で「よく知っている」が 53.7%と他の居住地に比べて高くなっています。

図表 2-5-4 【居住地別】「賞味期限」と「消費期限」の認知度



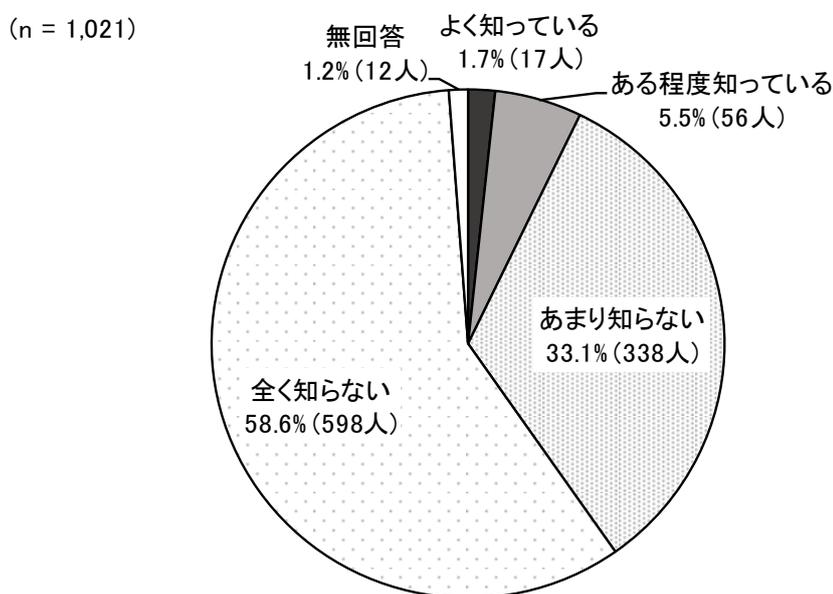
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.77)参照。

2-6 ぎふ食べきり運動の認知度

問6 ぎふ食べきり運動を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

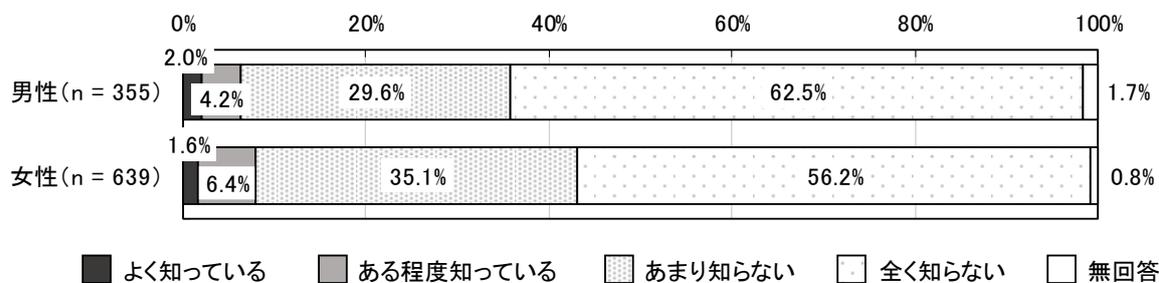
全体(図表2-6-1)で見ると、「全く知らない」が58.6%と最も高く、次いで「あまり知らない」が33.1%、「ある程度知っている」が5.5%の順となっています。また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が7.2%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』が91.7%となっています。

図表 2-6-1 ぎふ食べきり運動の認知度



性別(図表2-6-2)で見ると、男女ともに「全く知らない」が最も高くなっています。

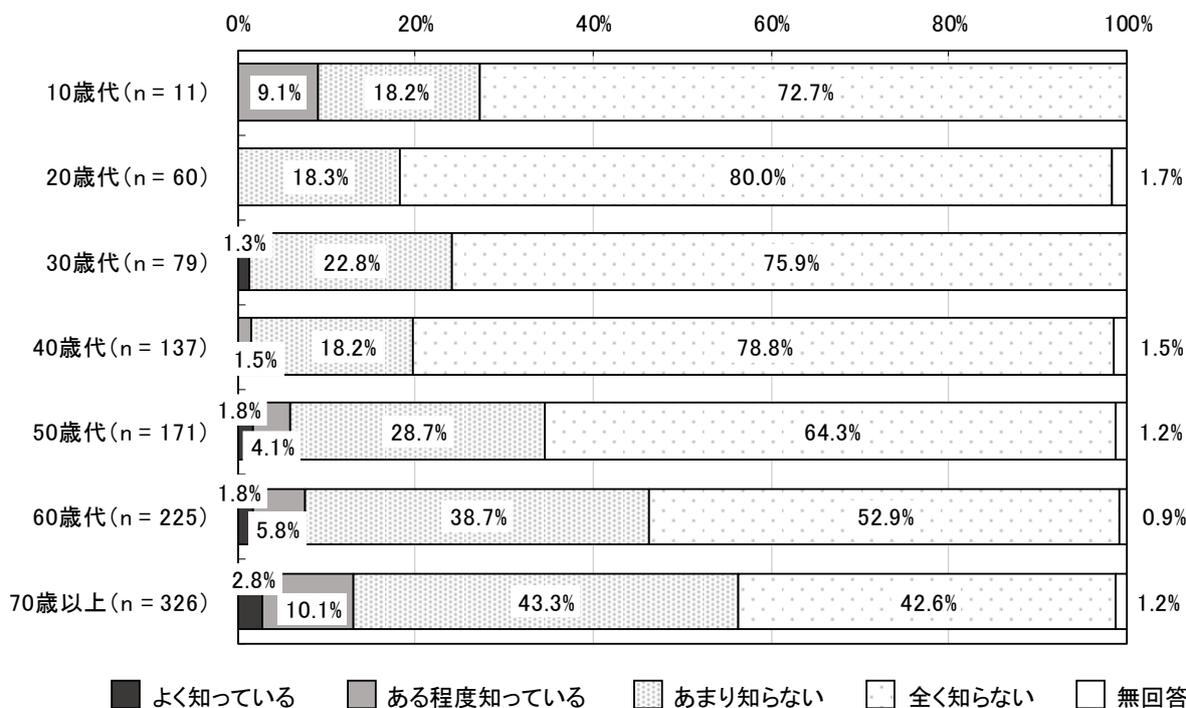
図表 2-6-2 【性別】ぎふ食べきり運動の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.78)参照。

年齢別（図表 2-6-3）で見ると、「全く知らない」は年齢が低くなるにつれて高くなる傾向がみられ、20歳代では80.0%と最も高くなっています。また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、70歳以上で12.9%と他の年齢に比べて高くなっています。

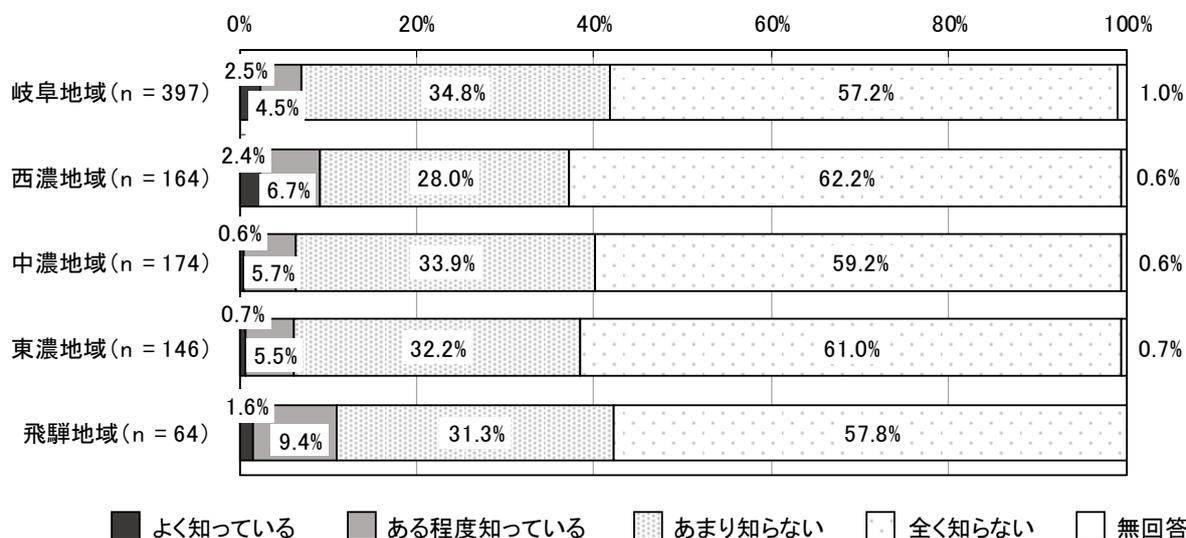
図表 2-6-3 【年齢別】ぎふ食べきり運動の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.78) 参照。

居住地別（図表 2-6-4）で見ると、いずれの居住地においても「全く知らない」が最も高くなっています。

図表 2-6-4 【居住地別】ぎふ食べきり運動の認知度



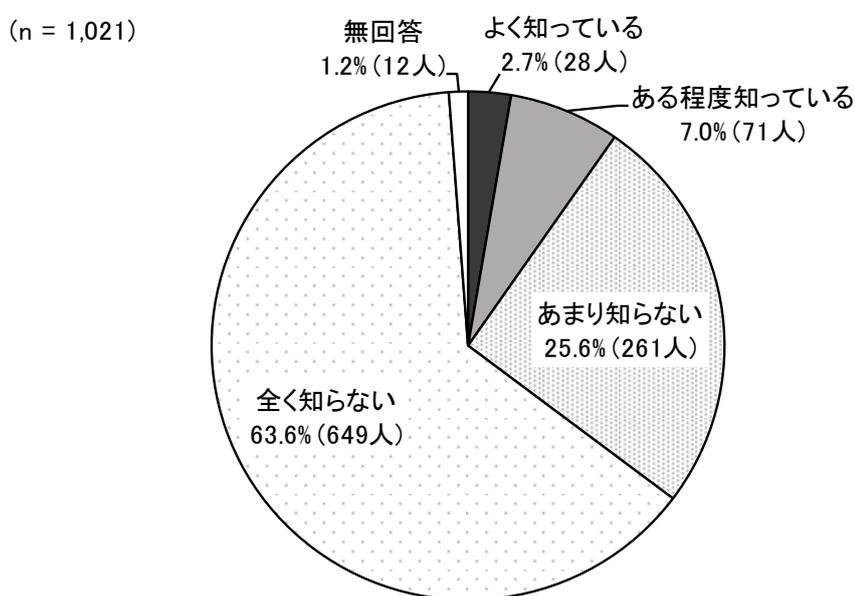
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.78) 参照。

2-7 「30・10（さんまる いちまる）運動」の認知度

問7 「30・10（さんまる いちまる）運動」を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）

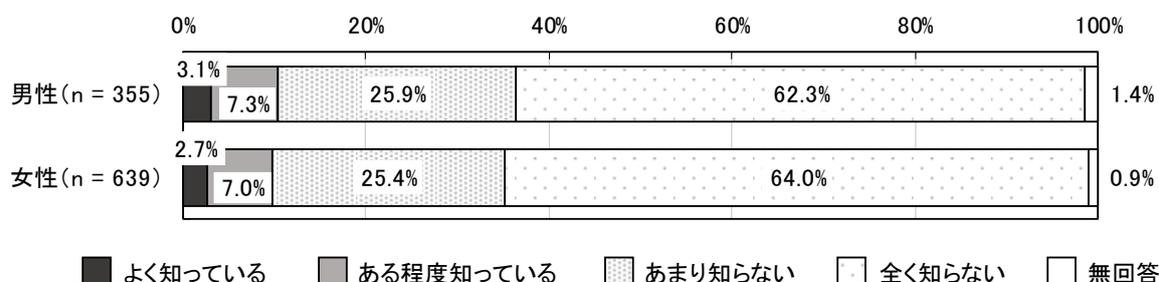
全体（図表 2-7-1）で見ると、「全く知らない」が 63.6%と最も高く、次いで「あまり知らない」が 25.6%、「ある程度知っている」が 7.0%の順となっています。また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が 9.7%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』が 89.2%となっています。

図表 2-7-1 「30・10（さんまる いちまる）運動」の認知度



性別（図表 2-7-2）で見ると、男女ともに「全く知らない」が最も高くなっています。

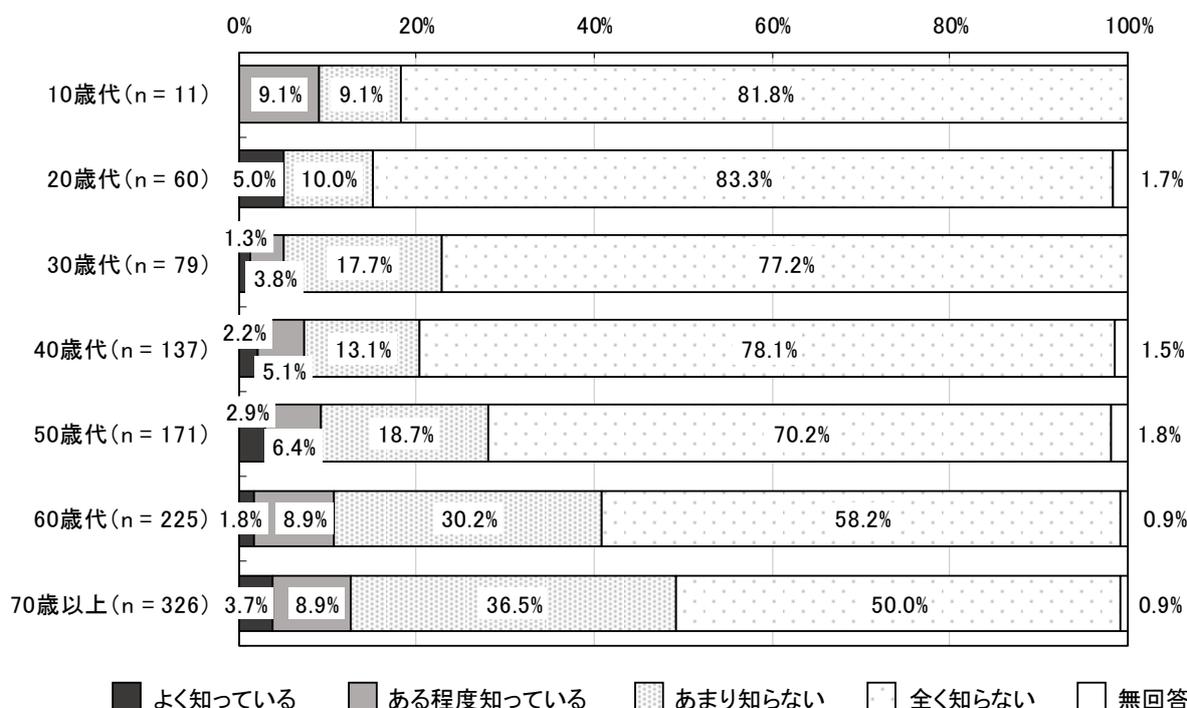
図表 2-7-2 【性別】「30・10（さんまる いちまる）運動」の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.79) 参照。

年齢別（図表 2-7-3）で見ると、「全く知らない」は年齢が低くなるにつれて高くなる傾向がみられ、20 歳代では 83.3%と最も高くなっています。また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、70 歳以上で 12.6%と他の年齢に比べて高くなっています。

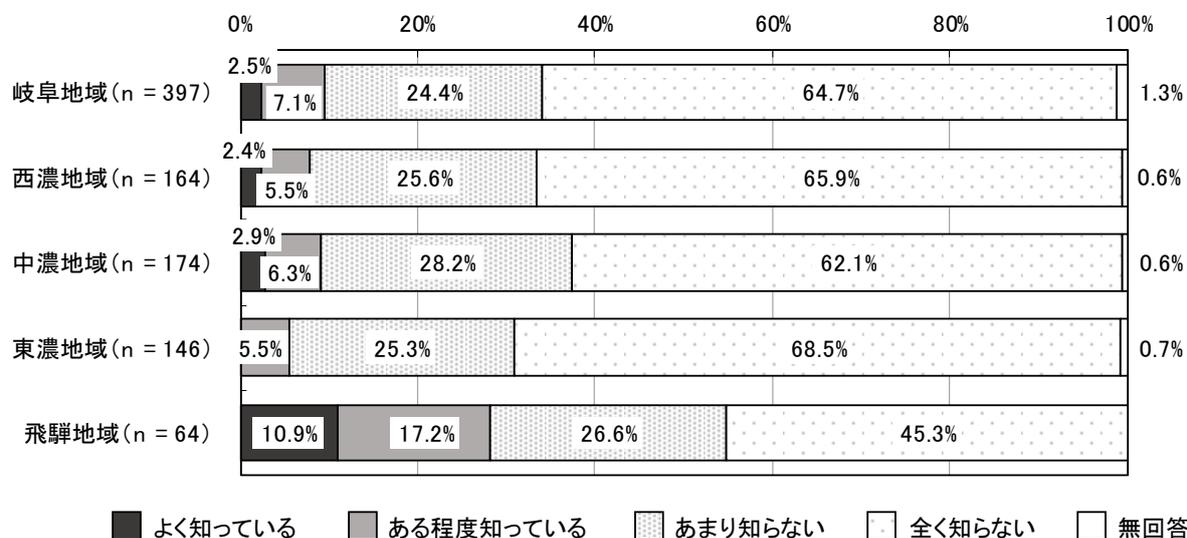
図表 2-7-3 【年齢別】「30・10（さんまる いちまる）運動」の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.79) 参照。

居住地別（図表 2-7-4）で見ると、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、飛騨地域で 28.1%と他の居住地に比べて高くなっています。

図表 2-7-4 【居住地別】「30・10（さんまる いちまる）運動」の認知度



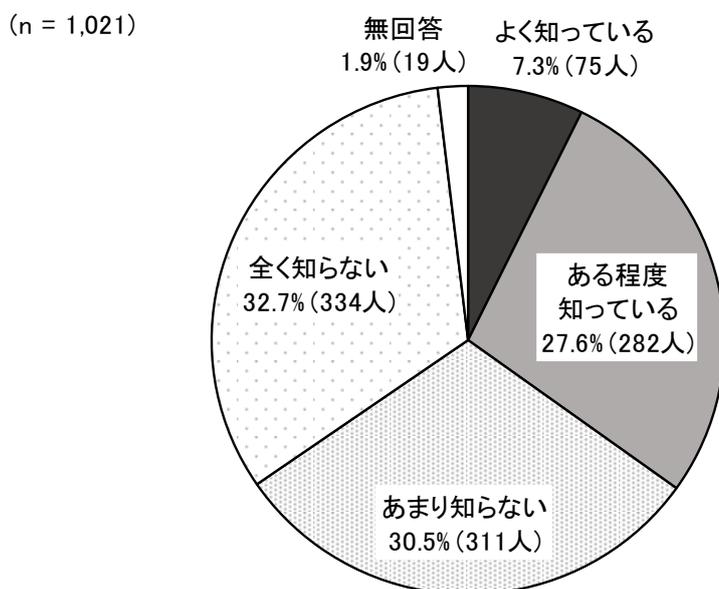
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.79) 参照。

2-8 フードドライブ活動の認知度

問8 フードドライブ活動を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)。

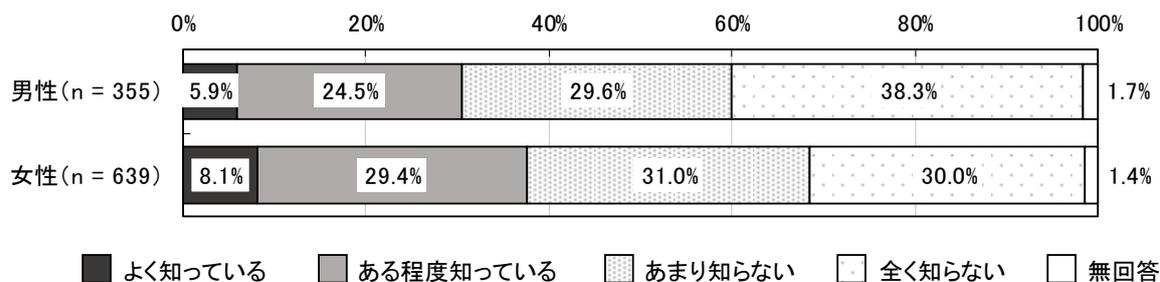
全体(図表2-8-1)で見ると、「全く知らない」が32.7%と最も高く、次いで「あまり知らない」が30.5%、「ある程度知っている」が27.6%の順となっています。また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が34.9%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』が63.2%となっています。

図表 2-8-1 フードドライブ活動の認知度



性別(図表2-8-2)で見ると、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、男性が30.4%、女性が37.5%と女性が男性より7.1ポイント高くなっています。

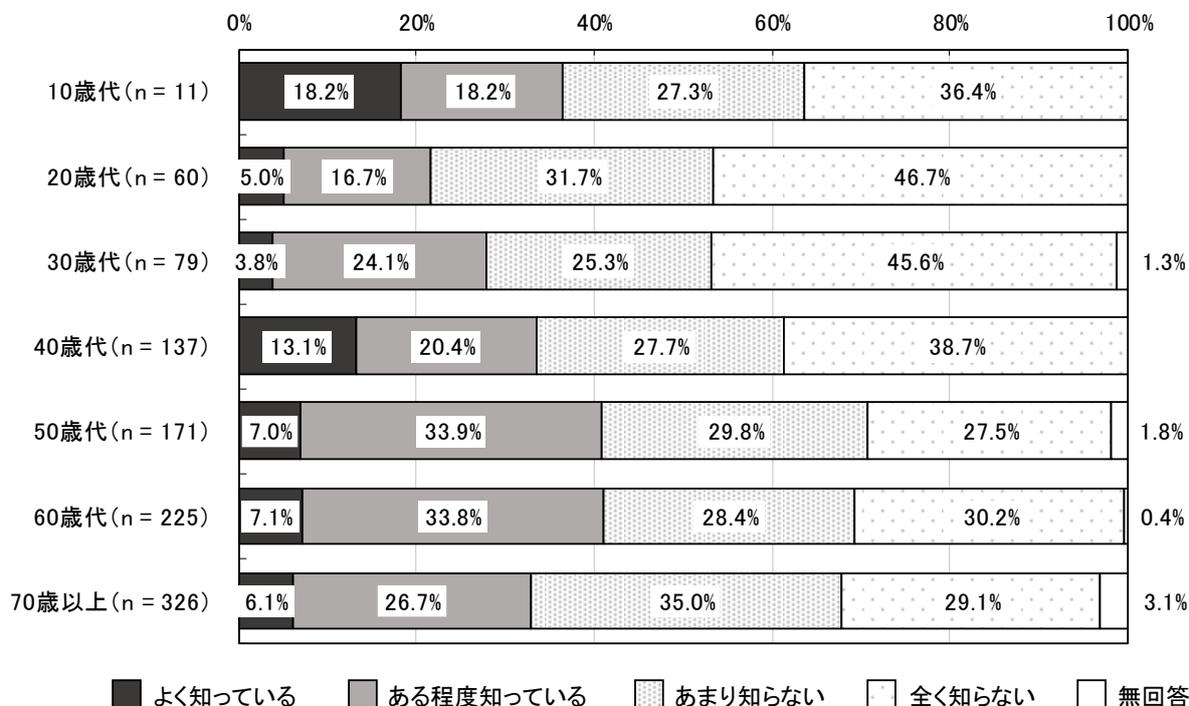
図表 2-8-2 【性別】フードドライブ活動の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.80)参照。

年齢別（図表 2-8-3）で見ると、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、50～60歳代で約4割と他の年齢に比べて高くなっています。

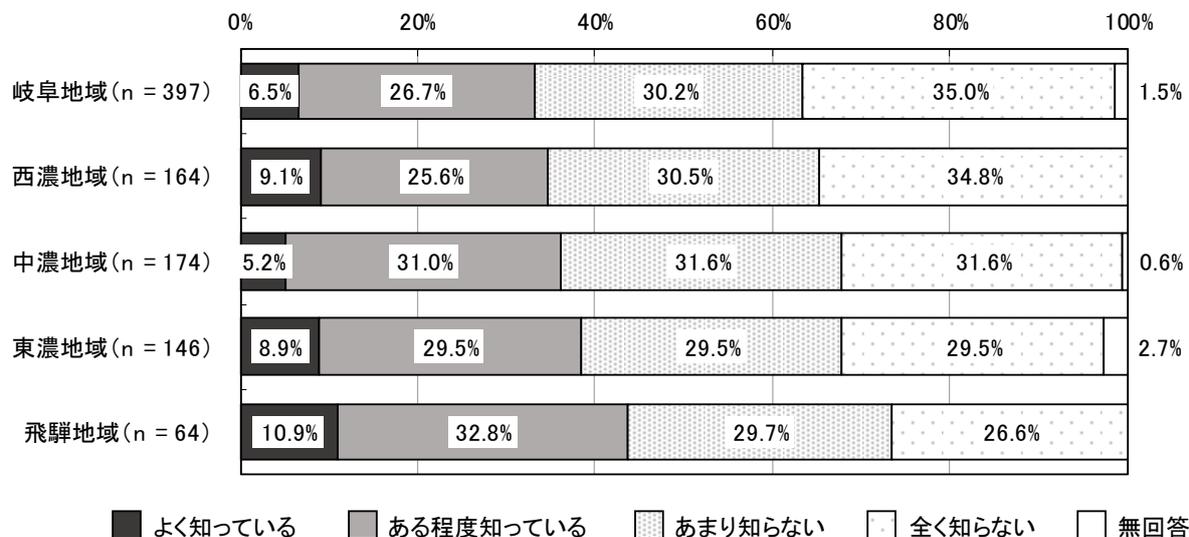
図表 2-8-3 【年齢別】フードドライブ活動の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.80)参照。

居住地別（図表 2-8-4）で見ると、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、飛騨地域で43.7%と他の居住地に比べて高くなっています。

図表 2-8-4 【居住地別】フードドライブ活動の認知度



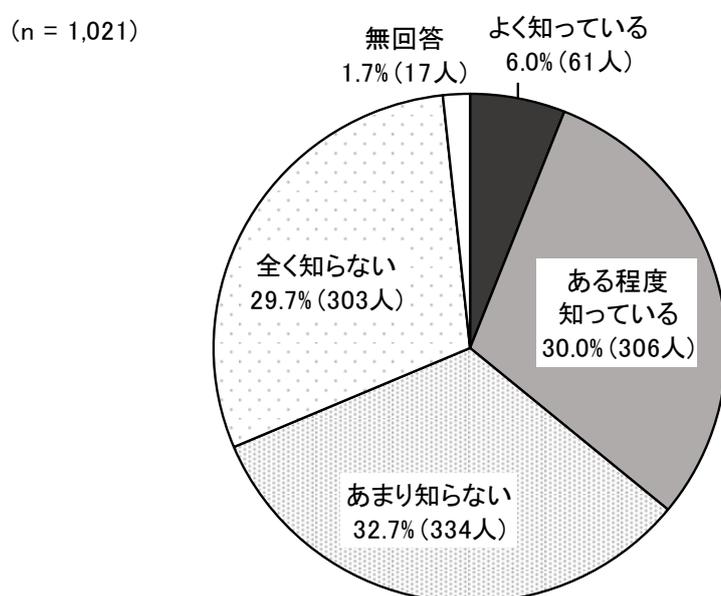
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.80)参照。

2-9 フードバンク活動の認知度

問9 フードバンク活動を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

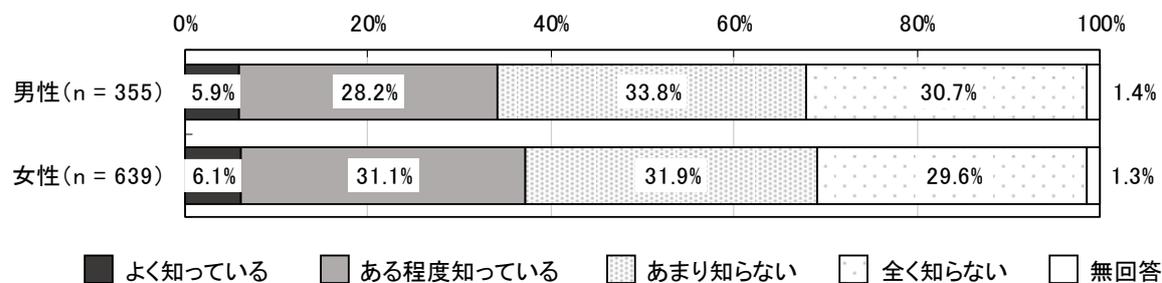
全体(図表2-9-1)で見ると、「あまり知らない」が32.7%と最も高く、次いで「ある程度知っている」が30.0%、「全く知らない」が29.7%の順となっています。また、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が36.0%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』が62.4%となっています。

図表 2-9-1 フードバンク活動の認知度



性別(図表2-9-2)で見ると、男女ともに「あまり知らない」が最も高くなっています。

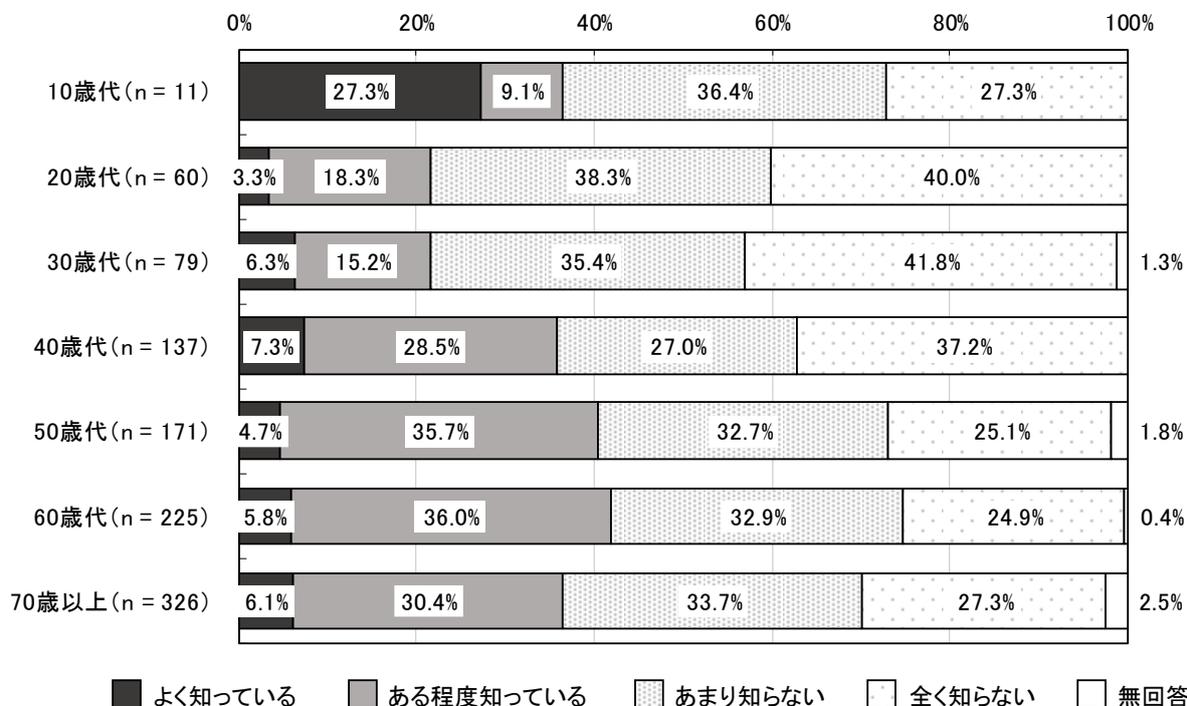
図表 2-9-2 【性別】フードバンク活動の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.81)参照。

年齢別（図表 2-9-3）で見ると、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、50～60歳代で約4割と他の年齢に比べて高くなっています。

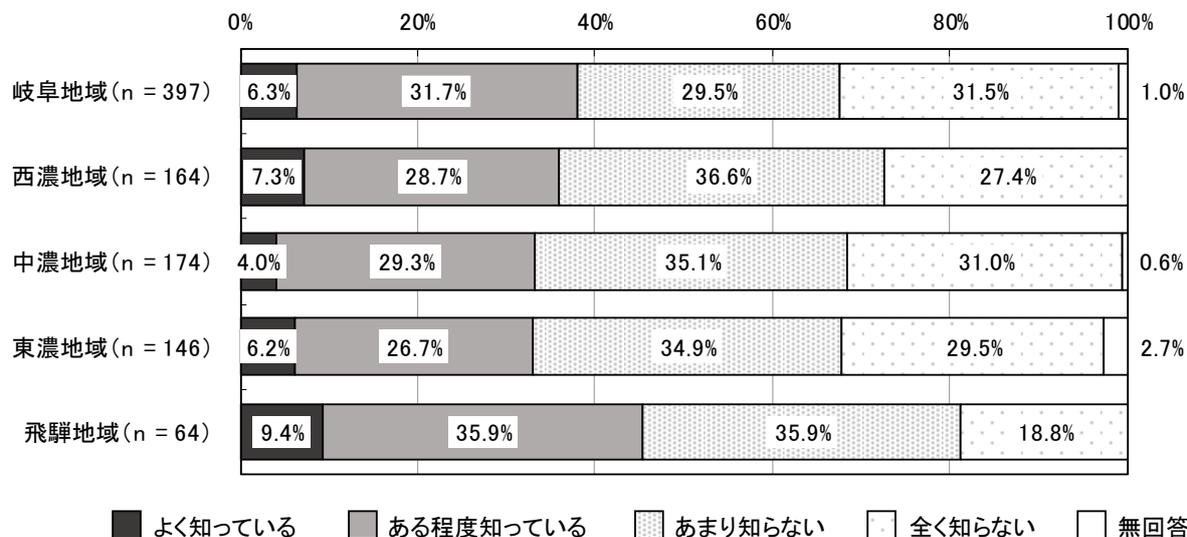
図表 2-9-3 【年齢別】フードバンク活動の認知度



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.81)参照。

居住地別（図表 2-9-4）で見ると、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』では、飛騨地域で45.3%と他の居住地に比べて高くなっています。

図表 2-9-4 【居住地別】フードバンク活動の認知度



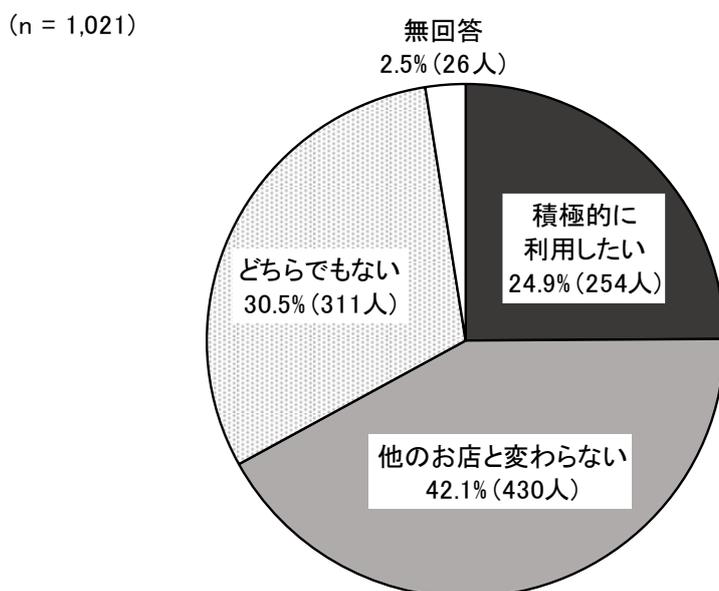
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.81)参照。

2-10 食品ロス削減に取り組む飲食店の利用意向

問10 んご食べきり運動など、食品ロス削減に率先して取り組んでいる飲食店があれば積極的に利用したいですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

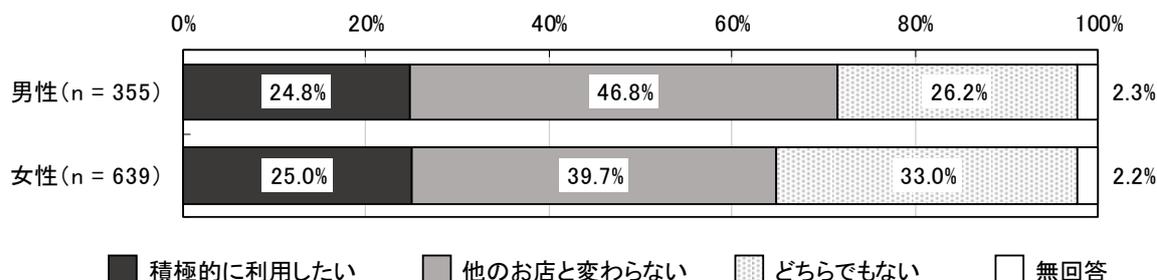
全体(図表2-10-1)でみると、「他のお店と変わらない」が42.1%と最も高く、次いで「どちらでもない」が30.5%、「積極的に利用したい」が24.9%の順となっています。

図表 2-10-1 食品ロス削減に取り組む飲食店の利用意向



性別(図表2-10-2)でみると、男女ともに「他のお店と変わらない」が最も高く、男性が46.8%、女性が39.7%と男性が女性より7.1ポイント高くなっています。

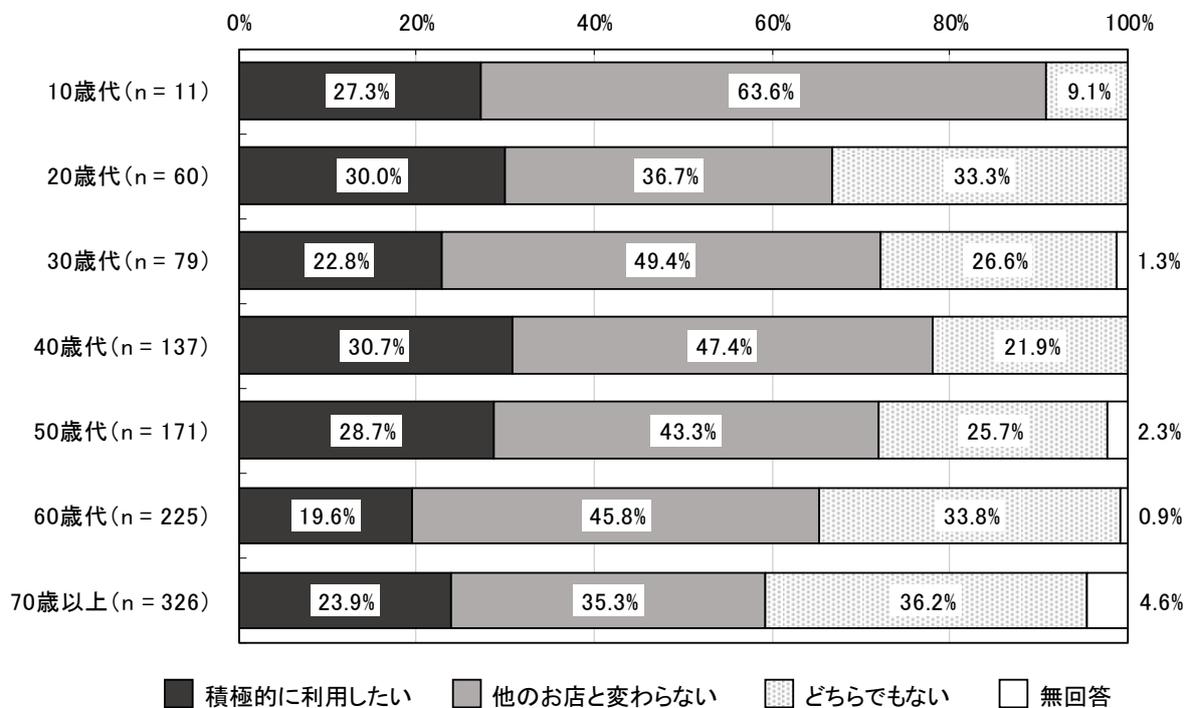
図表 2-10-2 【性別】食品ロス削減に取り組む飲食店の利用意向



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.82)参照。

年齢別（図表 2-10-3）で見ると、70 歳以上を除くいずれの年齢においても「他のお店と変わらない」が最も高く、70 歳以上では「どちらでもない」が最も高くなっています。「積極的に利用したい」では、20 歳代、40 歳代で約 3 割と他の年齢に比べて高くなっています。

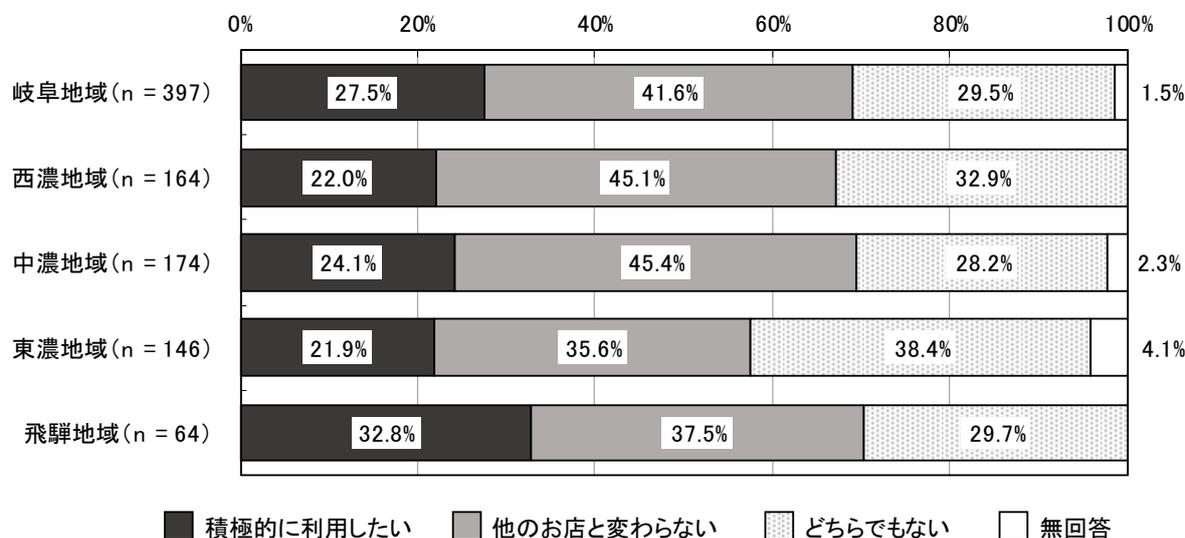
図表 2-10-3 【年齢別】食品ロス削減に取り組む飲食店の利用意向



※資料編 1-1「クロス集計表」(p.82) 参照。

居住地別（図表 2-10-4）で見ると、東濃地域を除くいずれの居住地においても「他のお店と変わらない」が最も高く、東濃地域では「どちらでもない」が最も高くなっています。「積極的に利用したい」では、飛騨地域で 32.8%と他の居住地に比べて高くなっています。

図表 2-10-4 【居住地別】食品ロス削減に取り組む飲食店の利用意向



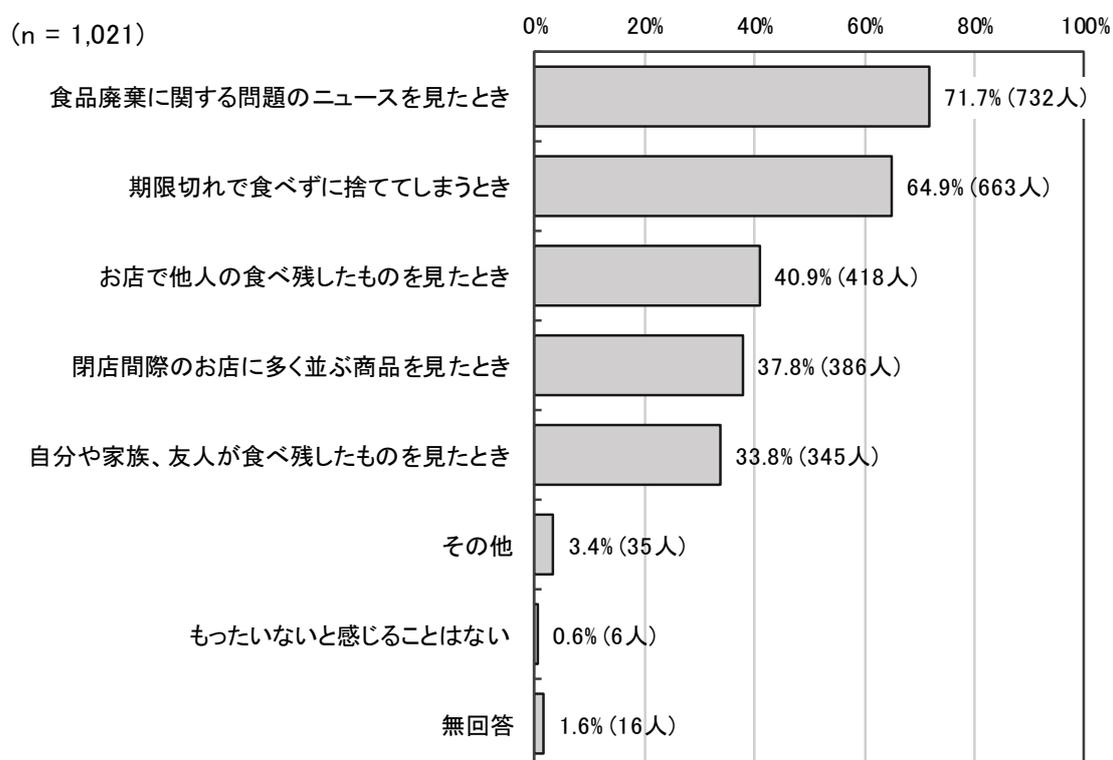
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.82) 参照。

2-11 「もったいない」と感じる状況

問11 食品について「もったいない」と感じることはありますか。それはどんな時ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表 2-11-1) でみると、「食品廃棄に関する問題のニュースを見たとき」が 71.7% と最も高く、次いで「期限切れで食べずに捨ててしまうとき」が 64.9%、「お店で他人の食べ残したのを見たとき」が 40.9%の順となっています。

図表 2-11-1 「もったいない」と感じる状況



性別（図表 2-11-2）で見ると、男女ともに「食品廃棄に関する問題のニュースを見たとき」が最も高く、男性が 68.2%、女性が 74.0%と女性が男性より 5.8 ポイント高くなっています。また、「お店で他人の食べ残したのを見たとき」では男性が女性より 5.1 ポイント高くなっています。

図表 2-11-2 【性別】「もったいない」と感じる状況

	と題食 きの品 ニ廃 ユ棄 ーに ス関 をす 見た問	捨期 て限 て切 れし れま で食 とべ ず に	しお た店 も の他 を人 の食 た とべ ず に	きく閉 並店 ぶ間 商際 品 を お 店 に と多	た食自 とべ分 とき残 や家 族、 の友 を人 見が	その他	るも こと た は い な い と 感 じ	無 回 答
男性 (n=355)	68.2%	61.7%	44.2%	36.6%	32.7%	2.8%	1.7%	2.0%
女性 (n=639)	74.0%	66.7%	39.1%	38.8%	34.6%	3.8%	0.0%	1.3%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.83) 参照。

年齢別（図表 2-11-3）で見ると、30 歳代、50 歳代以上で「食品廃棄に関する問題のニュースを見たとき」が最も高くなっています。また、「期限切れで食べずに捨ててしまうとき」では 40～60 歳代で約 7 割と高くなっています。

図表 2-11-3 【年齢別】「もったいない」と感じる状況

	と題食 きの品 ニ廃 ユ棄 ーに ス関 をす 見た問	捨期 て限 て切 れし れま で食 とべ ず に	しお た店 も の他 を人 の食 た とべ ず に	きく閉 並店 ぶ間 商際 品 を お 店 に と多	た食自 とべ分 とき残 や家 族、 の友 を人 見が	その他	るも こと た は い な い と 感 じ	無 回 答
10歳代 (n=11)	54.5%	63.6%	45.5%	63.6%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代 (n=60)	65.0%	66.7%	53.3%	51.7%	40.0%	1.7%	0.0%	0.0%
30歳代 (n=79)	67.1%	63.3%	54.4%	45.6%	50.6%	2.5%	0.0%	1.3%
40歳代 (n=137)	62.8%	70.8%	45.3%	42.3%	39.4%	4.4%	2.2%	0.7%
50歳代 (n=171)	75.4%	69.0%	45.6%	42.1%	36.3%	4.1%	0.0%	1.2%
60歳代 (n=225)	76.0%	70.2%	34.2%	34.2%	31.1%	2.7%	0.0%	0.9%
70歳以上 (n=326)	73.9%	56.7%	35.0%	31.3%	26.7%	3.7%	0.9%	2.8%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.83) 参照。

居住地別（図表 2-11-4）でみると、中濃地域を除くいずれの居住地においても「食品廃棄に関する問題のニュースを見たとき」が最も高く、中濃地域では「期限切れで食べずに捨ててしまうとき」が最も高くなっています。

図表 2-11-4 【居住地別】「もったいない」と感じる状況

	と題食 きの品 ニ廃 ユ棄 ーに ス関 をす 見る た問	捨期 て限 て切 しま う食 とべ ず に	しお た店 もで の他 を人 見の た食 とべ き残	きく 閉店 並ぶ が間 商際 品の をお 見た と多	た食 とべ 残し たも の友 を人 見が	そ の 他	も つ と は な い と 感 じ	無 回 答
岐阜地域 (n=397)	73.8%	64.0%	40.6%	38.8%	36.3%	2.5%	0.5%	1.8%
西濃地域 (n=164)	70.7%	54.9%	39.6%	45.7%	28.0%	4.3%	0.0%	0.0%
中濃地域 (n=174)	70.7%	74.7%	40.8%	35.6%	36.8%	2.9%	0.6%	1.1%
東濃地域 (n=146)	72.6%	65.1%	37.7%	33.6%	35.6%	3.4%	2.1%	3.4%
飛騨地域 (n=64)	75.0%	65.6%	42.2%	37.5%	28.1%	4.7%	0.0%	0.0%

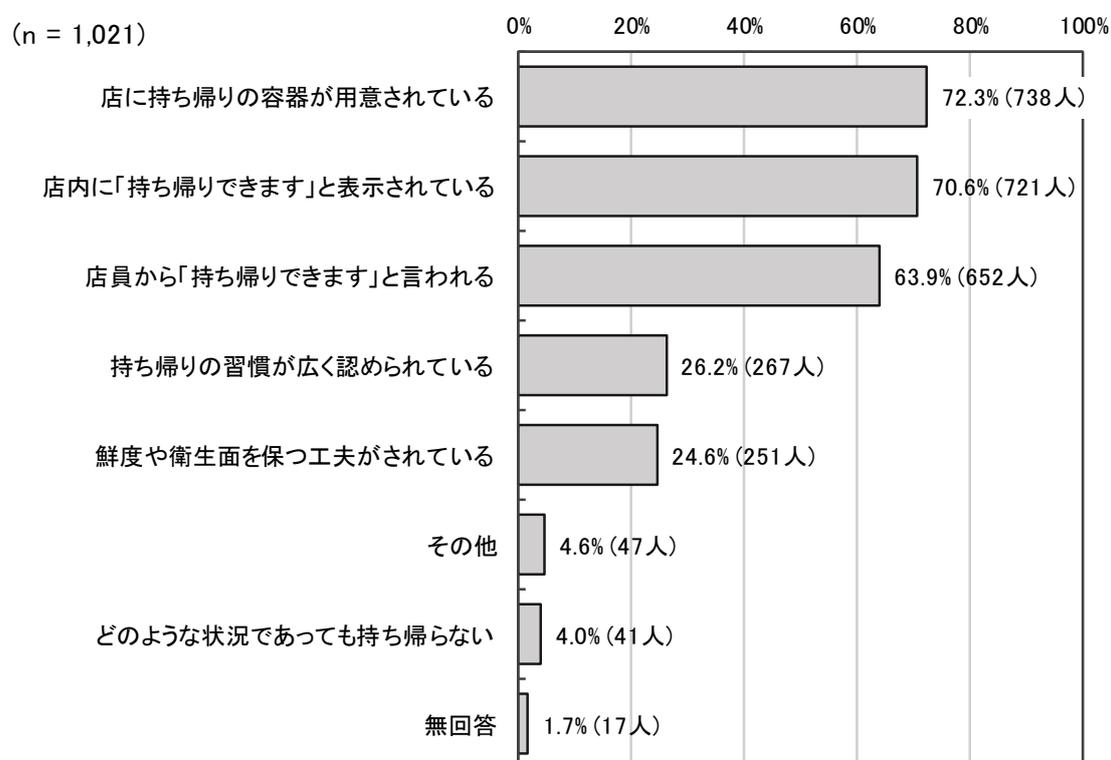
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.83) 参照。

2-12 外食時に食べきれなかった料理を持ち帰ろうと思う状況

問12 外食をして食べきれなかった時、どのような状況であれば持ち帰ろうと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表 2-12-1)で見ると、「店に持ち帰りの容器が用意されている」が72.3%と最も高く、次いで「店内に「持ち帰りできます」と表示されている」が70.6%、「店員から「持ち帰りできます」と言われる」が63.9%の順となっています。

図表 2-12-1 外食時に食べきれなかった料理を持ち帰ろうと思う状況



性別（図表 2-12-2）でみると、男女ともに「店に持ち帰りの容器が用意されている」が最も高くなっています。「鮮度や衛生面を保つ工夫がされている」、「店員から「持ち帰りできます」と言われる」では女性が男性よりそれぞれ 9.9 ポイント、7.2 ポイント高くなっています。

図表 2-12-2 【性別】 外食時に食べきれなかった料理を持ち帰ろうと思う状況

		が店 用に 持ち され 帰 て り の 容 器	て き 店 内 に 「 持 ち 帰 さ り れ で 」	る で 店 員 か ら 「 持 ち 帰 れ り 」	く 持 ち 帰 ら れ の 習 慣 が 広 く	工 鮮 夫 度 が さ れ て い る 保 つ	そ の 他	い あ ど の よ う な 持 ち 帰 ら な い 状 況 で な い	無 回 答
男性	(n=355)	69.0%	68.7%	59.2%	22.8%	18.3%	3.9%	5.6%	2.5%
女性	(n=639)	74.2%	72.1%	66.4%	28.0%	28.2%	5.0%	3.0%	1.1%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.84) 参照。

年齢別（図表 2-12-3）でみると、10～50 歳代では「店に持ち帰りの容器が用意されている」が約 8 割と高くなっています。また、「持ち帰りの習慣が広く認められている」では 20 歳代で 43.3%と他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2-12-3 【年齢別】 外食時に食べきれなかった料理を持ち帰ろうと思う状況

		が店 用に 持ち され 帰 て り の 容 器	て き 店 内 に 「 持 ち 帰 さ り れ で 」	る で 店 員 か ら 「 持 ち 帰 れ り 」	く 持 ち 帰 ら れ の 習 慣 が 広 く	工 鮮 夫 度 が さ れ て い る 保 つ	そ の 他	い あ ど の よ う な 持 ち 帰 ら な い 状 況 で な い	無 回 答
10歳代	(n=11)	81.8%	90.9%	63.6%	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	(n=60)	78.3%	75.0%	68.3%	43.3%	16.7%	5.0%	1.7%	0.0%
30歳代	(n=79)	83.5%	82.3%	67.1%	36.7%	19.0%	0.0%	0.0%	1.3%
40歳代	(n=137)	81.0%	78.1%	63.5%	28.5%	23.4%	1.5%	2.9%	0.7%
50歳代	(n=171)	78.9%	75.4%	64.9%	25.7%	28.7%	4.1%	3.5%	0.6%
60歳代	(n=225)	74.2%	69.3%	65.8%	24.9%	26.7%	4.4%	3.6%	1.3%
70歳以上	(n=326)	59.8%	62.0%	60.7%	20.9%	24.2%	7.7%	6.4%	3.1%

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.84) 参照。

居住地別（図表 2-12-4）で見ると、いずれの居住地においても「店に持ち帰りの容器が用意されている」が最も高くなっています。

図表 2-12-4 【居住地別】 外食時に食べきれなかった料理を持ち帰ろうと思う状況

	が店 用に 持ち 帰さ れ て い る 容 器	て き 店 内 に 「 す 」 と 持 ち 帰 さ れ て い る	る で 店 員 か ら 「 す 」 と 持 ち 帰 れ り	く 持 ち 帰 ら れ の 習 慣 が 広	工 鮮 夫 が や 衛 生 面 を 保 つ	そ の 他	い あ ど の よ う な 持 ち 帰 ら な い 状 況 で な	無 回 答
岐阜地域 (n=397)	70.8%	70.0%	59.4%	28.0%	27.0%	4.8%	4.5%	1.8%
西濃地域 (n=164)	76.2%	72.0%	68.3%	23.2%	21.3%	6.1%	2.4%	0.6%
中濃地域 (n=174)	75.3%	74.1%	69.0%	28.2%	27.0%	4.0%	3.4%	1.1%
東濃地域 (n=146)	74.0%	69.2%	69.2%	27.4%	25.3%	3.4%	2.7%	2.7%
飛騨地域 (n=64)	73.4%	70.3%	67.2%	23.4%	20.3%	3.1%	3.1%	1.6%

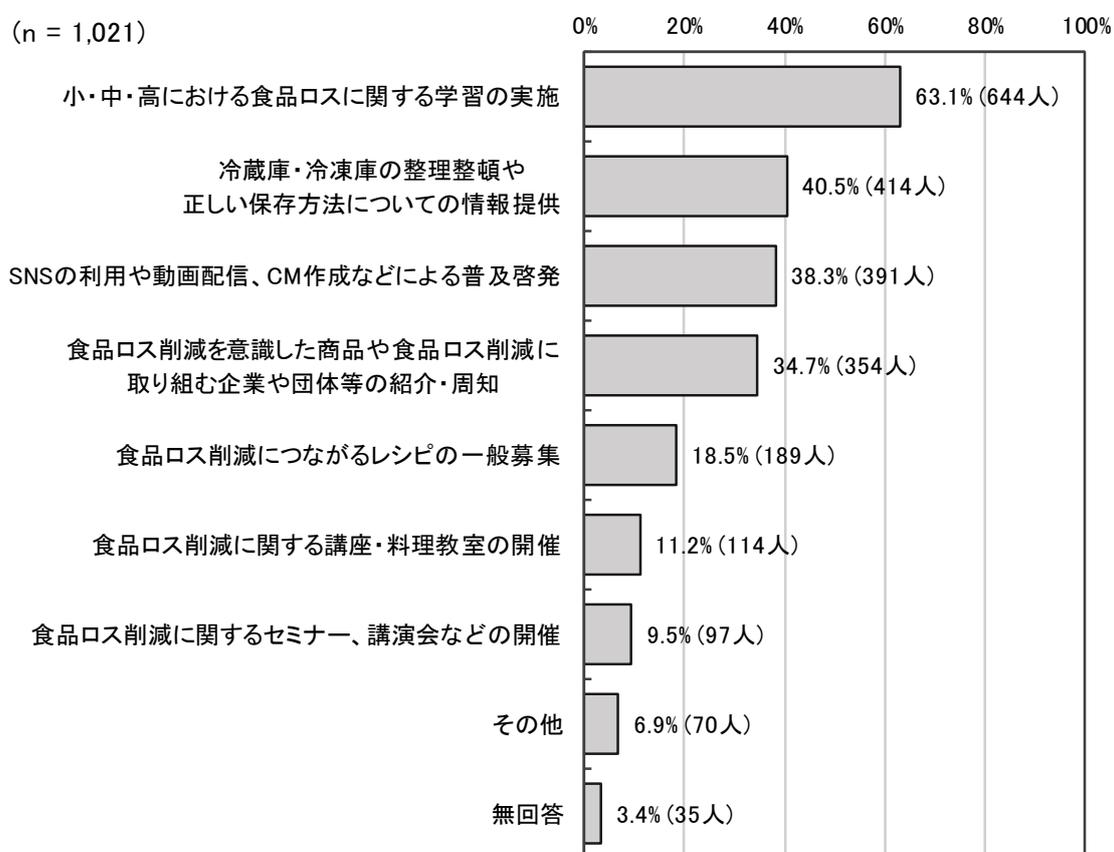
※資料編 1-1「クロス集計表」(p.84) 参照。

2-13 食品ロス削減に向けた行政への要望

問13 食品ロス削減に関する取組として行政に望むことはどのようなことですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表 2-13-1) でみると、「小・中・高における食品ロスに関する学習の実施」が 63.1% と最も高く、次いで「冷蔵庫・冷凍庫の整理整頓や正しい保存方法についての情報提供」が 40.5%、「SNS の利用や動画配信、CM 作成などによる普及啓発」が 38.3%の順となっています。

図表 2-13-1 食品ロス削減に向けた行政への要望



性別（図表 2-13-2）でみると、男女ともに「小・中・高における食品ロスに関する学習の実施」が最も高くなっています。また、「冷蔵庫・冷凍庫の整理整頓や正しい保存方法についての情報提供」では女性が男性より 8.9 ポイント高くなっています。

図表 2-13-2 【性別】食品ロス削減に向けた行政への要望

	実施 小・中・高 における食 品のロスに 関する学習 の実施	冷蔵庫・冷凍庫の整理整頓や正しい保存方法についての情報提供	S、N、C、Mの活用や動画配信	S、N、C、Mの活用や動画配信	商品紹介・企業や団体	食品ロス削減を意識し	食品ロスの削減に一般に募集	講座・料理教室の開催	セミナー、講演会の開催	その他	無回答
男性 (n=355)	63.4%	34.6%	40.6%	37.2%	16.9%	9.0%	10.4%	7.3%	4.2%		
女性 (n=639)	63.5%	43.5%	37.7%	33.3%	18.9%	12.7%	9.1%	6.7%	3.0%		

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.85)参照。

年齢別（図表 2-13-3）でみると、いずれの年齢においても「小・中・高における食品ロスに関する学習の実施」が最も高くなっています。「SNS の利用や動画配信、CM 作成などによる普及啓発」では 50 歳代で 53.2%、「冷蔵庫・冷凍庫の整理整頓や正しい保存方法についての情報提供」では 70 歳以上で 50.6%と他の年齢に比べて高くなっています。

図表 2-13-3 【年齢別】食品ロス削減に向けた行政への要望

	実施 小・中・高 における食 品のロスに 関する学習 の実施	冷蔵庫・冷凍庫の整理整頓や正しい保存方法についての情報提供	S、N、C、Mの活用や動画配信	S、N、C、Mの活用や動画配信	商品紹介・企業や団体	食品ロス削減を意識し	食品ロスの削減に一般に募集	講座・料理教室の開催	セミナー、講演会の開催	その他	無回答
10歳代 (n=11)	54.5%	18.2%	45.5%	36.4%	45.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
20歳代 (n=60)	51.7%	45.0%	43.3%	35.0%	20.0%	8.3%	0.0%	6.7%	0.0%		
30歳代 (n=79)	69.6%	39.2%	39.2%	32.9%	27.8%	7.6%	3.8%	2.5%	2.5%		
40歳代 (n=137)	63.5%	31.4%	38.7%	38.0%	16.1%	6.6%	6.6%	12.4%	2.2%		
50歳代 (n=171)	67.3%	31.6%	53.2%	40.9%	17.0%	11.7%	9.9%	6.4%	1.8%		
60歳代 (n=225)	68.4%	39.6%	43.6%	37.3%	15.1%	10.7%	8.4%	4.4%	2.2%		
70歳以上 (n=326)	58.6%	50.6%	26.1%	28.5%	18.7%	14.7%	14.7%	8.0%	6.4%		

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.85)参照。

居住地別（図表 2-13-4）で見ると、いずれの居住地においても「小・中・高における食品ロスに関する学習の実施」が最も高く、そのうち中濃地域で 70.1%と他の居住地に比べて高くなっています。

図表 2-13-4 【居住地別】食品ロス削減に向けた行政への要望

	実品小 施ロス中 に・高 関すに るお 習け るの食	に整冷 つ頓蔵 いや庫 て正・ 情い凍 報保庫 提存の 供方整 理法	る信S 普、N 及CS 啓Mの 発作利 成用や など動 に画 よ配	等に取 の紹り 組む ・企 周業 知や 団 体	た商品 のロス 削減 を意 識し	る食 品ロ ス削 減に つな が	講食 座品 ・ロ 料ス 理削 教室 の関 する 催	のセ食 開ミ品 催ナロ 、ス 講削 演減 会に など する	そ の 他	無 回 答
岐阜地域 (n=397)	61.7%	37.8%	37.5%	37.5%	19.6%	10.8%	10.1%	7.1%	3.8%	
西濃地域 (n=164)	60.4%	45.7%	32.9%	33.5%	15.9%	9.1%	8.5%	7.9%	3.0%	
中濃地域 (n=174)	70.1%	47.1%	42.5%	33.3%	19.5%	15.5%	9.8%	6.3%	1.7%	
東濃地域 (n=146)	65.1%	36.3%	41.1%	31.5%	15.8%	10.3%	10.3%	10.3%	4.1%	
飛騨地域 (n=64)	64.1%	46.9%	43.8%	37.5%	14.1%	9.4%	7.8%	1.6%	1.6%	

※資料編 1-1「クロス集計表」(p.85) 参照。

2-14 自由意見

問 14 食品ロス削減について飲食店や行政へのご意見・ご要望があればご記入ください。

食品ロス削減について意見・要望を尋ねたところ、289 人から 342 件の回答がありました。本報告書では、意見を内容ごとに分類し、主な意見を抜粋して掲載しています。

【行政への意見・要望】

○食品ロスに関する知識の普及啓発、情報発信について

- ・食品ロスについて、行政や飲食店でやっけてもらえる活動を、もう少しアピールしていただくとよいと思います。
- ・現在どのくらい食品ロスがあるのか。食品ロスが無くなればゴミがどのくらい減るかなど、みんなが知れば意識が変わり、食べられる分だけ購入したり、食べられる分だけ調理したりすると思います。
- ・冷凍できる食品や冷凍保存方法等、正しい知識がわかるようなパンフレットがあるとうれしいです。

○フードドライブ活動、フードバンク活動等について

- ・フードドライブ、フードバンクを手軽にできるように周知し、受け付ける場所をたくさんつくるといいと思います。寄付したいと思っても、どこへ持っていけばわからず、捨ててしまったことがありました。
- ・フードドライブ活動が気軽にできるように、食品を集める場所や日にちを紹介・周知（広報に載せるなど）してほしいです。
- ・廃棄前に活用できるルートを確立してほしい。フードドライブの持ち込み期限も、もう少しギリギリまで受けてほしい。

○学校教育について

- ・学校教育の中で、食べ物大切さや、食べられるようにするまでの手間、時間がかかっていることを教えてほしいと思います。
- ・子どもたちが食品ロスについて学ぶ機会があるといいと思う。
- ・保育園・小・中・高校での給食の時などの先生の声かけ。

○事業者に対する食品ロス削減の促進・規制について

- ・食品ロス削減する為の規制（食品の賞味期限、加工の制約等）が厳しすぎないか、行政は再度見直しすべき。
- ・節分やクリスマス、バレンタイン等、イベント時に業者や飲食店が過剰に生産すると、食品ロスにつながってしまうので、適正量な生産を促す。

○食品ロス削減に取り組む事業者の支援について

- ・食品ロスに取り組まれている飲食店への表彰や優遇があるべきだと思う。
- ・飲食店での取組について、必要となる保存管理施設・機材に対する行政からの補助。

【事業者への意見・要望】

○飲食店への意見・要望

- ・積極的に持ち帰りなどの習慣が広がると、客としてもありがたく、店側もロスをなくせるので、持ち帰れるような表示等があるといいなと思います。
- ・持ち帰りできる食品を扱っている店には、積極的に持ち帰り容器を用意してほしい。
- ・飲食店で食品ロスにつながりそうなお知らせがあれば、そのメニューを積極的に頼む。又、持ち帰りに協力、食材を安価に買う等協力できると思います。
- ・飲食店で食べ残しは、持ち帰りやすいようにしてほしい。持ち帰る物の衛生管理は自己責任で。
- ・外食の時もう少し量が選べるとよいのではないかと感じます。なかなか大変かとは思いますが、例えばごはん大・中・小とか、お肉〇〇gのように選ぶ選択肢が多いと、少しでもロスは防げるのかと思います。
- ・飲食店などで、一人前の量が多くて食べ切れないことがあるので、少なめを選べるとありがたいです。

○食品卸売・小売業者への意見・要望

- ・スーパーで、少量品でもあまり割高にならないよう工夫して頂けるとありがたい。
- ・スーパーやコンビニでも、消費期限が近い商品を置いた棚など見掛けるようになりました。お値打ち品、見切り品など書いてあると、買うのに抵抗があります。食品ロスに協力下さいとか、もったいないに協力下さいとか棚に書いてあると、手に取りやすいです。
- ・スーパーなどで閉店間際に安くしていますが、もっと早い時間に値引きをしてほしい。
- ・消費期限の近いものを値引きしてでも売り切ってほしい。賞味期限が過ぎていても、廃棄せず売ってほしい。
- ・スーパーで野菜は必要な個数を買えるようにした方がよい。昔のように計り売りなど、必要な量を買えればロスが減るのでは。
- ・クリスマスケーキや恵方巻等の季節商品について見直し。

○食品製造業者への意見・要望

- ・食品の賞味、消費期限の表示を大きくしたり、パッケージ前面にするなど、メーカー等に工夫させる。
- ・調味料などあまり使用しない物は、やはり期限が切れる事が多々あるので、使い切りサイズなど小さいサイズがあるとうれしいです。
- ・賞味や消費期限を長くできるよう見直す。

○事業者全般への意見・要望

- ・賞味（消費）期限間近の食品を、有効利用するシステムを確立してほしい。コンビニ等の食品廃棄はやめるべきです。飲食店のみでなく、スーパーやコンビニ、ドラッグストアも、食品ロス削減にまきこむ必要があります。
- ・最近、牛乳、ヨーグルト等手前からお取り下さいと書いてあります。飲食店に行った時は、ごはんは少なくして下さいと言います。店の方も、ごはんの量を聞かれます。とても良い事だと思います。

【個人の意識について】

○食品ロス削減のために家庭で取り組んでいること

- ・食品ロスは全く無いとは言えないが、冷凍保存したり、少々の賞味期限・消費期限は気にせず使用している。
- ・私は食品または材料を傷めてしまって捨てるのは、もったいないと強く思い、傷めないように気を付けています。

○個人の意識・行動について

- ・食品ロス削減は、飲食店や企業の取り組みも必要ですが、個人の意識を変えて行く事が必要不可欠だと思います。
- ・ぎふ食べきり運動をこの調査で知り、食品ロスについて改めて認識を深めました。
- ・なるべく、というよりも食品ロスの削減に協力したいです。自分自身、家族も食べ物を簡単に処分しないように、作り過ぎたり買い過ぎたりしないようにしたいです。
- ・食品のほとんどに賞味期限、消費期限がついている今ですが、この目でみる期限と、実際に本当に食べられない状況のものなのかを判断して、食品ロスとならないよう食べきることができたらよいのではないかと思う。

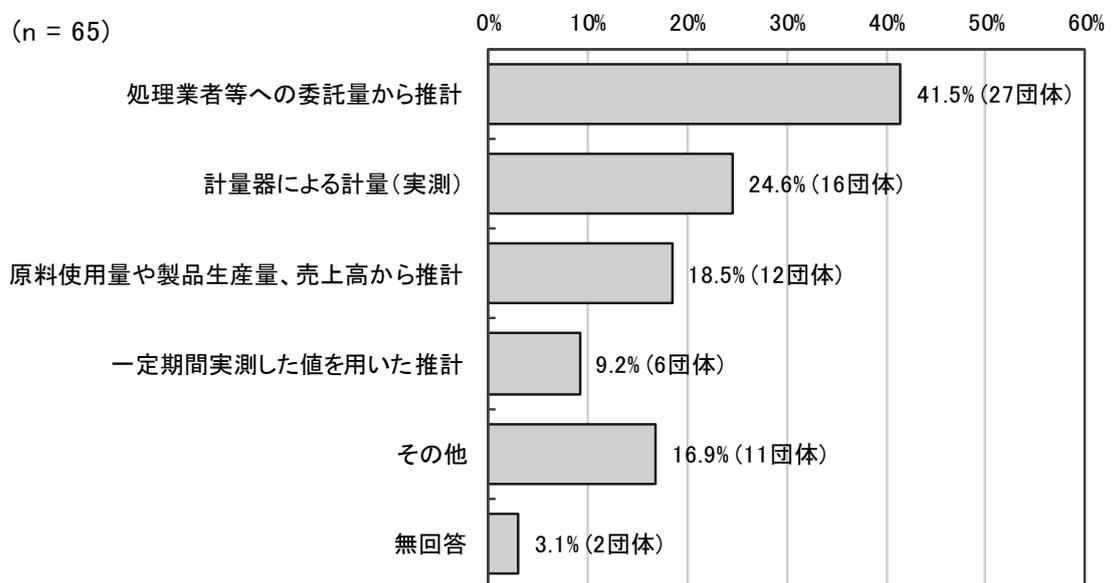
3. 食品関連事業所を対象とする調査結果

3-1 食品廃棄物等の把握方法

問1 貴社では、食品廃棄物等の量をどのように把握していますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表 3-1-1) でみると、「処理業者等への委託量から推計」が 41.5%と最も高く、次いで「計量器による計量(実測)」が 24.6%、「原料使用量や製品生産量、売上高から推計」が 18.5%の順となっています。

図表 3-1-1 食品廃棄物等の把握方法



業種別（図表 3-1-2）で見ると、食品製造業では「処理業者等への委託量から推計」、食品卸売業では「原料使用量や製品生産量、売上高から推計」が最も高くなっています。

図表 3-1-2 【業種別】食品廃棄物等の把握方法

	処理業者等への委託量から推計	計量器による計量（実測）	原料使用量や製品生産量、売上高から推計	一定期間実測した値を用いた推計	その他	無回答
食品製造業 (n=30)	56.7%	33.3%	13.3%	3.3%	13.3%	0.0%
食品卸売業 (n=16)	25.0%	0.0%	37.5%	18.8%	12.5%	6.3%
食品小売業 (n=8)	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%
旅館・ホテル (n=10)	30.0%	30.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%
飲食店 (n=10)	40.0%	20.0%	30.0%	0.0%	40.0%	0.0%
飲食店以外の外食 (n=2)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
その他 (n=3)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

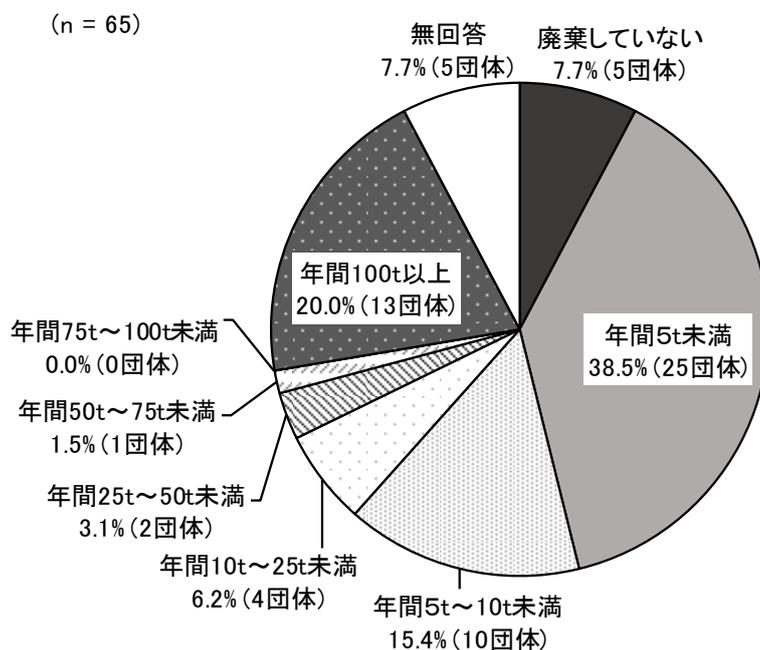
※資料編 1-2「クロス集計表」(p.86) 参照。

3-2 直近1年間の食品廃棄物等の量

問2 貴社の直近の1年間（2024年4月1日～2025年3月31日）の食品廃棄物等の量について、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）

全体（図表3-2-1）でみると、「年間5t未満」が38.5%と最も高く、次いで「年間100t以上」が20.0%、「年間5t～10t未満」が15.4%の順となっています。

図表3-2-1 直近1年間の食品廃棄物等の量



業種別（図表 3-2-2）で見ると、食品製造業では「年間 100t 以上」、食品卸売業、飲食店では「年間 5t 未満」、旅館・ホテルでは「年間 5t～10t 未満」が最も高くなっています。

図表 3-2-2 【業種別】直近 1 年間の食品廃棄物等の量

	廃棄していない	年間 5 t 未満	年間 5 t ～ 10 t 未満	年間 10 t ～ 25 t 未満	年間 25 t ～ 50 t 未満	年間 50 t ～ 75 t 未満	年間 75 t ～ 100 t 未満	年間 100 t 以上	無回答
食品製造業 (n=30)	6.7%	20.0%	13.3%	6.7%	3.3%	3.3%	0.0%	40.0%	6.7%
食品卸売業 (n=16)	18.8%	62.5%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
食品小売業 (n=8)	0.0%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%
旅館・ホテル (n=10)	0.0%	20.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%
飲食店 (n=10)	0.0%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
飲食店以外の外食 (n=2)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
その他 (n=3)	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

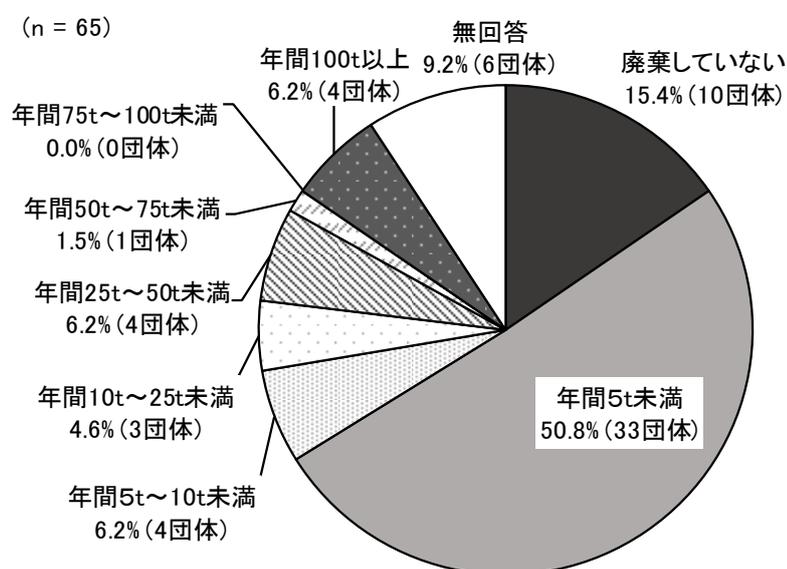
※資料編 1-2「クロス集計表」(p.86) 参照。

3-3 直近1年間の食品ロスの量

問3 貴社の直近の1年間（2024年4月1日～2025年3月31日）の食品廃棄物の中
に含まれる食品ロスの量について、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○
をつけてください。（○は1つ）

全体（図表3-3-1）で見ると、「年間5t未満」が50.8%と最も高く、次いで「廃棄していない」が15.4%、「年間5t～10t未満」、「年間25t～50t未満」、「年間100t以上」が6.2%の順となっています。

図表 3-3-1 直近1年間の食品ロスの量



業種別（図表 3-3-2）で見ると、いずれの業種においても「年間 5 t 未満」が最も高くなっています。

図表 3-3-2 【業種別】直近 1 年間の食品ロスの量

	廃棄していない	年間 5 t 未満	年間 5 t ～ 10 t 未満	年間 10 t ～ 25 t 未満	年間 25 t ～ 50 t 未満	年間 50 t ～ 75 t 未満	年間 75 t ～ 100 t 未満	年間 100 t 以上	無回答
食品製造業 (n=30)	16.7%	36.7%	6.7%	6.7%	10.0%	3.3%	0.0%	13.3%	6.7%
食品卸売業 (n=16)	31.3%	62.5%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食品小売業 (n=8)	0.0%	62.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
旅館・ホテル (n=10)	0.0%	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
飲食店 (n=10)	0.0%	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
飲食店以外の外食 (n=2)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
その他 (n=3)	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

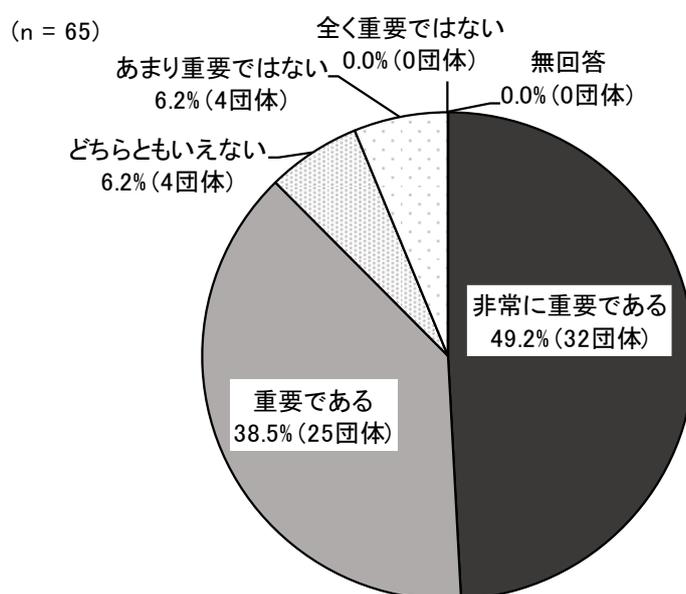
※資料編 1-2「クロス集計表」(p.87) 参照。

3-4 食品ロス削減の重要性

問4 貴社にとって、食品ロス削減はどの程度重要な課題ですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

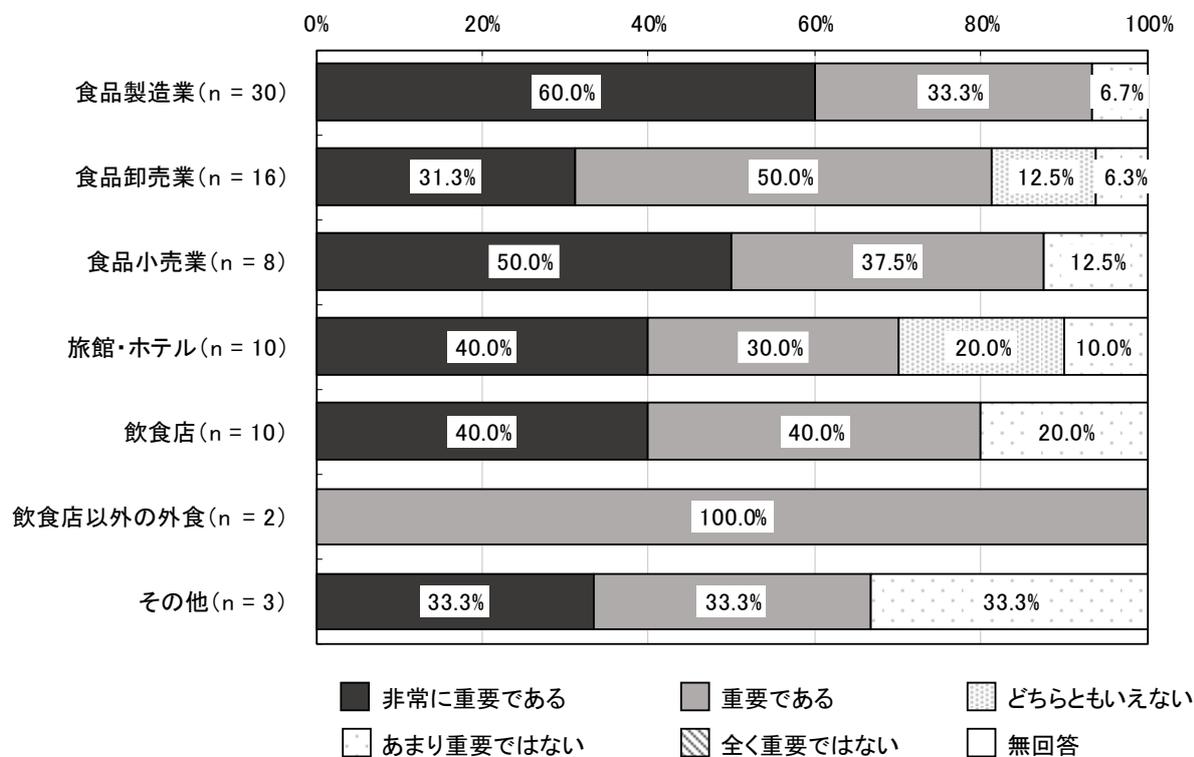
全体（図表 3-4-1）で見ると、「非常に重要である」が 49.2%と最も高く、次いで「重要である」が 38.5%となっています。また、「非常に重要である」と「重要である」を合わせた『重要である』が 87.7%、「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」を合わせた『重要ではない』が 6.2%となっています。

図表 3-4-1 食品ロス削減の重要性



業種別（図表 3-4-2）で見ると、食品製造業では「非常に重要である」が 60.0%と最も高くなっています。

図表 3-4-2 【業種別】食品ロス削減の重要性



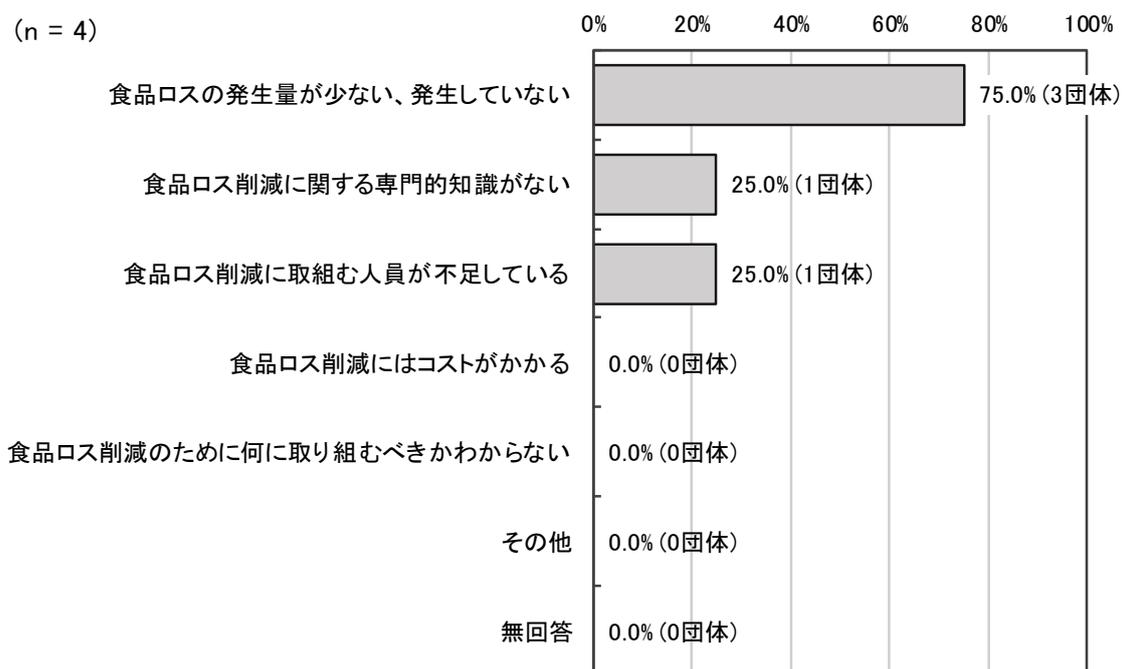
※資料編 1-2「クロス集計表」(p.87) 参照。

3-4-1 食品ロス削減が重要ではない理由

問4-1 問4で「(4) あまり重要ではない」「(5) 全く重要ではない」を選択した方にお伺いします。選択した理由は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表3-4-1-1)で見ると、「食品ロスの発生量が少ない、発生していない」が75.0%と最も高くなっています。

図表 3-4-1-1 食品ロス削減が重要ではない理由



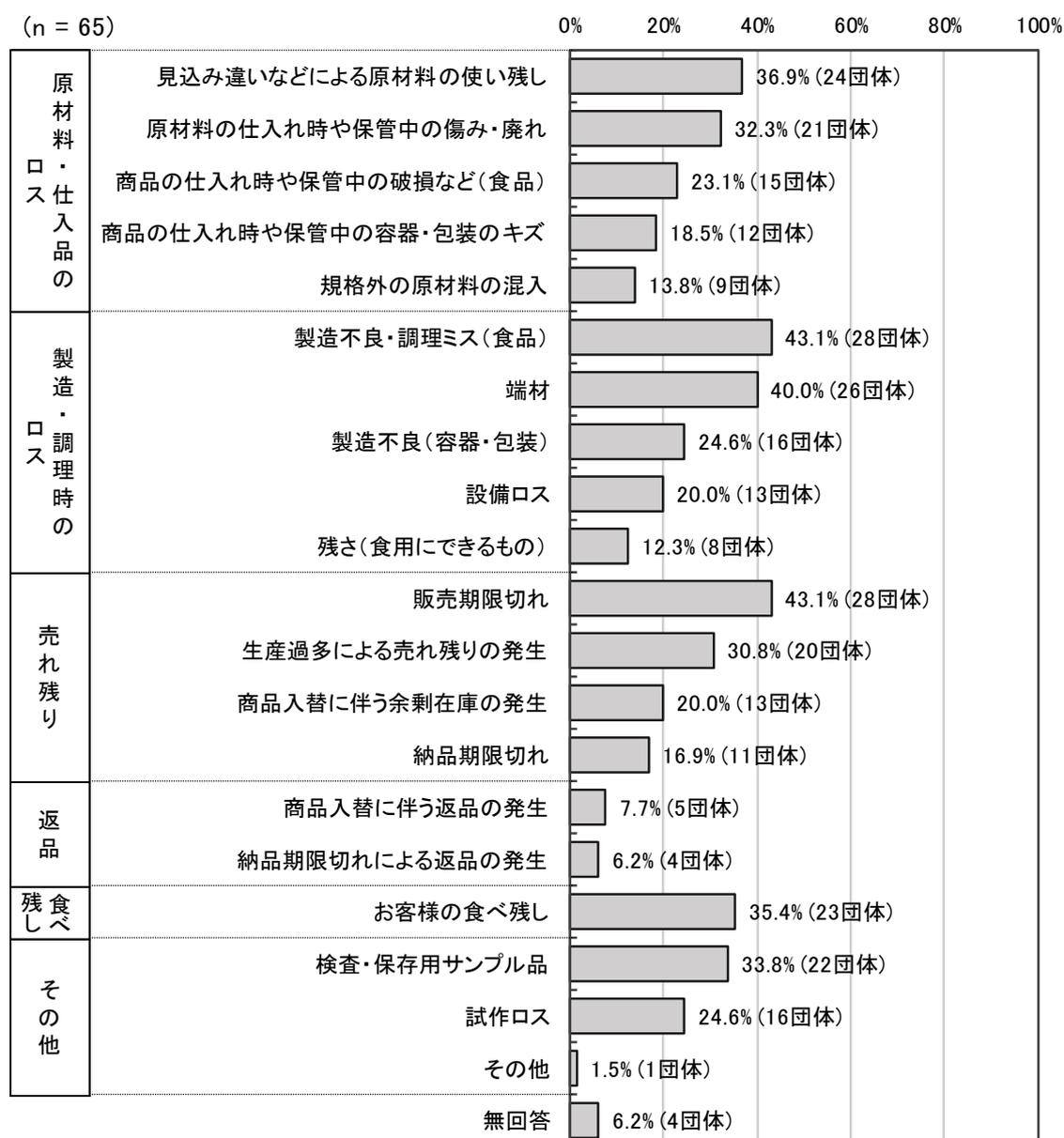
※問4で「(4)あまり重要ではない」または「(5)全く重要ではない」を選択した団体のみ。

3-5 食品ロスの発生原因

問5 食品ロスの発生の原因はどのようなものですか。次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体（図表 3-5-1）で見ると、「製造不良・調理ミス（食品）」、「販売期限切れ」がともに43.1%と最も高く、次いで「端材」が40.0%となっています。

図表 3-5-1 食品ロスの発生原因



業種別（図表 3-5-2）でみると、食品製造業では「製造不良・調理ミス（食品）」、食品卸売業では「販売期限切れ」、旅館・ホテル、飲食店では「お客様の食べ残し」が最も高くなっています。

図表 3-5-2 【業種別】食品ロスの発生原因

	原材料・仕入品のロス					製造・調理時のロス				
	原材料の 見込み 違いなど による 残し	管原 材中 の料 の傷 みの 仕入 れ時 や保 管	中商 品の 破損 など の仕 入れ 時や 保管	中商 品の 容器 の仕 入れ 時や 包装 のキ ズ管	規 格外 の原 材料 の混 入	製 造不 良・ 調理 ミス （食 品）	端 材	装 製 造不 良 （容 器・ 包	設 備 ロス	の 残 さ （食 用に でき るも
食品製造業 (n=30)	30.0%	36.7%	16.7%	23.3%	26.7%	60.0%	33.3%	36.7%	43.3%	16.7%
食品卸売業 (n=16)	31.3%	25.0%	25.0%	25.0%	6.3%	12.5%	25.0%	6.3%	0.0%	0.0%
食品小売業 (n=8)	37.5%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	62.5%	37.5%	12.5%	12.5%
旅館・ホテル (n=10)	40.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	10.0%
飲食店 (n=10)	60.0%	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%	40.0%	60.0%	40.0%	10.0%	10.0%
飲食店以外の外食 (n=2)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 (n=3)	0.0%	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%

	売れ残り				返品		食べ残し	その他			無 回 答
	販 売 期 限 切 れ	生 産 過 多 に よ る 売 れ 残	庫 の 発 生 替 に 伴 う 余 剰 在	納 品 期 限 切 れ	発 生 商 品 入 替 に 伴 う 返 品 の	品 納 品 期 限 切 れ に よ る 返	お 客 様 の 食 べ 残 し	品 検 査 ・ 保 存 用 サ ン プ ル	試 作 ロ ス	そ の 他	
食品製造業 (n=30)	43.3%	20.0%	23.3%	23.3%	10.0%	10.0%	10.0%	50.0%	30.0%	0.0%	3.3%
食品卸売業 (n=16)	56.3%	12.5%	25.0%	18.8%	6.3%	6.3%	18.8%	25.0%	12.5%	0.0%	18.8%
食品小売業 (n=8)	75.0%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
旅館・ホテル (n=10)	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%
飲食店 (n=10)	70.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	90.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%
飲食店以外の外食 (n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 (n=3)	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

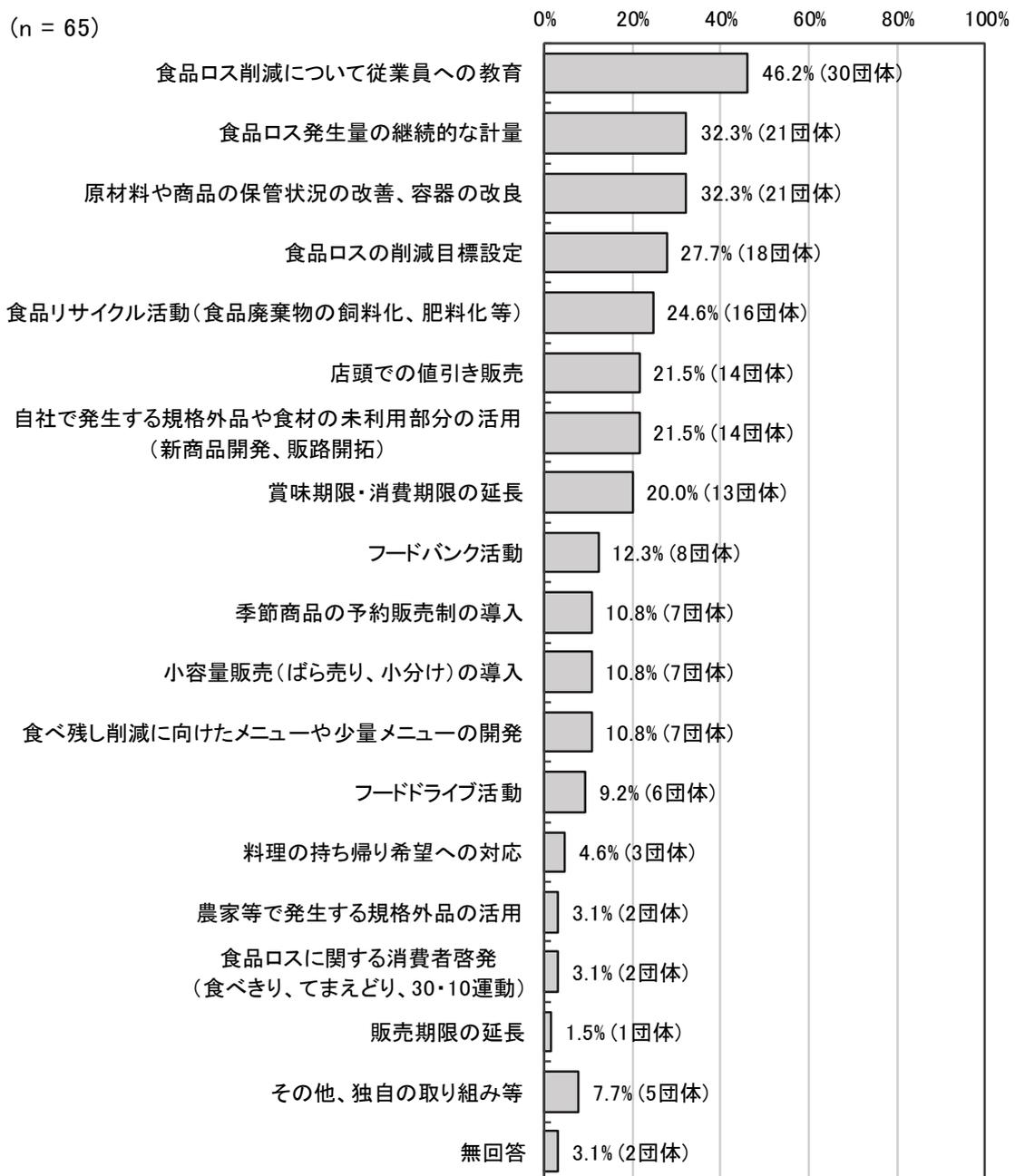
※資料編 1-2「クロス集計表」(p.88～89)参照。

3-6 食品ロス削減の取組

問6 食品ロス削減のために既に行っている取組はありますか。次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表3-6-1)で見ると、「食品ロス削減について従業員への教育」が46.2%と最も高く、次いで「食品ロス発生量の継続的な計量」、「原材料や商品の保管状況の改善、容器の改良」がともに32.3%となっています。

図表 3-6-1 食品ロス削減の取組



業種別（図表 3-6-2）でみると、食品製造業では「食品リサイクル活動（食品廃棄物の飼料化、肥料化等）」、食品卸売業、飲食店では「食品ロス削減について従業員への教育」、旅館・ホテルでは「食べ残し削減に向けたメニューや少量メニューの開発」が最も高くなっています。

図表 3-6-2 【業種別】食品ロス削減の取組

	食品ロス削減について従業員への教育	食品ロス発生量の継続的な計量	原材料や商品の保管状況の改善、容器の改良	食品ロスの削減目標設定	食品リサイクル活動（食品廃棄物の飼料化、肥料化等）	店頭での値引き販売	自社の未利用部分の活用（新材の未利用部分の活用） （新商品開発、販路開拓）	賞味期限・消費期限の延長	フードバンク活動	季節商品の予約販売の導入
食品製造業 (n=30)	46.7%	43.3%	40.0%	33.3%	50.0%	16.7%	26.7%	30.0%	20.0%	6.7%
食品卸売業 (n=16)	37.5%	25.0%	31.3%	25.0%	6.3%	31.3%	18.8%	18.8%	6.3%	18.8%
食品小売業 (n=8)	87.5%	25.0%	75.0%	12.5%	25.0%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	12.5%
旅館・ホテル (n=10)	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%
飲食店 (n=10)	60.0%	30.0%	40.0%	10.0%	10.0%	40.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%
飲食店以外の外食 (n=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 (n=3)	66.7%	66.7%	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%

	小容量販売（ばら売り、小分け）の導入	食べ残しや少量メニューの開発	フードドライブ活動	料理の持ち帰り希望への対応	農家等で発生する規格外品の活用	食品ロスに関する消費者啓発（食べきり、てまえどり、30・10運動）	販売期限の延長	その他、独自の取り組み等	無回答
食品製造業 (n=30)	3.3%	6.7%	13.3%	3.3%	6.7%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
食品卸売業 (n=16)	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	6.3%
食品小売業 (n=8)	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%
旅館・ホテル (n=10)	20.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
飲食店 (n=10)	0.0%	10.0%	0.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
飲食店以外の外食 (n=2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 (n=3)	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

※資料編 1-2「クロス集計表」(p.90) 参照。

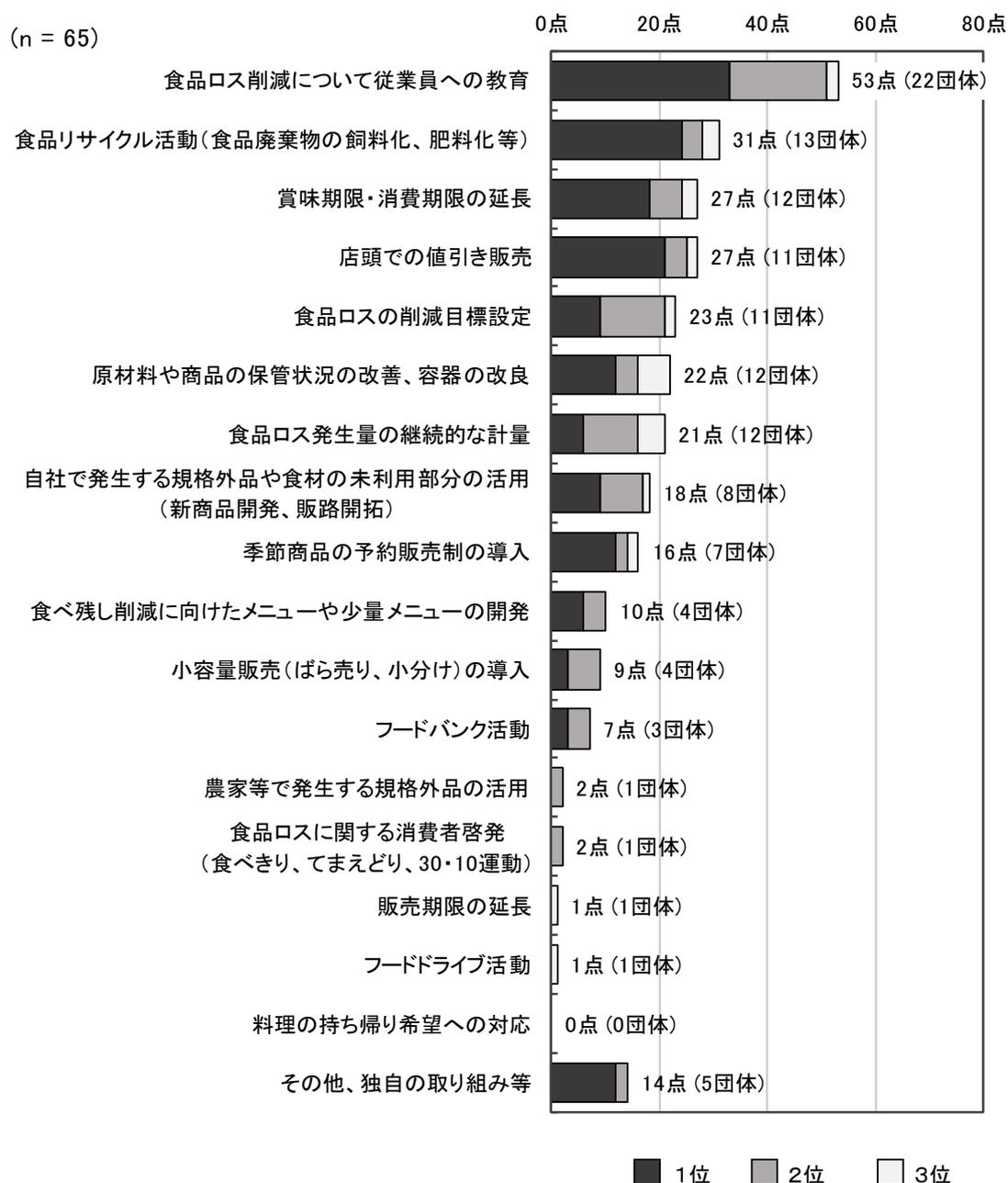
3-7 特に食品ロス削減につながった取組

問7 問6の既に行っている取組の中で特に食品ロス削減につながった取組は何ですか。
 順位1～3まで（ ）内に問6の番号を記入してください。

本問では、問6の取組項目の中から特に食品ロス削減につながった取組について、1位から3位まで回答してもらい、1位＝3点、2位＝2点、3位＝1点として各項目の合計得点を算出しました。

全体（図表 3-7-1）で見ると、「食品ロス削減について従業員への教育」が53点と最も高く、次いで「食品リサイクル活動（食品廃棄物の飼料化、肥料化等）」が31点、「賞味期限・消費期限の延長」、「店頭での値引き販売」がともに27点の順となっています。

図表 3-7-1 特に食品ロス削減につながった取組



業種別（図表 3-7-2）の合計得点については、属性ごとの回答者数が少なく、個別の回答の影響を受けやすいため、傾向を把握するための参考値として掲載しています。

図表 3-7-2 【業種別】特に食品ロス削減につながった取組

	員食 品ロ ス削 減に つ い て 従 業 者 へ の 教 育	等 廃 棄 物 の 飼 料 化 、 肥 料 化 （ 食 品 ロ ス 削 減 に つ い て 従 業 者 へ の 教 育	賞 味 期 限 ・ 消 費 期 限 の 延 長	店 頭 で の 値 引 き 販 売	食 品 ロ ス の 削 減 目 標 設 定	改 善 、 容 器 の 改 良	原 材 料 や 商 品 の 保 管 状 況 の 改 善	計 量 食 品 ロ ス 発 生 量 の 継 続 的 な 削 減	自 社 で 発 生 す る 規 格 外 品 や 食 材 の 未 利 用 部 分 の 活 用 （ 新 商 品 開 発 、 販 路 開 拓 ）	入 季 節 商 品 の 予 約 販 売 制 の 導 入	食 べ 残 し や 少 量 メ ニ ュー の 開 発
食品製造業 (n=30)	20点	30点	19点	8点	14点	16点	10点	11点	3点	2点	
食品卸売業 (n=16)	10点	3点	8点	11点	6点	4点	3点	3点	5点	0点	
食品小売業 (n=8)	11点	6点	2点	10点	1点	2点	2点	0点	1点	2点	
旅館・ホテル (n=10)	8点	0点	0点	4点	2点	0点	2点	2点	9点	8点	
飲食店 (n=10)	8点	3点	0点	8点	0点	3点	5点	5点	0点	2点	
飲食店以外の外食 (n=2)	5点	0点	0点	3点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	
その他 (n=3)	1点	4点	0点	0点	0点	3点	5点	0点	0点	2点	

	小 容 量 販 売 （ ば ら 売 り 、 小 分け） の 導 入	フ ー ド バ ン ク 活 動	農 家 等 で 発 生 す る 規 格 外 品 の 活 用	食 品 ロ ス に 関 す る 消 費 者 啓 発 （ 食 べ き り 、 3 0 ・ 1 0 運 動 ）	販 売 期 限 の 延 長	フ ー ド ド ラ イ ブ 活 動	料 理 の 持 ち 帰 り 希 望 へ の 対 応	そ の 他 、 独 自 の 取 り 組 み 等
食品製造業 (n=30)	0点	4点	2点	0点	0点	0点	0点	8点
食品卸売業 (n=16)	4点	3点	2点	0点	1点	1点	0点	6点
食品小売業 (n=8)	0点	3点	0点	0点	1点	0点	0点	3点
旅館・ホテル (n=10)	5点	0点	0点	2点	0点	0点	0点	0点
飲食店 (n=10)	0点	3点	0点	0点	0点	0点	0点	3点
飲食店以外の外食 (n=2)	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点
その他 (n=3)	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	3点

※資料編 1-2「クロス集計表」(p.91～93)参照。

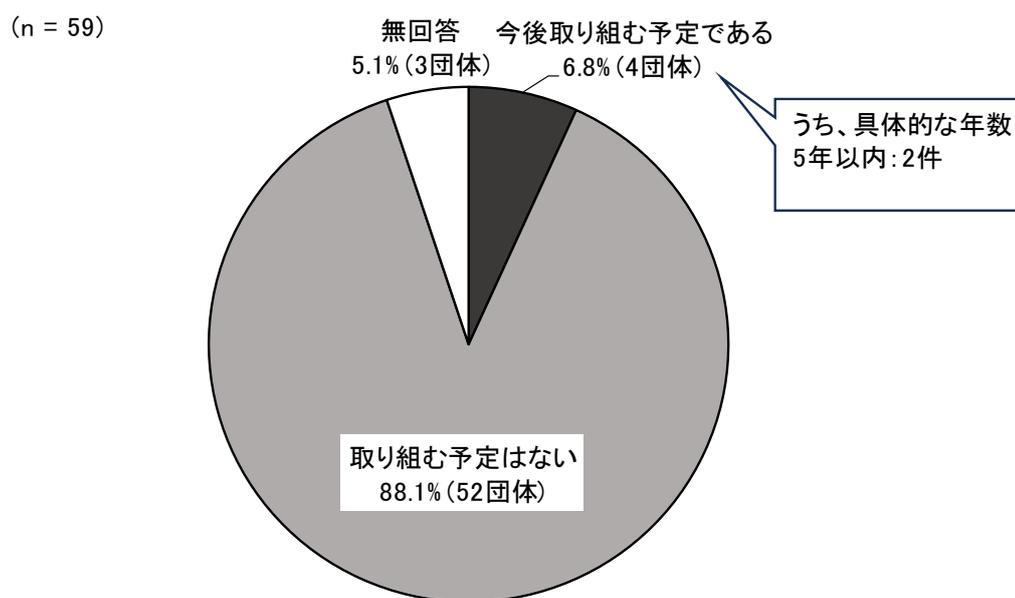
※1位=3点、2位=2点、3位=1点として得点化し、属性ごとに合計得点を算出。

3-8 今後のフードドライブ活動への取組意向

問8 フードドライブ活動について取り組んでいない場合、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

全体(図表3-8-1)で見ると、「取り組む予定はない」が88.1%と最も高く、次いで「今後取り組む予定である」が6.8%となっています。

図表 3-8-1 今後のフードドライブ活動への取組意向



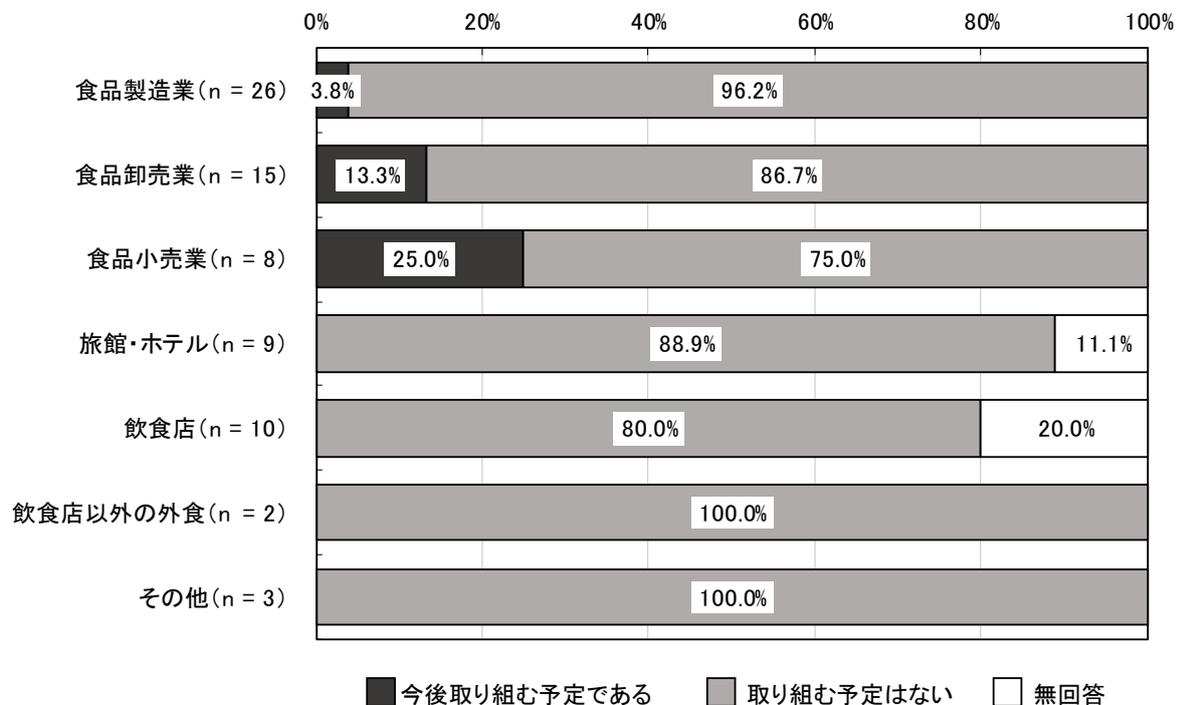
※問6で「(15)フードドライブ活動」を選択していない団体のみ。

【取り組む予定はない主な理由】

- ・人手不足、予算不足。(食品製造業)
- ・未利用食品の安全性の担保が無いため。(食品製造業)
- ・小売を行っていないため、家庭との直接の接点がない。(食品製造業)
- ・フードバンク活動に参加しているため。(食品卸売業・食品小売業・飲食店)
- ・廃棄が少ないため、次につながるようなロス品が少ないため。(食品卸売業)
- ・対象商品ではない。(食品卸売業)
- ・安全衛生上の理由。(旅館・ホテル)
- ・管理する人がいない。(飲食店)

業種別（図表 3-8-2）で見ると、いずれの業種においても「取り組む予定はない」が最も高くなっています。

図表 3-8-2 【業種別】今後のフードドライブ活動への取組意向



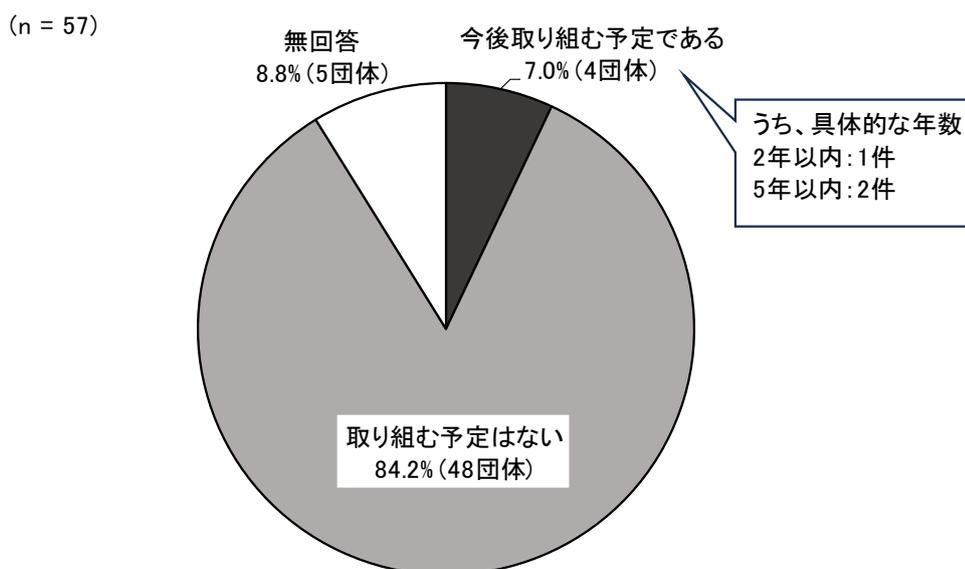
※資料編 1-2「クロス集計表」(p.94) 参照。

3-9 今後のフードバンク活動への取組意向

問9 フードバンク活動について取り組んでいない場合、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

全体(図表3-9-1)で見ると、「取り組む予定はない」が84.2%と最も高く、次いで「今後取り組む予定である」が7.0%となっています。

図表 3-9-1 今後のフードバンク活動への取組意向



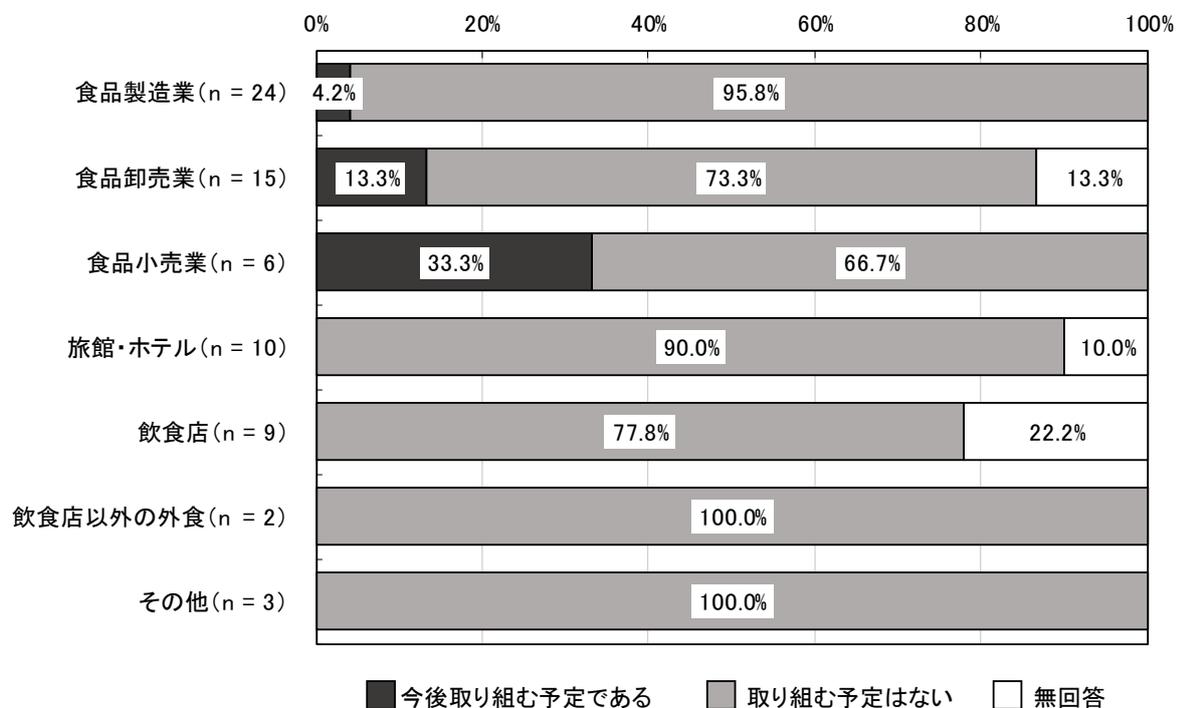
※問6で「(16)フードバンク活動」を選択していない団体のみ。

【取り組む予定はない主な理由】

- ・保管のためのキャパがない。(食品製造業・食品卸売業)
- ・寄付を受け付けていない。(食品製造業)
- ・冷凍食品を受け入れている所が少ない。(食品製造業)
- ・保管場所(冷凍庫や冷蔵庫)の不足と、慢性的な人手不足のため。(食品卸売業)
- ・フードバンク対象商品でない。(食品卸売業)
- ・保存期間がない。(旅館・ホテル)
- ・メニューが決まっているので、使用食材が決まっている。(飲食店)

業種別（図表 3-9-2）で見ると、いずれの業種においても「取り組む予定はない」が最も高くなっています。

図表 3-9-2 【業種別】今後のフードバンク活動への取組意向



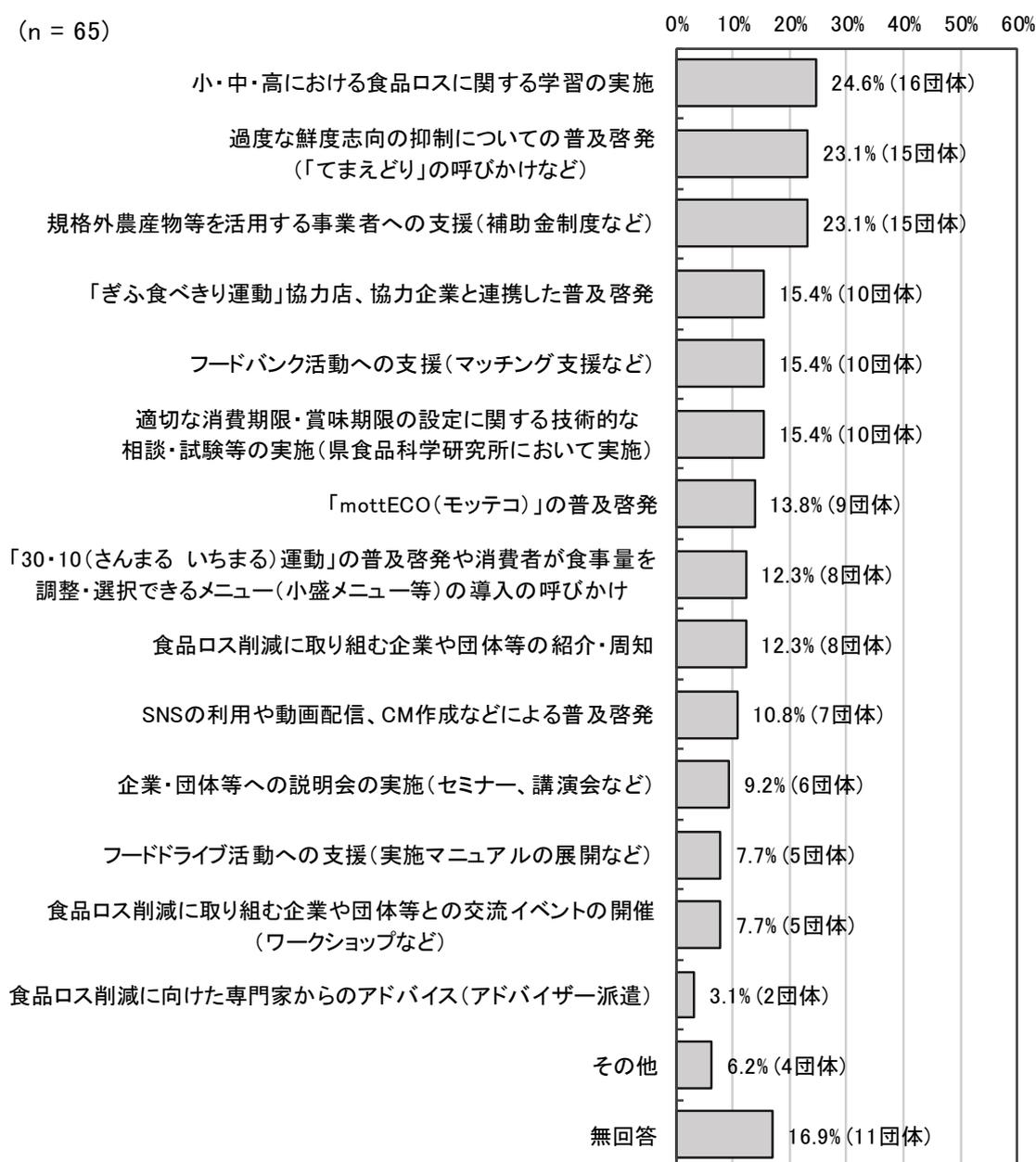
※資料編 1-2「クロス集計表」(p.94) 参照。

3-10 食品ロス削減に向けた行政への要望

問10 食品ロス削減に関する取組として行政に望むことはどのようなことですか。次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

全体(図表3-10-1)で見ると、「小・中・高における食品ロスに関する学習の実施」が24.6%と最も高く、次いで「過度な鮮度志向の抑制についての普及啓発(「てまえどり」の呼びかけなど)」、「規格外農産物等を活用する事業者への支援(補助金制度など)」がともに23.1%となっています。

図表 3-10-1 食品ロス削減に向けた行政への要望



業種別（図表 3-10-2）でみると、食品製造業では「過度な鮮度志向の抑制についての普及啓発（「てまえどり」の呼びかけなど）」、食品卸売業では「規格外農産物等を活用する事業者への支援（補助金制度など）」、「小・中・高における食品ロスに関する学習の実施」が最も高くなっています。

図表 3-10-2 【業種別】食品ロス削減に向けた行政への要望

	小・中・高における食品ロスに関する学習の実施	過度な鮮度志向の抑制についての普及啓発（「てまえどり」の呼びかけなど）	規格外農産物等を活用する事業者への支援（補助金制度など）	「ぎふ食べきり運動」協力店、協力企業と連携した普及啓発	フードバンク活動への支援（マッチング支援など）	食品科学的な相談・試験の実施（県研究所において実施）	適切な消費期限・賞味期限の設定に関する科学的な相談・試験の実施（県研究所において実施）	「motteteCO（モツテコ）」の普及啓発	「30・10（さんまるいちまる）」の普及啓発や消費者が食事量を調整できるメニューの導入の呼びかけ（小盛メ）
食品製造業 (n=30)	20.0%	26.7%	16.7%	10.0%	16.7%	13.3%	13.3%	10.0%	
食品卸売業 (n=16)	31.3%	12.5%	31.3%	18.8%	25.0%	25.0%	12.5%	6.3%	
食品小売業 (n=8)	37.5%	37.5%	37.5%	37.5%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	
旅館・ホテル (n=10)	40.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	30.0%	
飲食店 (n=10)	20.0%	30.0%	50.0%	30.0%	20.0%	30.0%	30.0%	0.0%	
飲食店以外の外食 (n=2)	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他 (n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	

	食品ロス削減の紹介・周知								
食品製造業 (n=30)	13.3%	10.0%	13.3%	6.7%	10.0%	6.7%	10.0%	13.3%	
食品卸売業 (n=16)	18.8%	18.8%	6.3%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	25.0%	
食品小売業 (n=8)	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
旅館・ホテル (n=10)	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	
飲食店 (n=10)	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	
飲食店以外の外食 (n=2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
その他 (n=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

※資料編 1-2「クロス集計表」(p.95) 参照。

3-11 自由意見

問11 県の食品ロス削減に関する施策についてご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

県の食品ロス削減に関する施策について意見・要望を尋ねたところ、8団体から回答がありました。本報告書では、主な意見を抜粋して掲載しています。

【食品ロス削減に関する施策についての意見・要望】

- ・フードバンク活動を円滑に進めるため、事業者を巡回して未利用食品を定期的に回収する者への運営及び輸送、保管費用等の助成制度を創設してほしい。(食品製造業・食品小売業・飲食店)
- ・ようやく国も動くが、賞味期限や消費期限の明確な日にちの設定の基準が、企業に任せていては曖昧である。スーパーで販売している野菜、果物は、形、色、大きさが統一された見目がキレイなものが並びすぎている。それ以外のものは売れないから、廃棄品の量が増える。(食品製造業・食品小売業・飲食店)
- ・食品ロス削減に関して、業種により発生の状況は異なる点を意識いただき、相応な施策を期待します。(食品製造業)
- ・食品ロス削減は、企業としてもっと取り組まなければならない重要事項と考えますが、方法がよくわからない。(旅館・ホテル)

○資料編 1-1 クロス集計表（県民）

問1 あなたは、食品ロスが問題となっていることを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ） <<調査結果2-1>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答
全 体		1021 100.0	352 34.5	582 57.0	74 7.2	9 0.9	4 0.4
性別	男性	355 100.0	136 38.3	189 53.2	25 7.0	4 1.1	1 0.3
	女性	639 100.0	207 32.4	379 59.3	47 7.4	5 0.8	1 0.2
年齢別	10歳代	11 100.0	5 45.5	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	18 30.0	37 61.7	5 8.3	0 0.0	0 0.0
	30歳代	79 100.0	25 31.6	47 59.5	7 8.9	0 0.0	0 0.0
	40歳代	137 100.0	55 40.1	69 50.4	11 8.0	2 1.5	0 0.0
	50歳代	171 100.0	52 30.4	106 62.0	10 5.8	0 0.0	3 1.8
	60歳代	225 100.0	83 36.9	127 56.4	13 5.8	2 0.9	0 0.0
	70歳以上	326 100.0	110 33.7	185 56.7	26 8.0	5 1.5	0 0.0
居住地別	岐阜地域	397 100.0	139 35.0	228 57.4	23 5.8	5 1.3	2 0.5
	西濃地域	164 100.0	58 35.4	93 56.7	12 7.3	1 0.6	0 0.0
	中濃地域	174 100.0	53 30.5	103 59.2	18 10.3	0 0.0	0 0.0
	東濃地域	146 100.0	51 34.9	83 56.8	10 6.8	2 1.4	0 0.0
	飛騨地域	64 100.0	23 35.9	34 53.1	7 10.9	0 0.0	0 0.0

問2 ご自身や家族が食品ロスを削減するために取り組んでいることはありますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも) <<調査結果2-2>>

		全 体	冷凍保存 を活用	残さず食 べる	賞味期限 を過ぎても 自分で食 べられるか 判断	食べきれ る量を購入	冷凍庫内 等の食材 の期限表 示を確認	料理を作り すぎない	残った料 理をアレ ンジして再度 食べる	すぐに食 べるなら商品 棚の手前 の商品を 選ぶ「てま えどり」を する
上段: 回答数(人) 下段: 回答率(%)										
全 体		1021 100.0	746 73.1	690 67.6	733 71.8	538 52.7	327 32.0	375 36.7	353 34.6	281 27.5
性 別	男性	355 100.0	228 64.2	259 73.0	243 68.5	175 49.3	106 29.9	115 32.4	95 26.8	75 21.1
	女性	639 100.0	497 77.8	416 65.1	469 73.4	351 54.9	213 33.3	251 39.3	247 38.7	196 30.7
年 齢 別	10歳代	11 100.0	8 72.7	8 72.7	6 54.5	6 54.5	3 27.3	5 45.5	5 45.5	2 18.2
	20歳代	60 100.0	35 58.3	51 85.0	42 70.0	32 53.3	11 18.3	10 16.7	14 23.3	13 21.7
	30歳代	79 100.0	63 79.7	67 84.8	64 81.0	39 49.4	22 27.8	19 24.1	28 35.4	25 31.6
	40歳代	137 100.0	100 73.0	87 63.5	95 69.3	77 56.2	32 23.4	41 29.9	48 35.0	45 32.8
	50歳代	171 100.0	122 71.3	125 73.1	121 70.8	93 54.4	43 25.1	62 36.3	59 34.5	60 35.1
	60歳代	225 100.0	163 72.4	147 65.3	168 74.7	121 53.8	81 36.0	92 40.9	74 32.9	54 24.0
	70歳以上	326 100.0	246 75.5	199 61.0	227 69.6	164 50.3	131 40.2	142 43.6	119 36.5	77 23.6
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	282 71.0	269 67.8	283 71.3	217 54.7	140 35.3	154 38.8	135 34.0	97 24.4
	西濃地域	164 100.0	115 70.1	104 63.4	119 72.6	75 45.7	51 31.1	46 28.0	54 32.9	44 26.8
	中濃地域	174 100.0	129 74.1	121 69.5	127 73.0	96 55.2	48 27.6	65 37.4	60 34.5	49 28.2
	東濃地域	146 100.0	120 82.2	98 67.1	108 74.0	77 52.7	48 32.9	54 37.0	57 39.0	45 30.8
	飛騨地域	64 100.0	48 75.0	47 73.4	48 75.0	34 53.1	18 28.1	25 39.1	23 35.9	20 31.3

		全 体	値引き シールの 貼ってある 商品を購入	飲食店等 で注文し すぎない、小 盛メニュー を頼む	お店で了 解を得て 残った料 理を持ち帰 る	フードドライ ブ活動へ の参加	「30・10(さ んまるい ちまる)運 動」の実施	取り組んで いない	その他	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 回答率(%)										
全 体		1021 100.0	689 67.5	317 31.0	201 19.7	32 3.1	23 2.3	7 0.7	29 2.8	1 0.1
性 別	男性	355 100.0	230 64.8	93 26.2	53 14.9	6 1.7	8 2.3	4 1.1	7 2.0	0 0.0
	女性	639 100.0	439 68.7	214 33.5	140 21.9	26 4.1	15 2.3	3 0.5	22 3.4	0 0.0
年 齢 別	10歳代	11 100.0	9 81.8	7 63.6	2 18.2	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	42 70.0	20 33.3	7 11.7	0 0.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	79 100.0	55 69.6	22 27.8	11 13.9	1 1.3	1 1.3	0 0.0	1 1.3	0 0.0
	40歳代	137 100.0	97 70.8	34 24.8	32 23.4	6 4.4	3 2.2	2 1.5	3 2.2	0 0.0
	50歳代	171 100.0	121 70.8	49 28.7	33 19.3	6 3.5	3 1.8	0 0.0	6 3.5	0 0.0
	60歳代	225 100.0	149 66.2	66 29.3	40 17.8	9 4.0	5 2.2	1 0.4	5 2.2	0 0.0
	70歳以上	326 100.0	207 63.5	113 34.7	71 21.8	9 2.8	10 3.1	3 0.9	14 4.3	0 0.0
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	260 65.5	137 34.5	64 16.1	10 2.5	10 2.5	3 0.8	11 2.8	0 0.0
	西濃地域	164 100.0	107 65.2	41 25.0	32 19.5	9 5.5	2 1.2	3 1.8	4 2.4	0 0.0
	中濃地域	174 100.0	127 73.0	61 35.1	38 21.8	6 3.4	3 1.7	1 0.6	7 4.0	0 0.0
	東濃地域	146 100.0	110 75.3	38 26.0	36 24.7	3 2.1	1 0.7	0 0.0	1 0.7	0 0.0
	飛騨地域	64 100.0	41 64.1	18 28.1	13 20.3	2 3.1	6 9.4	0 0.0	1 1.6	0 0.0

問2-1 食品ロス削減への取組数 ※問2で選択された項目数を算出 <<調査結果2-2>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	1つ	2つ	3つ以上	取り組んでい ない	無回答
全 体		1021 100.0	20 2.0	79 7.7	914 89.5	7 0.7	1 0.1
性 別	男性	355 100.0	11 3.1	38 10.7	302 85.1	4 1.1	0 0.0
	女性	639 100.0	9 1.4	39 6.1	588 92.0	3 0.5	0 0.0
年 齢 別	10歳代	11 100.0	0 0.0	1 9.1	9 81.8	1 9.1	0 0.0
	20歳代	60 100.0	1 1.7	8 13.3	51 85.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	79 100.0	2 2.5	9 11.4	68 86.1	0 0.0	0 0.0
	40歳代	137 100.0	6 4.4	9 6.6	120 87.6	2 1.5	0 0.0
	50歳代	171 100.0	4 2.3	10 5.8	157 91.8	0 0.0	0 0.0
	60歳代	225 100.0	2 0.9	14 6.2	208 92.4	1 0.4	0 0.0
	70歳以上	326 100.0	5 1.5	28 8.6	290 89.0	3 0.9	0 0.0
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	7 1.8	36 9.1	351 88.4	3 0.8	0 0.0
	西濃地域	164 100.0	3 1.8	11 6.7	147 89.6	3 1.8	0 0.0
	中濃地域	174 100.0	3 1.7	8 4.6	162 93.1	1 0.6	0 0.0
	東濃地域	146 100.0	3 2.1	11 7.5	132 90.4	0 0.0	0 0.0
	飛騨地域	64 100.0	1 1.6	5 7.8	58 90.6	0 0.0	0 0.0

問3 あなたのご家庭ではどのような理由で食品ロスが発生しますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも) <<調査結果2-3>>

上段: 回答数(人) 下段: 回答率(%)		全 体	消費期限ま たは賞味期 限が切れた	保存している ことを忘れて いて、傷んで しまった	保存方法が 不適切で、 傷んでしまっ た	買いすぎて、 食べきれな かった	もらったもの の、多すぎて 食べきれな かった
全 体		1021 100.0	494 48.4	548 53.7	207 20.3	131 12.8	262 25.7
性 別	男性	355 100.0	160 45.1	187 52.7	65 18.3	48 13.5	82 23.1
	女性	639 100.0	323 50.5	349 54.6	133 20.8	79 12.4	174 27.2
年 齢 別	10歳代	11 100.0	6 54.5	8 72.7	2 18.2	3 27.3	4 36.4
	20歳代	60 100.0	31 51.7	36 60.0	8 13.3	5 8.3	15 25.0
	30歳代	79 100.0	36 45.6	50 63.3	22 27.8	13 16.5	22 27.8
	40歳代	137 100.0	71 51.8	72 52.6	34 24.8	18 13.1	42 30.7
	50歳代	171 100.0	92 53.8	90 52.6	31 18.1	22 12.9	49 28.7
	60歳代	225 100.0	116 51.6	125 55.6	50 22.2	27 12.0	68 30.2
	70歳以上	326 100.0	139 42.6	162 49.7	57 17.5	39 12.0	58 17.8
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	185 46.6	198 49.9	77 19.4	46 11.6	101 25.4
	西濃地域	164 100.0	84 51.2	96 58.5	29 17.7	17 10.4	42 25.6
	中濃地域	174 100.0	85 48.9	97 55.7	44 25.3	21 12.1	44 25.3
	東濃地域	146 100.0	67 45.9	84 57.5	28 19.2	23 15.8	37 25.3
	飛騨地域	64 100.0	37 57.8	37 57.8	14 21.9	10 15.6	20 31.3

上段: 回答数(人) 下段: 回答率(%)		全 体	作りすぎて食 べきれなかつ た	好き嫌いによ り食べきれな かった	その他	発生していな い	無回答
全 体		1021 100.0	103 10.1	95 9.3	21 2.1	144 14.1	22 2.2
性 別	男性	355 100.0	33 9.3	27 7.6	6 1.7	64 18.0	5 1.4
	女性	639 100.0	67 10.5	65 10.2	15 2.3	78 12.2	12 1.9
年 齢 別	10歳代	11 100.0	2 18.2	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	7 11.7	8 13.3	0 0.0	11 18.3	1 1.7
	30歳代	79 100.0	11 13.9	8 10.1	2 2.5	6 7.6	1 1.3
	40歳代	137 100.0	16 11.7	21 15.3	7 5.1	12 8.8	2 1.5
	50歳代	171 100.0	17 9.9	10 5.8	0 0.0	19 11.1	4 2.3
	60歳代	225 100.0	19 8.4	17 7.6	4 1.8	30 13.3	1 0.4
	70歳以上	326 100.0	29 8.9	28 8.6	8 2.5	66 20.2	8 2.5
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	40 10.1	44 11.1	7 1.8	73 18.4	5 1.3
	西濃地域	164 100.0	14 8.5	14 8.5	4 2.4	21 12.8	1 0.6
	中濃地域	174 100.0	21 12.1	18 10.3	2 1.1	19 10.9	3 1.7
	東濃地域	146 100.0	20 13.7	6 4.1	4 2.7	17 11.6	3 2.1
	飛騨地域	64 100.0	4 6.3	7 10.9	4 6.3	8 12.5	0 0.0

問4 あなたのご家庭で捨ててしまいがちな食品はどんなものですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも) <<調査結果2-4>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	米・シリアル等	肉類	卵	魚介類	野菜類	果物類	惣菜類
全 体		1021 100.0	11 1.1	70 6.9	18 1.8	51 5.0	509 49.9	89 8.7	132 12.9
性 別	男性	355 100.0	7 2.0	22 6.2	9 2.5	23 6.5	161 45.4	35 9.9	52 14.6
	女性	639 100.0	4 0.6	47 7.4	9 1.4	23 3.6	334 52.3	53 8.3	77 12.1
年 齢 別	10歳代	11 100.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	7 63.6	2 18.2	1 9.1
	20歳代	60 100.0	0 0.0	4 6.7	2 3.3	2 3.3	32 53.3	5 8.3	8 13.3
	30歳代	79 100.0	3 3.8	7 8.9	2 2.5	5 6.3	54 68.4	7 8.9	8 10.1
	40歳代	137 100.0	2 1.5	13 9.5	2 1.5	5 3.6	75 54.7	17 12.4	22 16.1
	50歳代	171 100.0	1 0.6	11 6.4	2 1.2	8 4.7	74 43.3	22 12.9	22 12.9
	60歳代	225 100.0	3 1.3	12 5.3	2 0.9	9 4.0	123 54.7	19 8.4	29 12.9
	70歳以上	326 100.0	2 0.6	22 6.7	6 1.8	20 6.1	139 42.6	17 5.2	40 12.3
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	6 1.5	26 6.5	8 2.0	25 6.3	204 51.4	40 10.1	51 12.8
	西濃地域	164 100.0	0 0.0	8 4.9	4 2.4	2 1.2	91 55.5	6 3.7	18 11.0
	中濃地域	174 100.0	1 0.6	15 8.6	4 2.3	8 4.6	85 48.9	12 6.9	21 12.1
	東濃地域	146 100.0	2 1.4	13 8.9	0 0.0	3 2.1	68 46.6	16 11.0	21 14.4
	飛騨地域	64 100.0	1 1.6	3 4.7	0 0.0	4 6.3	28 43.8	7 10.9	9 14.1

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	調味料・油	日配品(豆腐・納豆・パン・乳製品等)	漬物・佃煮	粉類(小麦粉等)	菓子類	加工肉(ハム・ソーセージ等)	飲料・酒類
全 体		1021 100.0	179 17.5	150 14.7	86 8.4	86 8.4	61 6.0	45 4.4	21 2.1
性別	男性	355 100.0	53 14.9	46 13.0	23 6.5	15 4.2	26 7.3	12 3.4	8 2.3
	女性	639 100.0	123 19.2	102 16.0	60 9.4	70 11.0	35 5.5	33 5.2	12 1.9
年齢別	10歳代	11 100.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	2 18.2	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	20歳代	60 100.0	14 23.3	12 20.0	1 1.7	5 8.3	4 6.7	2 3.3	0 0.0
	30歳代	79 100.0	9 11.4	13 16.5	8 10.1	4 5.1	12 15.2	0 0.0	2 2.5
	40歳代	137 100.0	21 15.3	22 16.1	15 10.9	9 6.6	11 8.0	3 2.2	3 2.2
	50歳代	171 100.0	36 21.1	21 12.3	24 14.0	15 8.8	8 4.7	6 3.5	7 4.1
	60歳代	225 100.0	53 23.6	34 15.1	14 6.2	25 11.1	10 4.4	15 6.7	0 0.0
	70歳以上	326 100.0	45 13.8	46 14.1	20 6.1	26 8.0	16 4.9	18 5.5	9 2.8
居住地別	岐阜地域	397 100.0	77 19.4	58 14.6	33 8.3	37 9.3	22 5.5	20 5.0	5 1.3
	西濃地域	164 100.0	31 18.9	24 14.6	10 6.1	12 7.3	12 7.3	3 1.8	5 3.0
	中濃地域	174 100.0	23 13.2	29 16.7	14 8.0	17 9.8	7 4.0	5 2.9	6 3.4
	東濃地域	146 100.0	24 16.4	21 14.4	14 9.6	9 6.2	10 6.8	14 9.6	1 0.7
	飛騨地域	64 100.0	14 21.9	12 18.8	8 12.5	6 9.4	5 7.8	2 3.1	3 4.7

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	麺類	冷凍食品	レトルト食 品・缶詰	その他	全く捨てて いない	無回答
全 体		1021 100.0	32 3.1	26 2.5	83 8.1	15 1.5	158 15.5	24 2.4
性 別	男性	355 100.0	7 2.0	6 1.7	18 5.1	6 1.7	76 21.4	5 1.4
	女性	639 100.0	24 3.8	19 3.0	64 10.0	9 1.4	80 12.5	14 2.2
年 齢 別	10歳代	11 100.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0
	20歳代	60 100.0	2 3.3	0 0.0	5 8.3	0 0.0	9 15.0	1 1.7
	30歳代	79 100.0	2 2.5	1 1.3	3 3.8	1 1.3	6 7.6	0 0.0
	40歳代	137 100.0	5 3.6	2 1.5	14 10.2	4 2.9	16 11.7	2 1.5
	50歳代	171 100.0	2 1.2	3 1.8	16 9.4	3 1.8	26 15.2	3 1.8
	60歳代	225 100.0	4 1.8	7 3.1	19 8.4	2 0.9	33 14.7	1 0.4
	70歳以上	326 100.0	15 4.6	11 3.4	25 7.7	4 1.2	67 20.6	12 3.7
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	12 3.0	10 2.5	34 8.6	5 1.3	70 17.6	5 1.3
	西濃地域	164 100.0	7 4.3	3 1.8	8 4.9	5 3.0	24 14.6	2 1.2
	中濃地域	174 100.0	6 3.4	5 2.9	17 9.8	1 0.6	26 14.9	4 2.3
	東濃地域	146 100.0	2 1.4	4 2.7	12 8.2	1 0.7	23 15.8	4 2.7
	飛騨地域	64 100.0	2 3.1	2 3.1	5 7.8	3 4.7	6 9.4	1 1.6

問5 「賞味期限」と「消費期限」の違いを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ) <<調査結果2-5>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答
全 体		1021 100.0	474 46.4	477 46.7	51 5.0	9 0.9	10 1.0
性別	男性	355 100.0	168 47.3	151 42.5	25 7.0	6 1.7	5 1.4
	女性	639 100.0	293 45.9	315 49.3	24 3.8	3 0.5	4 0.6
年齢別	10歳代	11 100.0	7 63.6	2 18.2	1 9.1	1 9.1	0 0.0
	20歳代	60 100.0	35 58.3	24 40.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7
	30歳代	79 100.0	45 57.0	27 34.2	7 8.9	0 0.0	0 0.0
	40歳代	137 100.0	65 47.4	67 48.9	3 2.2	0 0.0	2 1.5
	50歳代	171 100.0	78 45.6	77 45.0	13 7.6	1 0.6	2 1.2
	60歳代	225 100.0	94 41.8	116 51.6	11 4.9	2 0.9	2 0.9
	70歳以上	326 100.0	146 44.8	158 48.5	15 4.6	5 1.5	2 0.6
居住地別	岐阜地域	397 100.0	187 47.1	182 45.8	21 5.3	3 0.8	4 1.0
	西濃地域	164 100.0	88 53.7	65 39.6	8 4.9	2 1.2	1 0.6
	中濃地域	174 100.0	71 40.8	95 54.6	7 4.0	0 0.0	1 0.6
	東濃地域	146 100.0	68 46.6	70 47.9	4 2.7	3 2.1	1 0.7
	飛騨地域	64 100.0	31 48.4	25 39.1	8 12.5	0 0.0	0 0.0

問6 ぎふ食べきり運動を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ) <<調査結果2-6>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答
全 体		1021 100.0	17 1.7	56 5.5	338 33.1	598 58.6	12 1.2
性別	男性	355 100.0	7 2.0	15 4.2	105 29.6	222 62.5	6 1.7
	女性	639 100.0	10 1.6	41 6.4	224 35.1	359 56.2	5 0.8
年齢別	10歳代	11 100.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2	8 72.7	0 0.0
	20歳代	60 100.0	0 0.0	0 0.0	11 18.3	48 80.0	1 1.7
	30歳代	79 100.0	1 1.3	0 0.0	18 22.8	60 75.9	0 0.0
	40歳代	137 100.0	0 0.0	2 1.5	25 18.2	108 78.8	2 1.5
	50歳代	171 100.0	3 1.8	7 4.1	49 28.7	110 64.3	2 1.2
	60歳代	225 100.0	4 1.8	13 5.8	87 38.7	119 52.9	2 0.9
	70歳以上	326 100.0	9 2.8	33 10.1	141 43.3	139 42.6	4 1.2
居住地別	岐阜地域	397 100.0	10 2.5	18 4.5	138 34.8	227 57.2	4 1.0
	西濃地域	164 100.0	4 2.4	11 6.7	46 28.0	102 62.2	1 0.6
	中濃地域	174 100.0	1 0.6	10 5.7	59 33.9	103 59.2	1 0.6
	東濃地域	146 100.0	1 0.7	8 5.5	47 32.2	89 61.0	1 0.7
	飛騨地域	64 100.0	1 1.6	6 9.4	20 31.3	37 57.8	0 0.0

問7 「30・10（さんまる いちまる）運動」を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ） <<調査結果2-7>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答
全 体		1021 100.0	28 2.7	71 7.0	261 25.6	649 63.6	12 1.2
性別	男性	355 100.0	11 3.1	26 7.3	92 25.9	221 62.3	5 1.4
	女性	639 100.0	17 2.7	45 7.0	162 25.4	409 64.0	6 0.9
年齢別	10歳代	11 100.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	9 81.8	0 0.0
	20歳代	60 100.0	3 5.0	0 0.0	6 10.0	50 83.3	1 1.7
	30歳代	79 100.0	1 1.3	3 3.8	14 17.7	61 77.2	0 0.0
	40歳代	137 100.0	3 2.2	7 5.1	18 13.1	107 78.1	2 1.5
	50歳代	171 100.0	5 2.9	11 6.4	32 18.7	120 70.2	3 1.8
	60歳代	225 100.0	4 1.8	20 8.9	68 30.2	131 58.2	2 0.9
	70歳以上	326 100.0	12 3.7	29 8.9	119 36.5	163 50.0	3 0.9
居住地別	岐阜地域	397 100.0	10 2.5	28 7.1	97 24.4	257 64.7	5 1.3
	西濃地域	164 100.0	4 2.4	9 5.5	42 25.6	108 65.9	1 0.6
	中濃地域	174 100.0	5 2.9	11 6.3	49 28.2	108 62.1	1 0.6
	東濃地域	146 100.0	0 0.0	8 5.5	37 25.3	100 68.5	1 0.7
	飛騨地域	64 100.0	7 10.9	11 17.2	17 26.6	29 45.3	0 0.0

問8 フードドライブ活動を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ) <<調査結果2-8>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答
全 体		1021 100.0	75 7.3	282 27.6	311 30.5	334 32.7	19 1.9
性別	男性	355 100.0	21 5.9	87 24.5	105 29.6	136 38.3	6 1.7
	女性	639 100.0	52 8.1	188 29.4	198 31.0	192 30.0	9 1.4
年齢別	10歳代	11 100.0	2 18.2	2 18.2	3 27.3	4 36.4	0 0.0
	20歳代	60 100.0	3 5.0	10 16.7	19 31.7	28 46.7	0 0.0
	30歳代	79 100.0	3 3.8	19 24.1	20 25.3	36 45.6	1 1.3
	40歳代	137 100.0	18 13.1	28 20.4	38 27.7	53 38.7	0 0.0
	50歳代	171 100.0	12 7.0	58 33.9	51 29.8	47 27.5	3 1.8
	60歳代	225 100.0	16 7.1	76 33.8	64 28.4	68 30.2	1 0.4
	70歳以上	326 100.0	20 6.1	87 26.7	114 35.0	95 29.1	10 3.1
居住地別	岐阜地域	397 100.0	26 6.5	106 26.7	120 30.2	139 35.0	6 1.5
	西濃地域	164 100.0	15 9.1	42 25.6	50 30.5	57 34.8	0 0.0
	中濃地域	174 100.0	9 5.2	54 31.0	55 31.6	55 31.6	1 0.6
	東濃地域	146 100.0	13 8.9	43 29.5	43 29.5	43 29.5	4 2.7
	飛騨地域	64 100.0	7 10.9	21 32.8	19 29.7	17 26.6	0 0.0

問9 フードバンク活動を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ) <<調査結果2-9>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答
全 体		1021 100.0	61 6.0	306 30.0	334 32.7	303 29.7	17 1.7
性別	男性	355 100.0	21 5.9	100 28.2	120 33.8	109 30.7	5 1.4
	女性	639 100.0	39 6.1	199 31.1	204 31.9	189 29.6	8 1.3
年齢別	10歳代	11 100.0	3 27.3	1 9.1	4 36.4	3 27.3	0 0.0
	20歳代	60 100.0	2 3.3	11 18.3	23 38.3	24 40.0	0 0.0
	30歳代	79 100.0	5 6.3	12 15.2	28 35.4	33 41.8	1 1.3
	40歳代	137 100.0	10 7.3	39 28.5	37 27.0	51 37.2	0 0.0
	50歳代	171 100.0	8 4.7	61 35.7	56 32.7	43 25.1	3 1.8
	60歳代	225 100.0	13 5.8	81 36.0	74 32.9	56 24.9	1 0.4
	70歳以上	326 100.0	20 6.1	99 30.4	110 33.7	89 27.3	8 2.5
居住地別	岐阜地域	397 100.0	25 6.3	126 31.7	117 29.5	125 31.5	4 1.0
	西濃地域	164 100.0	12 7.3	47 28.7	60 36.6	45 27.4	0 0.0
	中濃地域	174 100.0	7 4.0	51 29.3	61 35.1	54 31.0	1 0.6
	東濃地域	146 100.0	9 6.2	39 26.7	51 34.9	43 29.5	4 2.7
	飛騨地域	64 100.0	6 9.4	23 35.9	23 35.9	12 18.8	0 0.0

問 10 ぎふ食べきり運動など、食品ロス削減に率先して取組んでいる飲食店があれば積極的に利用したいですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つ) <<調査結果2-10>>

上段:回答数(人) 下段:回答率(%)		全 体	積極的に利 用したい	他のお店と変 わらない	どちらでもな い	無回答
全 体		1021 100.0	254 24.9	430 42.1	311 30.5	26 2.5
性 別	男性	355 100.0	88 24.8	166 46.8	93 26.2	8 2.3
	女性	639 100.0	160 25.0	254 39.7	211 33.0	14 2.2
年 齢 別	10歳代	11 100.0	3 27.3	7 63.6	1 9.1	0 0.0
	20歳代	60 100.0	18 30.0	22 36.7	20 33.3	0 0.0
	30歳代	79 100.0	18 22.8	39 49.4	21 26.6	1 1.3
	40歳代	137 100.0	42 30.7	65 47.4	30 21.9	0 0.0
	50歳代	171 100.0	49 28.7	74 43.3	44 25.7	4 2.3
	60歳代	225 100.0	44 19.6	103 45.8	76 33.8	2 0.9
	70歳以上	326 100.0	78 23.9	115 35.3	118 36.2	15 4.6
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	109 27.5	165 41.6	117 29.5	6 1.5
	西濃地域	164 100.0	36 22.0	74 45.1	54 32.9	0 0.0
	中濃地域	174 100.0	42 24.1	79 45.4	49 28.2	4 2.3
	東濃地域	146 100.0	32 21.9	52 35.6	56 38.4	6 4.1
	飛騨地域	64 100.0	21 32.8	24 37.5	19 29.7	0 0.0

問 11 食品について「もったいない」と感じることはありますか。それはどんな時ですか。
次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

《調査結果 2-1 1》

		全 体	食品廃棄 に関する 問題の ニュースを 見たとき	期限切れ で食わず に捨ててし まうとき	お店で他 人の食べ 残したもの を見たとき	閉店間際 のお店に 多く並ぶ商 品を見たとき	自分や家 族、友人 が食べ残 したものを 見たとき	もったいな いと感じる ことはない	その他	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 回答率(%)										
全 体		1021 100.0	732 71.7	663 64.9	418 40.9	386 37.8	345 33.8	6 0.6	35 3.4	16 1.6
性 別	男性	355 100.0	242 68.2	219 61.7	157 44.2	130 36.6	116 32.7	6 1.7	10 2.8	7 2.0
	女性	639 100.0	473 74.0	426 66.7	250 39.1	248 38.8	221 34.6	0 0.0	24 3.8	8 1.3
年 齢 別	10歳代	11 100.0	6 54.5	7 63.6	5 45.5	7 63.6	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	39 65.0	40 66.7	32 53.3	31 51.7	24 40.0	0 0.0	1 1.7	0 0.0
	30歳代	79 100.0	53 67.1	50 63.3	43 54.4	36 45.6	40 50.6	0 0.0	2 2.5	1 1.3
	40歳代	137 100.0	86 62.8	97 70.8	62 45.3	58 42.3	54 39.4	3 2.2	6 4.4	1 0.7
	50歳代	171 100.0	129 75.4	118 69.0	78 45.6	72 42.1	62 36.3	0 0.0	7 4.1	2 1.2
	60歳代	225 100.0	171 76.0	158 70.2	77 34.2	77 34.2	70 31.1	0 0.0	6 2.7	2 0.9
	70歳以上	326 100.0	241 73.9	185 56.7	114 35.0	102 31.3	87 26.7	3 0.9	12 3.7	9 2.8
居 住 地 別	岐阜地域	397 100.0	293 73.8	254 64.0	161 40.6	154 38.8	144 36.3	2 0.5	10 2.5	7 1.8
	西濃地域	164 100.0	116 70.7	90 54.9	65 39.6	75 45.7	46 28.0	0 0.0	7 4.3	0 0.0
	中濃地域	174 100.0	123 70.7	130 74.7	71 40.8	62 35.6	64 36.8	1 0.6	5 2.9	2 1.1
	東濃地域	146 100.0	106 72.6	95 65.1	55 37.7	49 33.6	52 35.6	3 2.1	5 3.4	5 3.4
	飛騨地域	64 100.0	48 75.0	42 65.6	27 42.2	24 37.5	18 28.1	0 0.0	3 4.7	0 0.0

問 12 外食をして食べきれなかった時、どのような状況であれば持ち帰ろうと思いますか。
次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

《調査結果 2-1 2》

		全 体	店内に「持ち帰りができます」と表示されている	店に持ち帰りの容器が用意されている	店員から「持ち帰りができます」と言われる	鮮度や衛生面を保つ工夫がされている	持ち帰りの習慣が広く認められている	どのような状況であっても持ち帰らない	その他	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 回答率(%)										
全 体		1021 100.0	721 70.6	738 72.3	652 63.9	251 24.6	267 26.2	41 4.0	47 4.6	17 1.7
性別	男性	355 100.0	244 68.7	245 69.0	210 59.2	65 18.3	81 22.8	20 5.6	14 3.9	9 2.5
	女性	639 100.0	461 72.1	474 74.2	424 66.4	180 28.2	179 28.0	19 3.0	32 5.0	7 1.1
年齢別	10歳代	11 100.0	10 90.9	9 81.8	7 63.6	4 36.4	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	45 75.0	47 78.3	41 68.3	10 16.7	26 43.3	1 1.7	3 5.0	0 0.0
	30歳代	79 100.0	65 82.3	66 83.5	53 67.1	15 19.0	29 36.7	0 0.0	0 0.0	1 1.3
	40歳代	137 100.0	107 78.1	111 81.0	87 63.5	32 23.4	39 28.5	4 2.9	2 1.5	1 0.7
	50歳代	171 100.0	129 75.4	135 78.9	111 64.9	49 28.7	44 25.7	6 3.5	7 4.1	1 0.6
	60歳代	225 100.0	156 69.3	167 74.2	148 65.8	60 26.7	56 24.9	8 3.6	10 4.4	3 1.3
	70歳以上	326 100.0	202 62.0	195 59.8	198 60.7	79 24.2	68 20.9	21 6.4	25 7.7	10 3.1
居住地別	岐阜地域	397 100.0	278 70.0	281 70.8	236 59.4	107 27.0	111 28.0	18 4.5	19 4.8	7 1.8
	西濃地域	164 100.0	118 72.0	125 76.2	112 68.3	35 21.3	38 23.2	4 2.4	10 6.1	1 0.6
	中濃地域	174 100.0	129 74.1	131 75.3	120 69.0	47 27.0	49 28.2	6 3.4	7 4.0	2 1.1
	東濃地域	146 100.0	101 69.2	108 74.0	101 69.2	37 25.3	40 27.4	4 2.7	5 3.4	4 2.7
	飛騨地域	64 100.0	45 70.3	47 73.4	43 67.2	13 20.3	15 23.4	2 3.1	2 3.1	1 1.6

問13 食品ロス削減に関する取組として行政に望むことはどのようなことですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも) <<調査結果2-13>>

		全体	小・中・高における食品ロスに関する学習の実施	SNSの利用や動画配信、CM作成などによる普及啓発	冷蔵庫・冷凍庫の整理整頓や正しい保存方法についての情報提供	食品ロス削減に関する講座・料理教室の開催	食品ロス削減につながるレシビの一般募集	食品ロス削減に関するセミナー、講演会などの開催	食品ロス削減を意識した商品や食品ロス削減に取り組む企業や団体等の紹介・周知	その他	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 回答率(%)											
全体		1021 100.0	644 63.1	391 38.3	414 40.5	114 11.2	189 18.5	97 9.5	354 34.7	70 6.9	35 3.4
性別	男性	355 100.0	225 63.4	144 40.6	123 34.6	32 9.0	60 16.9	37 10.4	132 37.2	26 7.3	15 4.2
	女性	639 100.0	406 63.5	241 37.7	278 43.5	81 12.7	121 18.9	58 9.1	213 33.3	43 6.7	19 3.0
年齢別	10歳代	11 100.0	6 54.5	5 45.5	2 18.2	1 9.1	5 45.5	0 0.0	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	20歳代	60 100.0	31 51.7	26 43.3	27 45.0	5 8.3	12 20.0	0 0.0	21 35.0	4 6.7	0 0.0
	30歳代	79 100.0	55 69.6	31 39.2	31 39.2	6 7.6	22 27.8	3 3.8	26 32.9	2 2.5	2 2.5
	40歳代	137 100.0	87 63.5	53 38.7	43 31.4	9 6.6	22 16.1	9 6.6	52 38.0	17 12.4	3 2.2
	50歳代	171 100.0	115 67.3	91 53.2	54 31.6	20 11.7	29 17.0	17 9.9	70 40.9	11 6.4	3 1.8
	60歳代	225 100.0	154 68.4	98 43.6	89 39.6	24 10.7	34 15.1	19 8.4	84 37.3	10 4.4	5 2.2
	70歳以上	326 100.0	191 58.6	85 26.1	165 50.6	48 14.7	61 18.7	48 14.7	93 28.5	26 8.0	21 6.4
居住地別	岐阜地域	397 100.0	245 61.7	149 37.5	150 37.8	43 10.8	78 19.6	40 10.1	149 37.5	28 7.1	15 3.8
	西濃地域	164 100.0	99 60.4	54 32.9	75 45.7	15 9.1	26 15.9	14 8.5	55 33.5	13 7.9	5 3.0
	中濃地域	174 100.0	122 70.1	74 42.5	82 47.1	27 15.5	34 19.5	17 9.8	58 33.3	11 6.3	3 1.7
	東濃地域	146 100.0	95 65.1	60 41.1	53 36.3	15 10.3	23 15.8	15 10.3	46 31.5	15 10.3	6 4.1
	飛騨地域	64 100.0	41 64.1	28 43.8	30 46.9	6 9.4	9 14.1	5 7.8	24 37.5	1 1.6	1 1.6

○資料編 1-2 クロス集計表（事業所）

問1 貴社では、食品廃棄物等の量をどのように把握していますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも） <<調査結果3-1>>

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	計量器による計量 (実測)	一定期間 実測した 値を用いた 推計	原料使用 量や製品 生産量、 売上高から 推計	処理業者 等への委 託量から 推計	その他	無回答
全 体		65 100.0	16 24.6	6 9.2	12 18.5	27 41.5	11 16.9	2 3.1
業 種 別	食品製造業	30 100.0	10 33.3	1 3.3	4 13.3	17 56.7	4 13.3	0 0.0
	食品卸売業	16 100.0	0 0.0	3 18.8	6 37.5	4 25.0	2 12.5	1 6.3
	食品小売業	8 100.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0
	飲食店	10 100.0	2 20.0	0 0.0	3 30.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	その他	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0

問2 貴社の直近の1年間（2024年4月1日～2025年3月31日）の食品廃棄物等の量について、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
<<調査結果3-2>>

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	廃棄して いない	年間5t 未満	年間5t ～10t未 満	年間10t ～25t未 満	年間25t ～50t未 満	年間50t ～75t未 満	年間75t ～100t 未満	年間 100t以 上	無回答
全 体		65 100.0	5 7.7	25 38.5	10 15.4	4 6.2	2 3.1	1 1.5	0 0.0	13 20.0	5 7.7
業 種 別	食品製造業	30 100.0	2 6.7	6 20.0	4 13.3	2 6.7	1 3.3	1 3.3	0 0.0	12 40.0	2 6.7
	食品卸売業	16 100.0	3 18.8	10 62.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	2 20.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	その他	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

問3 貴社の直近の1年間（2024年4月1日～2025年3月31日）の食品廃棄物の中に含まれる食品ロスの量について、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ） <<調査結果3-3>>

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	廃棄して いない	年間5t 未満	年間5t ～10t未 満	年間10t ～25t未 満	年間25t ～50t未 満	年間50t ～75t未 満	年間75t ～100t 未満	年間 100t以 上	無回答
全 体		65 100.0	10 15.4	33 50.8	4 6.2	3 4.6	4 6.2	1 1.5	0 0.0	4 6.2	6 9.2
業 種 別	食品製造業	30 100.0	5 16.7	11 36.7	2 6.7	2 6.7	3 10.0	1 3.3	0 0.0	4 13.3	2 6.7
	食品卸売業	16 100.0	5 31.3	10 62.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	5 62.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	9 90.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	その他	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問4 貴社にとって、食品ロス削減はどの程度重要な課題ですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ） <<調査結果3-4>>

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	非常に重要 である	重要である	どちらともい えない	あまり重要 ではない	全く重要で はない	無回答
全 体		65 100.0	32 49.2	25 38.5	4 6.2	4 6.2	0 0.0	0 0.0
業 種 別	食品製造業	30 100.0	18 60.0	10 33.3	0 0.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0
	食品卸売業	16 100.0	5 31.3	8 50.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0
	食品小売業	8 100.0	4 50.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	飲食店	10 100.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

問4-1 問4で「(4) あまり重要ではない」「(5) 全く重要ではない」を選択した方にお伺いします。選択した理由は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも) <<調査結果3-4-1>>

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	食品ロス の発生量 が少ない、 発生してい ない	食品ロス 削減には コストがか かる	食品ロス 削減に関 する専門 的知識が ない	食品ロス 削減を取 組む人員 が不足し ている	食品ロス 削減のた めに何に 取り組む べきかわ からない	その他	無回答
全 体		4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
業 種 別	食品製造業	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	食品卸売業	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	食品小売業	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	旅館・ホテル	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	飲食店	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	飲食店以外の外食	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問5 食品ロスの発生の原因はどのようなものですか。次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも) <<調査結果3-5>>

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	規格外の 原材料の 混入	原材料の 仕入れ時 や保管中 の傷み・廃 れ	見込み違 いなどに よる原材 料の使い 残し	商品の仕 入れ時や 保管中の 破損など (食品)	商品の仕 入れ時や 保管中の 容器・包 装のキズ	端材	残さ(食用 にできるも の)
全 体		65 100.0	9 13.8	21 32.3	24 36.9	15 23.1	12 18.5	26 40.0	8 12.3
業 種 別	食品製造業	30 100.0	8 26.7	11 36.7	9 30.0	5 16.7	7 23.3	10 33.3	5 16.7
	食品卸売業	16 100.0	1 6.3	4 25.0	5 31.3	4 25.0	4 25.0	4 25.0	0 0.0
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	4 50.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	3 30.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	6 60.0	1 10.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	4 40.0	6 60.0	3 30.0	3 30.0	6 60.0	1 10.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	0 0.0

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	製造不良・ 調理ミス (食品)	製造不良 (容器・包 装)	設備ロス	生産過多 による売れ 残りの発 生	納品期限 切れ	販売期限 切れ	商品入替 に伴う余剰 在庫の発 生
全 体		65 100.0	28 43.1	16 24.6	13 20.0	20 30.8	11 16.9	28 43.1	13 20.0
業 種 別	食品製造業	30 100.0	18 60.0	11 36.7	13 43.3	6 20.0	7 23.3	13 43.3	7 23.3
	食品卸売業	16 100.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	2 12.5	3 18.8	9 56.3	4 25.0
	食品小売業	8 100.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	6 75.0	2 25.0
	旅館・ホテル	10 100.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	7 70.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0
	飲食店	10 100.0	4 40.0	4 40.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	7 70.0	1 10.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	納品期限 切れによる 返品が発 生	商品入替 に伴う返品 の発生	お客様の 食べ残し	試作ロス	検査・保存 用サンプ ル品	その他	無回答
全 体		65 100.0	4 6.2	5 7.7	23 35.4	16 24.6	22 33.8	1 1.5	4 6.2
業 種 別	食品製造業	30 100.0	3 10.0	3 10.0	3 10.0	9 30.0	15 50.0	0 0.0	1 3.3
	食品卸売業	16 100.0	1 6.3	1 6.3	3 18.8	2 12.5	4 25.0	0 0.0	3 18.8
	食品小売業	8 100.0	1 12.5	1 12.5	4 50.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	0 0.0	9 90.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0
	飲食店	10 100.0	1 10.0	0 0.0	9 90.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問6 食品ロス削減のために既に行っている取組はありますか。次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも) <<調査結果3-6>>

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	食品ロスの削減目標設定	食品ロス削減について従業員への教育	食品ロス発生量の継続的な計量	季節商品の予約販売の導入	原材料や商品の保管状況の改善、容器の改良	販売期限の延長	賞味期限・消費期限の延長	店頭での値引き販売	自社で発生する規格外品や食材の未利用部分の活用(新商品開発、販路開拓)	
全体		65 100.0	18 27.7	30 46.2	21 32.3	7 10.8	21 32.3	1 1.5	13 20.0	14 21.5	14 21.5	
業種別	食品製造業	30 100.0	10 33.3	14 46.7	13 43.3	2 6.7	12 40.0	0 0.0	9 30.0	5 16.7	8 26.7	
	食品卸売業	16 100.0	4 25.0	6 37.5	4 25.0	3 18.8	5 31.3	1 6.3	3 18.8	5 31.3	3 18.8	
	食品小売業	8 100.0	1 12.5	7 87.5	2 25.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	2 25.0	6 75.0	4 50.0	
	旅館・ホテル	10 100.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	
	飲食店	10 100.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	5 50.0	
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 50.0	1 0.0	0 0.0
	その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	農家等で発生する規格外品の活用	小容量販売(ばら売り、小分け)の導入	食べ残し削減に向けたメニューや少量メニューの開発	料理の持ち帰り希望への対応	食品ロスに関する消費者啓発(食べきり、てまえどり、30・10運動)	フードドライブ活動	フードバンク活動	食品リサイクル活動(食品廃棄物の飼料化、肥料化等)	その他、独自の取り組み等	無回答
全体		65 100.0	2 3.1	7 10.8	7 10.8	3 4.6	2 3.1	6 9.2	8 12.3	16 24.6	5 7.7	2 3.1
業種別	食品製造業	30 100.0	2 6.7	1 3.3	2 6.7	1 3.3	0 0.0	4 13.3	6 20.0	15 50.0	3 10.0	0 0.0
	食品卸売業	16 100.0	1 6.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	2 12.5	1 6.3
	食品小売業	8 100.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	2 20.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	飲食店	10 100.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0

問7-1 問6の既に行っている取組の中で特に食品ロス削減につながった取組は何ですか。
 順位1～3まで()内に問6の番号を記入してください。【第1位】 <<調査結果3-7>>

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	食品ロスの削減目標設定	食品ロス削減について従業員への教育	食品ロス発生量の継続的な計量	季節商品の予約販売の導入	商品販売の導	原材料や商品の保管状況の改善、容器の改良	販売期限の延長	賞味期限・消費期限の延長	店頭での値引き販売	自社で発生する規格外品や食材の未利用部分の活用(新商品開発、販路開拓)
全体		65 100.0	3 4.6	11 16.9	2 3.1	4 6.2	4 6.2	4 6.2	0 0.0	6 9.2	7 10.8	3 4.6
業種別	食品製造業	30 100.0	1 3.3	4 13.3	0 0.0	0 0.0	4 13.3	4 13.3	0 0.0	4 13.3	2 6.7	2 6.7
	食品卸売業	16 100.0	2 12.5	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	2 12.5	1 6.3
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	農家等で発生する規格外品の活用	小容量販売(ばら売り、小分け)の導入	食べ残し削減に向けたメニューや少量メニューの開発	料理の持ち帰り希望への対応	食品ロスに関する消費者啓発(食べきり、てまどり、30・10運動)	フードドライブ活動	フードバンク活動	食品リサイクル活動(食品廃棄物の飼料化、肥料化等)	その他、独自の取り組み等	無回答
全体		65 100.0	0 0.0	1 1.5	2 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	8 12.3	4 6.2	9 13.8
業種別	食品製造業	30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 26.7	2 6.7	3 10.0
	食品卸売業	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	2 12.5	2 12.5
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0

問7-2 問6の既に行っている取組の中で特に食品ロス削減につながった取組は何ですか。
 順位1～3まで()内に問6の番号を記入してください。【第2位】 <<調査結果3-7>>

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	食品ロスの削減目標設定	食品ロス削減について従業員への教育	食品ロス発生量の継続的な計量	季節商品の予約販売の導入	商品販売の導	原材料や商品の保管状況の改善、容器の改良	販売期限の延長	賞味期限・消費期限の延長	店頭での値引き販売	自社で発生する規格外品や食材の未利用部分の活用(新商品開発、販路開拓)
全体		65 100.0	6 9.2	9 13.8	5 7.7	1 1.5	2 3.1	0 0.0	3 4.6	2 3.1	4 6.2	
業種別	食品製造業	30 100.0	5 16.7	3 10.0	4 13.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	2 6.7	1 3.3	2 6.7	
	食品卸売業	16 100.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	2 12.5	0 0.0	
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	
	旅館・ホテル	10 100.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	
	飲食店	10 100.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	農家等で発生する規格外品の活用	小容量販売(ばら売り、小分け)の導入	食べ残し削減に向けたメニューや少量メニューの開発	料理の持ち帰り希望への対応	食品ロスに関する消費者啓発(食べきり、てまどり、30・10運動)	フードドライブ活動	フードバンク活動	食品リサイクル活動(食品廃棄物の飼料化、肥料化等)	その他、独自の取り組み等	無回答
全体		65 100.0	1 1.5	3 4.6	2 3.1	0 0.0	1 1.5	0 0.0	2 3.1	2 3.1	1 1.5	21 32.3
業種別	食品製造業	30 100.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.7	2 6.7	1 3.3	5 16.7
	食品卸売業	16 100.0	1 6.3	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 37.5
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問7-3 問6の既に行っている取組の中で特に食品ロス削減につながった取組は何ですか。
 順位1～3まで()内に問6の番号を記入してください。【第3位】 <<調査結果3-7>>

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	食品ロスの削減目標設定	食品ロス削減について従業員への教育	食品ロス発生量の継続的な計量	季節商品の予約販売の導入	原材料や商品の保管状況の改善、容器の改良	販売期限の延長	賞味期限・消費期限の延長	店頭での値引き販売	自社で発生する規格外品や食材の未利用部分の活用(新商品開発、販路開拓)
全体		65 100.0	2 3.1	2 3.1	5 7.7	2 3.1	6 9.2	1 1.5	3 4.6	2 3.1	1 1.5
業種別	食品製造業	30 100.0	1 3.3	2 6.7	2 6.7	1 3.3	4 13.3	0 0.0	3 10.0	0 0.0	1 3.3
	食品卸売業	16 100.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	2 12.5	2 12.5	1 6.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0
	食品小売業	8 100.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	農家等で発生する規格外品の活用	小容量販売(ばら売り、小分け)の導入	食べ残し削減に向けたメニューや少量メニューの開発	料理の持ち帰り希望への対応	食品ロスに関する消費者啓発(食べきり、てまえどり、30・10運動)	フードドライブ活動	フードバンク活動	食品リサイクル活動(食品廃棄物の飼料化、肥料化等)	その他、独自の取り組み等	無回答
全体		65 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	3 4.6	0 0.0	37 56.9
業種別	食品製造業	30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.7	0 0.0	14 46.7
	食品卸売業	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 50.0
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 70.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 60.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

問8 フードドライブ活動について取り組んでいない場合、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ) <<調査結果3-8>>

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	今後取り組む予定である	取り組む予定はない	無回答
全 体		59 100.0	4 6.8	52 88.1	3 5.1
業 種 別	食品製造業	26 100.0	1 3.8	25 96.2	0 0.0
	食品卸売業	15 100.0	2 13.3	13 86.7	0 0.0
	食品小売業	8 100.0	2 25.0	6 75.0	0 0.0
	旅館・ホテル	9 100.0	0 0.0	8 88.9	1 11.1
	飲食店	10 100.0	0 0.0	8 80.0	2 20.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0

問9 フードバンク活動について取り組んでいない場合、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ) <<調査結果3-9>>

上段:回答数(団体) 下段:回答率(%)		全 体	今後取り組む予定である	取り組む予定はない	無回答
全 体		57 100.0	4 7.0	48 84.2	5 8.8
業 種 別	食品製造業	24 100.0	1 4.2	23 95.8	0 0.0
	食品卸売業	15 100.0	2 13.3	11 73.3	2 13.3
	食品小売業	6 100.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	9 90.0	1 10.0
	飲食店	9 100.0	0 0.0	7 77.8	2 22.2
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0

問10 食品ロス削減に関する取組として行政に望むことはどのようなことですか。次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも) <<調査結果3-10>>

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	「ぎふ食 べきり運 動」協力 店、協力 企業と連 携した普 及啓発	過度な鮮 度志向の 抑制につ いての普 及啓発 (「てまえ どり」の 呼びかけ など)	「30・10 (さんまる いちま る)運動」 の普及啓 発や消費 者が食事 量を調 整・選択 できるメ ニュー (小盛メ ニュー 等)の導 入の呼び かけ	「mottEC O(モッテ コ)」の普 及啓発	フードラ イブ活動 への支援 (実施マ ニュアル の展開な ど)	フードバ ンク活動 への支援 (マッチ ング支援 など)	規格外農 産物等を 活用する 事業者へ の支援 (補助金 制度な ど)	適切な消 費期限・ 賞味期限 の設定に 関する技 術的な相 談・試験 等の実施 (県食品 科学研究所において実施)
全体		65 100.0	10 15.4	15 23.1	8 12.3	9 13.8	5 7.7	10 15.4	15 23.1	10 15.4
業 種 別	食品製造業	30 100.0	3 10.0	8 26.7	3 10.0	4 13.3	2 6.7	5 16.7	5 16.7	4 13.3
	食品卸売業	16 100.0	3 18.8	2 12.5	1 6.3	2 12.5	3 18.8	4 25.0	5 31.3	4 25.0
	食品小売業	8 100.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	3 37.5	3 37.5
	旅館・ホテル	10 100.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0
	飲食店	10 100.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7

上段: 回答数(団体) 下段: 回答率(%)		全体	企業・団 体等への 説明会の 実施(セ ミナー、 講演会な ど)	食品ロス 削減に取 り組む企 業や団体 等の紹介・周知	食品ロス 削減に取 り組む企 業や団体 等との交 流イベン トの開催 (ワーク ショップ など)	食品ロス 削減に向 けた専門 家からの アドバイ ス(アド バイザー 派遣)	小・中・ 高におけ る食品ロ スに関す る学習の 実施	SNSの利 用や動画 配信、 CM作成 などによ る普及啓 発	その他	無回答
全体		65 100.0	6 9.2	8 12.3	5 7.7	2 3.1	16 24.6	7 10.8	4 6.2	11 16.9
業 種 別	食品製造業	30 100.0	4 13.3	4 13.3	3 10.0	2 6.7	6 20.0	3 10.0	3 10.0	4 13.3
	食品卸売業	16 100.0	1 6.3	3 18.8	1 6.3	0 0.0	5 31.3	3 18.8	0 0.0	4 25.0
	食品小売業	8 100.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0
	旅館・ホテル	10 100.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0
	飲食店	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0
	飲食店以外の外食	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

食品ロスに関する意識調査（県民のみなさまへ）
【ご協力のお願ひ】

日頃から県政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
岐阜県では、令和4年3月に「岐阜県食品ロス削減推進計画」を策定し、行政、事業者、消費者、関係団体等による取組みを推進しています。本年は計画の策定から4年後にあたる年であり、計画の見直しを行います。

つきましては、計画の見直しに当たり、県民のみなさまの食品ロスに対するお考えやご意見などをお伺いするため、県内に居住する満18歳以上の方2,000人を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査票は無記名でご回答いただき、記入された内容は、すべて統計的な数値として処理を行い、調査結果としてホームページ等で公表しますが、回答者が特定されたり、回答いただいた内容を本調査以外の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年5月
岐阜県

《ご記入にあたってのお願い》

- ・ 回答は、該当する番号に○を付けてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容を記入してください。

《調査票の返送方法》

- ・ 同封の返信用封筒に入れて、**令和7年 6月 20日（金）**までにご投函ください（切手は不要です）。

《調査結果の公表予定》

- ・ 公表時期は令和8年3月頃を予定しています。
県ホームページに掲載（<http://www.pref.gifu.lg.jp/>）

【問い合わせ先】

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
岐阜県 環境エネルギー生活部 県民生活課 消費生活安全係
電 話：（県庁代表）058-272-1111（内線3018）
F A X：058-278-2889

食品ロスに関する意識調査票（県民のみなさまへ）

はじめに

調査を統計的に分析するために、あなたご自身のことについておたずねします。
該当する番号に○を付けてください。

① あなたの性別を教えてください。

1	男性	2	女性	3	回答しない
---	----	---	----	---	-------

② あなたの年齢を教えてください。

1	10歳代	2	20歳代	3	30歳代
4	40歳代	5	50歳代	6	60歳代
7	70歳以上				

（令和7年5月1日現在の満年齢でお答えください。）

③ あなたの職業に当てはまるものを選んでください。

1	会社員、会社役員	2	パート、アルバイト、 派遣職員	3	自営業
4	公務員	5	家事従事	6	学生
7	無職	8	その他		

④ あなたのお住まいの市町村をご記入ください。

問1 あなたは、食品ロス*が問題となっていることを知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) よく知っている
- (2) ある程度知っている
- (3) あまり知らない
- (4) 全く知らない

※食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品を言います。

問2 ご自身や家族が食品ロスを削減するために取り組んでいることはありますか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 冷凍保存を活用
- (2) 残さず食べる
- (3) 賞味期限を過ぎても自分で食べられるか判断
- (4) 食べきれぬ量を購入
- (5) 冷凍庫内等の食材の期限表示を確認
- (6) 料理を作りすぎない
- (7) 残った料理をアレンジして再度食べる
- (8) すぐに食べるなら商品棚の手前の商品を選ぶ「てまえどり」をする
- (9) 値引きシールの貼ってある商品を購入
- (10) 飲食店等で注文しすぎない、小盛メニューを頼む
- (11) お店で了解を得て残った料理を持ち帰る
- (12) フードドライブ活動*¹への参加
- (13) 「30・10（さんまる いちまる）運動*²」の実施
- (14) 取り組んでいない
- (15) その他

(具体的に： _____)

※1 フードドライブ活動とは、家庭で使いきれない未利用食品を集め、食品を必要としている福祉団体・施設等に寄付する活動のことです。

※2 「30・10（さんまる いちまる）運動」とは、宴会や会食で、「最初の30分間と最後の10分間は料理を楽しむことで食べ残しを減らしましょう」という運動です。

問3 あなたのご家庭ではどのような理由で食品ロスが発生しますか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 消費期限または賞味期限が切れた
- (2) 保存していることを忘れていて、傷んでしまった
- (3) 保存方法が不適切で、傷んでしまった
- (4) 買いすぎて、食べきれなかった
- (5) もらったものの、多すぎて食べきれなかった
- (6) 作りすぎて食べきれなかった
- (7) 好き嫌いにより食べきれなかった
- (8) その他

(具体的に: _____)

- (9) 発生していない

問4 あなたのご家庭で捨ててしまいがちな食品はどんなものですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 米・シリアル等
- (2) 肉類
- (3) 卵
- (4) 魚介類
- (5) 野菜類
- (6) 果物類
- (7) 惣菜類
- (8) 調味料・油
- (9) 日配品 (豆腐・納豆・パン・乳製品等)
- (10) 漬物・佃煮
- (11) 粉類 (小麦粉等)
- (12) 菓子類
- (13) 加工肉 (ハム・ソーセージ等)
- (14) 飲料・酒類
- (15) 麺類
- (16) 冷凍食品
- (17) レトルト食品・缶詰
- (18) その他 (具体的に: _____)
- (19) 全く捨てていない

問5 「賞味期限^{※1}」と「消費期限^{※2}」の違いを知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) よく知っている
- (2) ある程度知っている
- (3) あまり知らない
- (4) 全く知らない

※1 賞味期限とは、「その日付までは品質が保たれ、おいしく食べられます。」という期限です。

賞味期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。

※2 消費期限とは、「その日付までは安全に食べることができます。」という期限です。

問6 ぎふ食べきり運動[※]を知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) よく知っている
- (2) ある程度知っている
- (3) あまり知らない
- (4) 全く知らない

※ぎふ食べきり運動とは、食品廃棄物の削減を目指し、岐阜県が推進している運動です。

問7 「30・10（さんまる いちまる）運動[※]」を知っていますか

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) よく知っている
- (2) ある程度知っている
- (3) あまり知らない
- (4) 全く知らない

※30・10（さんまる いちまる）運動とは、宴会や会食で、「最初の30分間と最後の10分間は料理を楽しむことで食べ残しを減らしましょう」という運動です。

問8 フードドライブ活動*を知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)。

- (1) よく知っている
- (2) ある程度知っている
- (3) あまり知らない
- (4) 全く知らない

※フードドライブ活動とは、家庭で使いきれない未利用食品を集め、食品を必要としている福祉団体・施設等に寄付する活動のことです。

問9 フードバンク活動*を知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) よく知っている
- (2) ある程度知っている
- (3) あまり知らない
- (4) 全く知らない

※フードバンク活動とは、食品寄付者から寄付された食品を受け取り、輸送・保管して、福祉施設等へ無料で提供する活動のことです。

問10 ぎふ食べきり運動*など、食品ロス削減に率先して取り組んでいる飲食店があれば積極的に利用したいですか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 積極的に利用したい
- (2) 他のお店と変わらない
- (3) どちらでもない

※ぎふ食べきり運動とは、食品廃棄物の削減を目指し、岐阜県が推進している運動です。

問 11 食品について「もったいない」と感じることはありますか。それはどんな時ですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 食品廃棄に関する問題のニュースを見たとき
- (2) 期限切れで食べずに捨ててしまうとき
- (3) お店で他人の食べ残したのを見たとき
- (4) 閉店間際のお店に多く並ぶ商品を見たとき
- (5) 自分や家族、友人が食べ残したのを見たとき
- (6) もったいないと感じることはない
- (7) その他

(具体的に: _____)

問 12 外食をして食べきれなかった時、どのような状況であれば持ち帰ろうと思いますか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 店内に「持ち帰りできます」と表示されている
- (2) 店に持ち帰りの容器が用意されている
- (3) 店員から「持ち帰りできます」と言われる
- (4) 鮮度や衛生面を保つ工夫がされている
- (5) 持ち帰りの習慣が広く認められている
- (6) どのような状況であっても持ち帰らない
- (7) その他

(具体的に: _____)

問 13 食品ロス削減に関する取組として行政に望むことはどのようなことですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 小・中・高における食品ロスに関する学習の実施
- (2) SNS の利用や動画配信、CM 作成などによる普及啓発
- (3) 冷蔵庫・冷凍庫の整理整頓や正しい保存方法についての情報提供
- (4) 食品ロス削減に関する講座・料理教室の開催
- (5) 食品ロス削減につながるレシピの一般募集
- (6) 食品ロス削減に関するセミナー、講演会などの開催
- (7) 食品ロス削減を意識した商品や食品ロス削減に取り組む企業や団体等の紹介・周知
- (8) その他

(具体的に: _____)

問 14 食品ロス削減について飲食店や行政へのご意見・ご要望があればご記入ください。
(自由記述)

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、記入していただいた調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れ、
令和7年 6月 20日(金)までにご投函ください(切手は不要です)。

食品ロスに関する意識調査（事業所のみなさまへ）
【ご協力をお願い】

日頃から県政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
岐阜県では、令和4年3月に「岐阜県食品ロス削減推進計画」を策定し、行政、事業者、消費者、関係団体等による取組みを推進しています。本年は計画の策定から4年後にあたる年であり、計画の見直しを行います。

つきましては、計画の見直しに当たり、県内事業所のみなさまの食品ロスに対するお考えやご意見などをお伺いするため、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査票でご回答いただき、記入された内容は、すべて統計的な数値として処理を行い、調査結果としてホームページ等で公表しますが、回答者が特定されたり、回答いただいた内容を本調査以外の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

また本調査に関しまして、消費者庁食品ロス削減推進サポーター（学生）が調査協力依頼及び回収に訪問させていただくことがありますのでご協力をお願いいたします。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年5月

岐阜県

《ご記入にあたってのお願い》

- ・封筒のあて名の団体として回答してください。
- ・回答は、該当する番号に○を付けてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容を記入してください。

《調査票の返送方法》

- ・同封の返信用封筒に入れて、**令和7年 6月 20日（金）**までにご投函ください（切手は不要です）。

《調査結果の公表予定》

- ・公表時期は令和8年3月頃を予定しています。
県ホームページに掲載（<http://www.pref.gifu.lg.jp/>）

【問い合わせ先】

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

岐阜県 環境エネルギー生活部 県民生活課 消費生活安全係

電話：（県庁代表）058-272-1111（内線3018）

F A X：058-278-2889

食品ロスに関する意識調査票（事業所のみなさまへ）

はじめに

調査を統計的に分析するために、貴社についておたずねします。
該当する番号に○を付けてください。

① 貴社の業種に該当するものを教えてください。

1	食品製造業	2	食品卸売業	3	食品小売業
4	旅館・ホテル	5	飲食店	6	飲食店以外の外食※
7	その他				

※持ち帰り飲食サービス業、配達飲食サービス業、結婚式場業

② 貴社の従業員数と、売上高もしくは製造品出荷額を教えてください。

従業員数 _____人
※派遣社員は除いてください。

売上高または製造品出荷額 約 _____円

③ 貴社の直近の決算期末現在における岐阜県内の食品関連事業所数を教えてください。

岐阜県内 _____か所

問1 貴社では、食品廃棄物等^{*}の量をどのように把握していますか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 計量器による計量 (実測)
- (2) 一定期間実測した値を用いた推計
- (3) 原料使用量や製品生産量、売上高から推計
- (4) 処理業者等への委託量から推計
- (5) その他

(具体的に: _____)

※食品廃棄物等とは、

- ①「食品の製造や調理過程で生じる加工残さ、調理くず」
- ②「食品の流通過程や消費段階で生じる売れ残りや食べ残し」

※食品廃棄物「等」には、食品の製造工程等で発生する動植物性の残さで飼料等の原料として有償で取引されるものも含まれます。

問2 貴社の直近の1年間(2024年4月1日~2025年3月31日)の食品廃棄物等の量について、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 廃棄していない
- (2) 年間5t未満
- (3) 年間5t~10t未満
- (4) 年間10t~25t未満
- (5) 年間25t~50t未満
- (6) 年間50t~75t未満
- (7) 年間75t~100t未満
- (8) 年間100t以上

問3 貴社の直近の1年間(2024年4月1日~2025年3月31日)の食品廃棄物の中に含まれる食品ロス^{*}の量について、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 廃棄していない
- (2) 年間5t未満
- (3) 年間5t~10t未満
- (4) 年間10t~25t未満
- (5) 年間25t~50t未満
- (6) 年間50t~75t未満
- (7) 年間75t~100t未満
- (8) 年間100t以上

※食品ロスとは、本来食べられるのにもかかわらず廃棄されている食品(規格外品、売れ残り等)を言います。

問4 貴社にとって、食品ロス削減はどの程度重要な課題ですか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 非常に重要である
- (2) 重要である
- (3) どちらともいえない
- (4) あまり重要ではない
- (5) 全く重要ではない

問4-1 問4で(4)(5)を選択した方にお伺いします。選択した理由は何ですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 食品ロスの発生量が少ない、発生していない
- (2) 食品ロス削減にはコストがかかる
- (3) 食品ロス削減に関する専門的知識がない
- (4) 食品ロス削減に取り組む人員が不足している
- (5) 食品ロス削減のために何に取り組むべきかわからない
- (6) その他

(具体的に :

)

問5 食品ロスの発生の原因はどのようなものですか。

次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

	回答欄	発生要因
原材料・仕入品のロス	1	規格外の原材料の混入 大きさや形などが規格に合わず、原材料として使用しなかったもの
	2	原材料の仕入れ時や保管中の傷み・腐れ 仕入れ時や通常の保管期間中の傷みや腐れの発生
	3	見込み違いなどによる原材料の使い残し 見込み違いなどにより原材料が余剰となったことによる使い残し
	4	商品の仕入れ時や保管中の破損など（食品） 仕入れ時や通常の保管・販売期間中の破損などにより、食品としての品質に影響があり、商品にならなかったもの
	5	商品の仕入れ時や保管中の容器・包装のキズ 仕入れ時や通常の保管・販売期間中に生じた容器・包装のキズなどにより、食品としての品質に影響はないが商品にならなかったもの
製造・調理時のロス	6	端材 製造・調理工程で日常的に発生する切り落とし・端材のうち食用にできるもの
	7	残さ（食用にできるもの） 発酵残さ、抽出残さのうち食用にできるもの（おから、日本酒の酒粕等）
	8	製造不良・調理ミス（食品） 設備トラブルや人的ミスなどにより発生した製造不良等で、食品としての品質に影響があり、商品にならなかったもの
	9	製造不良（容器・包装） 設備トラブルや人的ミスなどにより発生した製造不良で、食品としての品質に影響はないが、容器・包装のキズなどにより商品にならなかったもの
	10	設備ロス 配管に付着したものなど製造工程において設備から発生するもの
売れ残り	11	生産過多による売れ残りの発生 作りすぎた商品・料理の作り置き品の売れ残り
	12	納品期限切れ 納品期限を迎えた商品の廃棄
	13	販売期限切れ 販売期限を迎えた商品の廃棄
	14	商品入替に伴う余剰在庫の発生 季節品入替、新商品販売や規格変更に伴う旧来の在庫入替「定番カット」、特売終了などに伴う在庫商品の廃棄
返品	15	納品期限切れによる返品の発生 納品期限を迎え、取引先から返品された商品の廃棄
	16	商品入替に伴う返品の発生 季節品入替、定番カット、特売終了などに伴い返品された商品の廃棄
残食しべ	17	お客様の食べ残し 飲食店舗などでのお客様の食べ残しの廃棄
その他	18	試作ロス 試作品・サンプル品での廃棄
	19	検査・保存用サンプル品 検査・保存用サンプル品で保存期間等満了したものの廃棄
	20	その他 具体的に記入してください。 ()

問6 食品ロス削減のために既に行っている取組はありますか。

次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 食品ロスの削減目標設定
- (2) 食品ロス削減について従業員への教育
- (3) 食品ロス発生量の継続的な計量
- (4) 季節商品の予約販売制の導入
- (5) 原材料や商品の保管状況の改善、容器の改良
- (6) 販売期限の延長
- (7) 賞味期限・消費期限の延長
- (8) 店頭での値引き販売
- (9) 自社で発生する規格外品や食材の未利用部分の活用(新商品開発、販路開拓)
- (10) 農家等で発生する規格外品の活用
- (11) 小容量販売(ばら売り、小分け)の導入
- (12) 食べ残し削減に向けたメニューや少量メニューの開発
- (13) 料理の持ち帰り希望への対応
- (14) 食品ロスに関する消費者啓発(食べきり、てまえどり、30・10運動)
- (15) フードドライブ活動^{※1}
- (16) フードバンク活動^{※2}
- (17) 食品リサイクル活動(食品廃棄物の飼料化、肥料化等)
- (18) その他、独自の取り組み等

(具体的に: _____)

※1 フードドライブ活動とは、家庭で使いきれない未利用食品を集め、食品を必要としている福祉団体・施設等に寄付する活動のことです。

※2 フードバンク活動とは、食品寄付者から寄付された食品を受け取り、輸送・保管して、福祉施設等へ無料で提供する活動のことです。

問7 問6の既に行っている取組の中で特に食品ロス削減につながった取組は何ですか。

() 内に問6の番号を記入してください。

順位1 () 順位2 () 順位3 ()

問8 フードドライブ活動[※]について取り組んでいない場合、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 今後取り組む予定である (年以内に取り組む予定)
- (2) 取り組む予定はない

(2)と回答した理由を教えてください。

(理由 : _____)

※フードドライブ活動とは、家庭で使いきれない未利用食品を集め、食品を必要としている福祉団体・施設等に寄付する活動のことです。

問9 フードバンク活動[※]について取り組んでいない場合、次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) 今後取り組む予定である (年以内に取り組む予定)
- (2) 取り組んでいない(取り組む予定はない)

(2)と回答した理由を教えてください。

(理由 : _____)

※フードバンク活動とは、食品寄付者から寄付された食品を受け取り、輸送・保管して、福祉施設等へ無料で提供する活動のことです。

問 10 食品ロス削減に関する取組として行政に望むことはどのようなことですか。

次のうち、あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 「ぎふ食べきり運動」協力店、協力企業と連携した普及啓発
※ぎふ食べきり運動とは食品廃棄物の削減を目指し岐阜県が推進している運動です。
- (2) 過度な鮮度志向の抑制についての普及啓発（「てまえどり」の呼びかけなど）
- (3) 「30・10（さんまる いちまる）運動」の普及啓発や消費者が食事量を調整・選択できるメニュー（小盛メニュー等）の導入の呼びかけ
※30・10（さんまる いちまる）運動とは、宴会や会食で、「最初の30分間と最後の10分間は料理を楽しむことで食べ残しを減らしましょう」という運動です。
- (4) 「mottECO（モッテコ）」の普及啓発
※「mottECO（モッテコ）」とは、環境省が提唱する飲食店で食べきれなかった料理を利用客が自己責任で持ち帰る行為の愛称です。
- (5) フードドライブ活動への支援（実施マニュアルの展開など）
- (6) フードバンク活動への支援（マッチング支援など）
- (7) 規格外農産物等を活用する事業者への支援（補助金制度など）
- (8) 適切な消費期限・賞味期限の設定に関する技術的な相談・試験等の実施（県食品科学研究所において実施）
- (9) 企業・団体等への説明会の実施（セミナー、講演会など）
- (10) 食品ロス削減に取り組む企業や団体等の紹介・周知
- (11) 食品ロス削減に取り組む企業や団体等との交流イベントの開催（ワークショップなど）
- (12) 食品ロス削減に向けた専門家からのアドバイス（アドバイザー派遣）
- (13) 小・中・高における食品ロスに関する学習の実施
- (14) SNSの利用や動画配信、CM作成などによる普及啓発
- (15) その他
()

問 11 県の食品ロス削減に関する施策についてご意見・ご要望があれば、ご記入ください。
(自由記述)

--

※差し支えなければ、貴社の活動内容等をお聞きしたい時の連絡先を記載してください。

団体名	
担当者（本件窓口）	
住 所	
連絡先（電話番号）	
メールアドレス	

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

令和 7年 6月 20日（金）までにご投函ください（切手は不要です）。